感染症発生動向調査事業報告書

令和２年
（２０２０年）

東京都福祉保健局

序

感染症発生動向調査事業は、感染症発生状況の把握・分析、情報提供による感染症の発生及びまん延防止を目的として行われており、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づく事前対応型の感染症対策として位置づけられています。

東京都健康安全研究センターでは、所内に東京都感染症情報センターを設置し、一類感染症から五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症のうち全症例の届出が義務付けられている疾患や、定点医療機関からの届出対象となる五類感染症等について、都内の発生状況や病原体の検出状況等を迅速に把握し、解析・評価を行ったうえで都民や医療機関等に情報提供を行っています。

さて、2020 年はこれまでに経験がないくらい例年とは異なる年となりました。新型コロナウイルス感染症のパンデミックのため、三密を避け、手洗いを励行し、マスク装着を徹底することにより、インフルエンザや RS ウイルス感染症などほとんどすべての感染症の発生数が軒並み前年より減少しました。特に小児の感染症は突発性発しんを除いて、すべての感染症で前年割れでした。2021 年以降、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるのかどうかを注視していく必要があるでしょう。

本報告書は、東京都感染症予防検討委員会における 2020 年の感染症発生情報の評価や予防策の検討の結果をまとめたものです。各疾患の発生動向につきまして、「小児科・内科疾患（インフルエンザ）」と「基幹定点における疾患」は桜山豊夫委員長に、「眼科疾患」は吉見裕美子委員に執筆をお願いしました。また、「一、二、三、四、五類感染症（全数届出）」及び「性感染症」につきましては当センターの疫学情報担当が、「病原体情報」につきましては同じく微生物部が担当しました。

末筆になりましたが、感染症発生動向調査事業にご協力くださいました東京都医師会、定点医療機関および保健所等の関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

関係各位におかれましては、感染症対策の一助として本書を広くご活用くださいますようお願い申し上げます。

令和 3 年 5 月

東京都健康安全研究センター所長　　吉村　和久

目　　次

第１章　東京都感染症発生動向調査事業における患者情報
１　発生動向調査の概略
(1) 調査対象疾患 ･･･ 3
(2) 定点医療機関 ･･･ 3
表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数 ･････････････････････････････ 3
(3)運営方法 ･･･ 3
(4)情報発信 ･･･ 4
２　本年（2020 年）の概況
(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象)、指定感染症 ･････････････････････････ 4
(2) 五類感染症（定点把握対象） ･･･ 5
(3) 疑似症（法第１４条第１項に規定する厚生労働省令で定める疑似症） ･････････ 8
表 2-1(1)　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(一～四類、五類全数) ･････････････ 9
表 2-1(2)　東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数(全数動物) ･････････････････････ 10
表 2-2　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数(インフルエンザ定点・小児科定点) 11
表 2-3　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（眼科定点） ･････････････････････ 12
表 2-4　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（基幹定点週報告分） ･････････ 12
表 2-5　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（基幹定点月報告分） ･････････ 13
表 2-6　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（性感染症定点） ･････････････ 13
３　各疾患の動向
(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）及び指定感染症
ア　一類感染症 ･･･ 14
イ　二類感染症 ･･･ 14
ウ　三類感染症 ･･･ 14
エ　四類感染症 ･･･ 17
オ　五類感染症（全数把握対象） ･･･ 22
カ　指定感染症 ･･･ 35
表 3-1　一～四類、五類感染症（全数把握対象）及び指定感染症 週別患者報告数 ･････ 37
表 3-2　一～四類、五類感染症（全数把握対象）及び指定感染症 保健所別患者報告数 ･･ 40
表 3-3　一～四類、五類感染症（全数把握対象）及び指定感染症 年齢階級別患者報告数 43
(2) 小児科・内科疾患
ア　インフルエンザ ･･･ 46
イ　ＲＳウイルス感染症 ･･･ 48
ウ　咽頭結膜熱 ･･･ 49
エ　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ･･･ 50

オ　感染性胃腸炎 …… 51
カ　水痘 …… 52
キ　手足口病 …… 53
ク　伝染性紅斑 …… 54
ケ　突発性発しん …… 55
コ　ヘルパンギーナ …… 56
サ　流行性耳下腺炎 …… 57
シ　不明発しん症 …… 58
ス　川崎病 …… 59
(3) 眼科疾患
ア　急性出血性結膜炎 …… 60
イ　流行性角結膜炎 …… 61
(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患
ア　細菌性髄膜炎 …… 62
イ　無菌性髄膜炎 …… 63
ウ　マイコプラズマ肺炎 …… 64
エ　クラミジア肺炎（オウム病を除く） …… 65
オ　感染性胃腸炎（ロタウイルスによる） …… 66
カ　インフルエンザ入院 …… 67
(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患
ア　メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症 …… 68
イ　ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 …… 69
ウ　薬剤耐性緑膿菌感染症 …… 70
(6) 性感染症
ア　性器クラミジア感染症 …… 71
イ　性器ヘルペスウイルス感染症 …… 72
ウ　尖圭コンジローマ …… 73
エ　淋菌感染症 …… 74
オ　膣トリコモナス症 …… 75
表 4-1　週別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹） …… 76
表 4-2　週別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹） …… 78
表 5-1　保健所別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹） …… 80
表 5-2　保健所別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹） …… 82
表 6　年齢階級別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹） …… 84
表 7-1　二次医療圏別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹） …… 85
表 7-2　二次医療圏別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹） 86
表 8-1　月別患者報告数（基幹） …… 87

表 8-2　月別定点当たり患者報告数（基幹）　…… 87
表 8-3　月別・性別患者報告数（基幹）　…… 87
表 8-4　性別・年齢階級別患者報告数（基幹）　…… 88
表 9-1　月別患者報告数（性感染症）　…… 88
表 9-2　月別定点当たり患者報告数（性感染症）　…… 88
表 9-3　月別・性別患者報告数（性感染症）　…… 89
表 9-4　月別・性別定点当たり患者報告数（性感染症）　…… 89
表 9-5　保健所別、二次医療圏別患者報告数（性感染症）　…… 90
表 9-6　保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数（性感染症）　…… 91
表 9-7　年齢階級別患者報告数（性感染症）　…… 92
表 10　検査結果別報告数（基幹）　…… 92

第２章　東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報
1　ウイルス検査結果
(1) 小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体
ア　インフルエンザ　…… 95
イ　RS ウイルス感染症　…… 99
ウ　咽頭結膜熱　…… 100
エ　感染性胃腸炎　…… 101
オ　水痘　…… 102
カ　手足口病　…… 102
キ　伝染性紅斑　…… 103
ク　突発性発しん　…… 104
ケ　ヘルパンギーナ　…… 104
コ　流行性耳下腺炎　…… 105
サ　不明発しん症…… 105
シ　川崎病　…… 107
ス　無菌性髄膜炎　…… 107
(2) 眼科病原体定点医療機関からの搬入検体　…… 107
(3) 性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体　…… 108
(4) 積極的疫学調査による搬入検体　…… 108
2　細菌検査結果
(1) 四類感染症の病原体検索　…… 111
(2) 五類感染症（全数把握対象）の病原体検索　…… 111
(3) 五類感染症（定点把握対象）の病原体検索　…… 112
(4) 性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体　…… 113

第３章　資　料

１　東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿 …… 119

２　東京都感染症予防検討委員会委員名簿 …… 136

３　東京都感染症発生動向調査事業の流れ …… 137

東京都感染症発生動向調査事業実施要綱 …… 138

別表１　感染症法に基づく感染症の分類

１　一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症 …… 150

２　五類感染症（全数把握） …… 151

３　新型インフルエンザ等感染症 …… 152

４　五類感染症（定点把握） …… 152

５　疑似症 …… 152

別表２　五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期 …… 153

別表３　疑似症の調査単位と報告時期 …… 154

別記様式一覧表 …… 155

別記様式１　感染症発生動向調査病原体定点検査票 …… 156

別記様式２　感染症発生動向調査（小児科定点） …… 157

別記様式３　感染症発生動向調査（インフルエンザ定点） …… 158

別記様式８　麻しん発生届 …… 159

別記様式 10　梅毒発生届 …… 161

別記様式 11　風しん発生届 …… 162

別記様式 74　侵襲性髄膜炎菌感染症発生届 …… 164

別記様式 75　新型コロナウイルス感染症発生届 …… 166

第　1　章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

１　発生動向調査の概略

（１）調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、膣トリコモナス症を性感染症に加えている。

（２）定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症定点 36 が設定され、このうち 70 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点はインフルエンザ定点としての機能も果たしている。

表１　東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

（ 2020 年 12 月 31 日現在 ）

定点種別（疾患数）		患者定点数	病原体定点数
小児科定点	(14)	264	26
内科定点	(1)	155	15
眼科定点	(2)	39	4
基幹定点	(9)	25	21
性感染症定点	(5)	55	4
疑似症定点		36	

（３）運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに（五類感染症は 7 日以内、ただし侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん及び麻しんは診断後直ちに）保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患（薬剤耐性菌による感染症）については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関は年齢及び検出病原体名を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の年齢別患者数、基幹定点医療機関は当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診察された場合に、所定の調査票を直ちに保健所に送付する。

医療機関から届いた情報は、保健所が発生動向調査システムに入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報担当（基幹地方感染症情報センター）（以下、疫学情報担当という）は、保健所からの情報を確認後、国へ送信する。

また、疑似症については、保健所は随時、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課（以下、防疫・情報管理課という。） へ報告する。保健所からの報告を受けた防疫・情報管理課は、疫学情報担当へ報告する。両者で検討の上、疫学情報担当が汎用サーベイランスシステムに入力し、国へ報告する。

新型コロナウイルス感染症又は再興型コロナウイルス感染症の届出は、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）の入力により行われるが、当該システムへの入力環境が医療機関に無い場合には、予め定めた方法により届出を受理した保健所が当該システムへ入力する。

（４）情報発信

新型コロナウイルス感染症を除く患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果と共に、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページ（http://idsc.tokyo-eiken.go.jp）で公開され、広く都民に情報還元が図られている。さらに都医ニュースの特定の感染症を取り上げ、週報に「感染症豆知識」として掲載している。

また、隔月第 4 木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において直近 2 か月分の情報について討議し、その情報は東京都医師会雑誌に「感染症だより」として掲載されている。

２　本年（2020 年）の概況

（１）　一～四類、五類感染症（全数把握対象）、指定感染症

ア　一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

イ　二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）の届出はなかった。結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ　三類感染症

細菌性赤痢： 11 件の届出があった。菌種は *sonnei* 8 件、*flexneri* 3 件であった。推定感染地は国内 6 件、国外 5 件であった。

腸管出血性大腸菌感染症： 332 件の届出があった。血清型・毒素型は O157 VT1・VT2 が 122 件で最多であった。症状別では患者 226 人（うち HUS 9 人）、無症状病原体保有者 106 人で、推定感染地は国内 264 件、国外 2 件、不明 66 件であった。

腸チフス： 2 件の届出があった。

パラチフス： 1 件の届出があった。

エ　四類感染症

E 型肝炎： 118 件の届出があった。推定感染地は国内 93 件、国外 2 件、不明 23 件であった。

A 型肝炎： 24 件の届出があった。推定感染地は国内 18 件、国外 1 件、不明 5 件であった。推定感染経路は、経口感染 12 件、性的接触 7 件、経口感染又は性的接触 1 件、不明 4 件であった。

オウム病： 1 件の届出があった。

コクシジオイデス症： 3 件の届出があった。

つつが虫病： 21 件の届出があった。推定感染地は全て国内で、東京都 9 件（島しょ地区 7 件、多摩地区 2 件）、千葉県 3 件、山梨県、静岡県各 2 件、福島県、埼玉県、神奈川県、長野県各 1 件、不明 1 件であった。

デング熱： 13 件（うち 1 件はデング出血熱）の届出があった。推定感染地は全て国外であった。

ボツリヌス症： 1 件の届出があり、推定感染地は国内であった。

マラリア： 6 件の届出があった。熱帯熱マラリア 4 件、不明 2 件であった。

ライム病： 1 件の届出があった。推定感染地は国内であった。

類鼻疽： 1 件の届出があった。推定感染地は国外であった。

レジオネラ症： 148 件の届出があった。病型は肺炎型 134 件、ポンティアック熱型 13 件、無症状病原体保有者 1 件で、死亡例は 1 人報告された。推定感染地は国内 134 件、不明 14 件であり、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは 32 件だった。

レプトスピラ症： 2 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

オ　五類感染症（全数把握対象）

アメーバ赤痢： 116 件の届出があった。腸管アメーバ症 104 件、腸管外アメーバ症 6 件、腸管及び腸管外アメーバ症 6 件であった。推定感染地は国内 84 件、国外 13 件、国内又は国外 1 件、不明 18 件であった。

ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）： 60 件の届出があった。B 型肝炎 44 件、C 型肝炎 13 件、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎 2 件、エプスタインバールウイルス（EBV）肝炎 1 件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症： 171 件の届出があった。推定感染地は国内 153 件、不明 18 件であった。

急性弛緩性麻痺： **4** 件の届出があった。推定感染地はすべて国内であった。

急性脳炎： 31 件の届出があった。病原体はインフルエンザウイルス 12 件、ヘルペスウイルス 3 件、風しんウイルスと単純ヘルペスウイルス 1 件、ライノウイルスとエンテロウイルス 1 件、バシラス属グラム陽性桿菌 1 件、マイコプラズマ 1 件、不明 12 件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）： 17 件の届出があった。孤発性プリオン病・古典型 CJD が 13 件、孤発性プリオン病・その他が 2 件、遺伝性プリオン病・家族性 CJD が 2 件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症： 101 件の届出があった。血清群別では、A 群 43 件、G 群 34 件、B 群 21 件、C 群、F 群各 1 件、C 群又は G 群各 1 件であった。死亡例は 19 人報告された。

後天性免疫不全症候群： 383 件の届出があった。AIDS 患者 79 人、HIV 感染者 304 人（指標疾患以外の有症候者 28 人、無症候性キャリア 276 人）であった。推定感染地は国内 328 件、国外 20 件、国内又は国外 5 件、不明 30 件であった。推定感染経路は、性的接触 353 件（同性間 289 件、異性間 29 件、両性間 14 件、不明 21 件）、静注薬物使用 3 件、2 経路以上 4 件、不明 23 件であった。

ジアルジア症： 8 件の届出があった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症： 23 件の届出があった。血清型は、b 型 1 件、型別不明 16 件、検査未実施 6 件であった。ワクチン接種歴は 4 回が 4 件、なし 4 件、不明 15 件であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症： 2 件の届出があった。血清群はいずれも B 群であった。推定感染地は国内 1 件、国外 1 件であった。ワクチン接種歴は、なし 1 件、不明 1 件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症： 163 件の届出があった。死亡例は 11 人報告された。ワクチン接種歴は 4 回 20 件、3 回 8 件、2 回 3 件、1 回 9 件、なし 46 件、不明 77 件であった。

水痘（入院例）： 50 件の届出があった。死亡例の報告はなかった。推定感染地は国内 45 件、国外 1 件、不明 4 件であった。

梅毒： 1,579 件の届出があった。早期顕症梅毒 I 期 525 件、早期顕症梅毒 II 期 585 件、晩期顕症梅毒 22 件、先天梅毒 2 件、無症候 445 件であった。

播種性クリプトコックス症： 18 件の届出があった。推定感染地は全て国内であった。

破傷風： 8 件の届出があった。推定感染地はすべて国内であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症： 8 件の届出があった。耐性遺伝子型は *vanB* が 6 件であった。

百日咳： 262 件の届出があった。ワクチン接種歴は、4 回 97 件、3 回 7 件、2 回 2 件、1 回 7 件、なし 17 件、不明 132 件であった。

風しん： 29 件の届出があった。検査診断例は 26 件（うち PCR 陽性例は 7 件）、臨床診断例は 3 件であった。

麻しん： 2 件の届出があった。全て検査診断例であった。推定感染地は全て国外であった。全て PCR 検査で麻しんウイルスが確認され、遺伝子型別は全て D8 型であった。

カ　指定感染症

新型コロナウイルス感染症： 1 月 31 日に指定感染症として定められた。令和 3 年 4 月 15 日現在の新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）に登録されているデータによると、68,506 件の報告があった。

（２）五類感染症（定点把握対象）

ア　小児科･内科疾患

2020 年は五類感染症（定点把握対象）の小児科・内科疾患のすべてが 2019 年と比較して減少した。なかでも、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する予防行動が活発化した影響もあってか、飛沫感染が主要な感染経路と考えられる疾患の報告数は大きく減少した。人と人との接触が減った影響もあり、それ以外の疾患も前年の報告数を超えるものはなかった。前年比 50%以上減少した疾患は、インフルエンザ、RS ウイルス感染症、咽頭結膜熱、A 群溶結性レンサ球菌咽頭炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナの 8 疾患であった。

【前年比減少疾患】

インフルエンザ： 2020 年の報告数は 33,424 人、定点当たり 81.86 人であった。前年比（定点当たり）は 0.23 であった。

RS ウイルス感染症： 2020 年の報告数は 570 人、定点当たり 2.20 人であった。前年比（定点当たり）は 0.06 であった。

咽頭結膜熱： 2020 年の報告数は 1,506 人、定点当たり 5.84 人であった。前年比（定点当たり）は 0.34 であった。

A 群溶結性レンサ球菌咽頭炎： 2020 年の報告数は 13,314 人、定点当たり 51.33 人であった。前年比（定点当たり）は 0.45 であった。

感染性胃腸炎： 2020 年の報告数は 40,036 人、定点当たり 154.79 人であった。前年比（定点当たり）は 0.52 であった。

水痘： 2020 年の報告数は 2,591 人、定点当たり 10.05 人であった。前年比（定点当たり）は 0.45 であった。

手足口病： 2020 年の報告数は 1,020、定点当たり 3.98 人であった。前年比（定点当たり）は 0.03 であった。

伝染性紅斑： 2020 年の報告数は 465 人、定点当たり 1.80 人であった。前年比（定点当たり）は 0.08 であった。

ヘルパンギーナ： 2020 年の報告数は 674 人、定点当たり 2.61 人であった。前年比（定点当たり）は 0.06 であった。

流行性耳下腺炎： 2020 年の報告数は 688 人、定点当たり 2.67 人であった。前年比（定点当たり）は 0.69 であった。

不明発しん症： 2020 年の報告数は 492 人、定点当たり 1.91 人であった。前年比（定点当たり）は 0.60 であった。

川崎病： 2020 年の報告数は 131 人、定点当たり 0.51 人であった。前年比（定点当たり）は 0.87 であった。

【前年並みであった疾患】

突発性発しん： 2020 年の報告数は 5,610 人、定点当たり 21.76 人であった。前年比（定点当たり）は 0.96 であった。

【前年比増加疾患】

2019 年と比べて増加した疾患はなかった。

イ　眼科疾患

急性出血性結膜炎： 2020 年の報告数は 11 人、定点あたり 0.29 人、定点あたりの当年/前年比は 1.0 であった。

流行性角結膜炎： 2020 年の報告数は 363 人、定点あたり 9.62 人、定点あたりの当年/前年比は 0.55 であった。

ウ　基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎： 2020 年の報告数は 25 人、定点当たり 1.00 人であった。前年比（定点当たり） は 0.64 であった。

無菌性髄膜炎： 2020 年の報告数は 32 人、定点当たり 1.28 人であった。前年比（定点当たり） は 0.67 であった。

マイコプラズマ肺炎： 2020 年の報告数は 169 人、定点当たり 6.79 人であった。前年比（定点当たり）は 0.48 であった。

クラミジア肺炎（オウム病を除く）： 2020 年の報告数は 25 人、定点当たり 1.01 人であった。前年比（定点当たり）は 0.65 であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）： 2020 年の報告数は 8 人、定点当たり 0.32 人であった。 前年比（定点当たり）は 0.04 であった。

インフルエンザ入院： 2020 年の報告数は 357 人、定点当たり 14.28 人であった。前年比（定点当たり）は 0.24 であった。

エ　基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症： 2020 年の報告数は 823 人、定点当たり 32.92 人であった。前年比（定点当たり）は 0.92 であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症： 2020 年の報告数は 22 人、定点当たり 0.88 人であった。前年比（定点当たり）は 0.23 であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症： 2020 年の報告数は 7 人、定点当たり 0.28 人であった。前年比（定点当たり）は 0.88 であった。

オ　性感染症

2020 年の定点当たり報告数は、いずれの疾患も前年と比較して減少し、5 疾患中、尖圭コンジローマを除く 4 疾患が直近 10 年間で最も少ない値だった。

性器クラミジア感染症： 2020 年の報告数は 2,116 人（定点あたり 39.31 人）で、過去 10 年で最も少ない報告数となった。男性 1,228 人（前年比 0.74）、女性 888 人（前年比 0.82）であった。
性器ヘルペスウイルス感染症： 2020 年の報告数は 663 人（定点あたり 12.31 人）で、過去 10 年で最も少ない報告数となった。男性 357 人（前年比 0.62）、女性 306 人（前年比 0.78）であった。
尖圭コンジローマ： 2020 年の報告数は 956 人（定点あたり 17.72 人）で、前年より 608 人（定点あたり 11.09 人）減少した。男性 629 人(前年比 0.56)、女性 327 人（前年比 0.74）であった。
淋菌感染症： 2020 年の報告数は 876 人（定点あたり 16.25 人）で、過去 10 年で最も少ない報告数となった。男性 634 人（前年比 0.72）、女性 242 人（前年比 0.81）であった。
膣トリコモナス症： 2020 年の報告数は 100 人（定点あたり 1.86 人）で、過去 10 年で最も少ない報告数となった。男性 5 人（前年比 0.84）、女性 95 人（前年比 0.86）であった。

（３） 疑似症（法第１４条第１項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）

1 月 23 日から 1 月 31 日までの間に、発熱や呼吸器症状のある症例が 37 件報告された。そのうち 34 件は新型コロナウイルス感染症疑いだった。

表2－1（1） 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

（一～四類、五類全数）

		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
一類	エボラ出血熱	－	－	－	－	－	－	－
	クリミア・コンゴ出血熱	－	－	－	－	－	－	－
	痘そう	－	－	－	－	－	－	－
	南米出血熱	－	－	－	－	－	－	－
	ペスト	－	－	－	－	－	－	－
	マールブルグ病	－	－	－	－	－	－	－
	ラッサ熱	－	－	－	－	－	－	－
二類	急性灰白髄炎	－	－	－	－	－	－	－
	結核	2,533	2,306	2,340	2,213	1,970	1,810	1,589
	ジフテリア	－	－	－	－	－	－	－
	重症急性呼吸器症候群	－	－	－	－	－	－	－
	中東呼吸器症候群 *9	－	－	－	－	－	－	－
	鳥インフルエンザ（H5N1）*1	－	－	－	－	－	－	－
	鳥インフルエンザ（H7N9）*6	－	－	－	－	－	－	－
三類	コレラ	3	1	2	2	－	2	－
	細菌性赤痢	41	53	40	34	109	27	11
	腸管出血性大腸菌感染症	362	335	452	467	466	388	332
	腸チフス	27	14	18	8	11	3	2
	パラチフス	8	9	8	6	10	4	1
四類	E型肝炎	27	39	37	57	101	128	118
	ウエストナイル熱	－	－	－	－	－	－	－
	A型肝炎	38	39	65	65	421	143	24
	エキノコックス症	－	1	－	1	－	－	－
	黄熱	－	－	－	－	－	－	－
	オウム病	3	－	2	－	2	3	1
	オムスク出血熱	－	－	－	－	－	－	－
	回帰熱	－	－	－	2	－	－	－
	キャサヌル森林病	－	－	－	－	－	－	－
	Q熱	－	－	－	－	2	－	－
	狂犬病	－	－	－	－	－	－	－
	コクシジオイデス症	－	2	2	1	－	－	3
	サル痘	－	－	－	－	－	－	－
	ジカウイルス感染症 *10			3	－	－	－	－
	重症熱性血小板減少症候群 *4	－	－	－	－	－	1	－
	腎症候性出血熱	－	－	－	－	－	－	－
	西部ウマ脳炎	－	－	－	－	－	－	－
	ダニ媒介脳炎	－	－	－	－	－	－	－
	炭疽	－	－	－	－	－	－	－
	チクングニア熱 *2	5	7	4	3	－	11	－
	つつが虫病	18	14	7	13	12	12	21
	デング熱	163	92	90	65	61	130	13
	東部ウマ脳炎	－	－	－	－	－	－	－
	鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く）	－	－	－	－	－	－	－
	ニパウイルス感染症	－	－	－	－	－	－	－
	日本紅斑熱	－	1	－	1	－	－	－
	日本脳炎	－	－	－	－	－	－	－
	ハンタウイルス肺症候群	－	－	－	－	－	－	－
	Bウイルス病	－	－	－	－	－	－	－
	鼻疽	－	－	－	－	－	－	－
	ブルセラ症	4	2	1	－	－	1	－
	ベネズエラウマ脳炎	－	－	－	－	－	－	－
	ヘンドラウイルス感染症	－	－	－	－	－	－	－
	発しんチフス	－	－	－	－	－	－	－
	ボツリヌス症	－	－	1	2	1	－	1

		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
四類	マラリア	27	16	18	27	14	22	6
	野兎病	－	－	－	－	－	－	－
	ライム病	2	2	－	1	1	1	1
	リッサウイルス感染症	－	－	－	－	－	－	－
	リフトバレー熱	－	－	－	－	－	－	－
	類鼻疽	－	1	－	1	1	－	1
	レジオネラ症	107	153	143	159	164	187	148
	レプトスピラ症	6	10	7	9	5	9	2
	ロッキー山紅斑熱	－	－	－	－	－	－	－
五類（全数届出）	アメーバ赤痢	229	205	222	219	163	155	116
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	48	53	69	67	69	98	60
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 *7	56	236	190	212	233	237	171
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） *12					8	7	4
	急性脳炎	52	47	85	74	65	81	31
	クリプトスポリジウム症	82	3	2	2	3	4	－
	クロイツフェルト・ヤコブ病	17	24	16	19	25	19	17
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	41	62	65	72	87	126	101
	後天性免疫不全症候群	512	435	464	464	422	406	383
	ジアルジア症	15	19	17	24	19	12	8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *5	22	29	46	56	40	85	23
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *5	9	8	5	3	6	5	2
	侵襲性肺炎球菌感染症 *5	225	323	356	390	401	382	163
	水痘（入院例） *7	11	55	56	55	61	80	50
	先天性風しん症候群	3	－	－	－	－	2	－
	梅毒	507	1,044	1,673	1,788	1,775	1,712	1,579
	播種性クリプトコックス症 *7	4	11	20	15	18	12	18
	破傷風	10	2	4	9	8	8	8
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	－	－	－	－	－	－	－
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	6	2	2	8	7	8	8
	百日咳 *11					2,434	1,340	262
	風しん *3	99	33	19	22	947	860	29
	麻しん *3	94	10	22	28	23	124	2
	薬剤耐性アシネトバクター感染症 *8	3	13	1	6	4	2	－
指定	新型コロナウイルス感染症 *13							68,506

*1　2008年5月12日より追加指定。
*2　2011年2月1日より追加指定。
*3　2008年1月1日より五類（定点把握対象）から五類（全数把握対象）に変更。
*4　2013年3月4日より追加指定。
*5　2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。
*6　2013年4月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。
*7　2014年9月19日より追加指定。
*8　2011年2月1日より五類（定点把握対象）に追加指定、2014年9月19日に五類（全数把握対象）に変更。
*9　2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。
病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。
*10　2016年2月15日より追加指定。
*11　2018年1月1日より五類（定点把握対象）から五類（全数把握対象）に変更。
*12　2018年5月1日より追加指定。
*13　2020年2月1日より追加指定。

表2－1（2） 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数 （全数動物）

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
エボラ出血熱のサル	－	－	－	－	－	－	－
マールブルグ病のサル	－	－	－	－	－	－	－
ペストのプレーリードッグ	－	－	－	－	－	－	－
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	－	－	－	－	－	－	－
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	－	－	－	－	－	－	－

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	－	－	－	－	－	－	－
結核のサル	－	－	－	－	－	－	－
中東呼吸器症候群のラクダ *1	－	－	－	－	－	－	－
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	－	－	－	－	－	－	－
細菌性赤痢のサル	－	－	－	－	－	－	－
ウエストナイル熱の鳥類	－	－	－	－	－	－	－
エキノコックス症の犬	－	－	－	－	－	－	－

*1 2014年7月26日より追加指定

表2－2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
（インフルエンザ定点・小児科定点）

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
小児科定点数	264	264	264	264	264	264	264	264	264	264
インフルエンザ定点数	419	419	419	419	419	419	419	419	419	419
インフルエンザ	99,940	135,064	75,328	152,421	59,435	125,207	129,813	137,262	148,861	33,424
	240.03	323.29	181.11	367.55	145.11	302.31	314.14	331.57	361.04	81.86
RSウイルス感染症 *1	3,628	6,349	6,058	6,183	7,197	7,021	8,838	7,830	8,682	570
	13.94	24.51	23.48	23.70	27.82	27.06	34.47	30.49	34.00	2.20
咽頭結膜熱	4,936	5,510	6,184	5,607	5,385	5,026	7,322	4,671	4,405	1,506
	18.95	21.20	23.89	21.54	20.77	19.38	28.21	17.96	17.04	5.84
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25,487	25,224	24,801	27,581	35,039	31,211	30,664	32,120	29,223	13,314
	97.66	96.60	95.29	105.60	134.57	120.13	117.71	123.25	112.95	51.33
感染性胃腸炎	95,910	118,967	102,987	84,091	91,052	110,239	84,981	79,282	77,421	40,036
	367.56	455.28	395.81	322.84	350.13	423.72	326.63	304.52	299.71	154.79
水　痘	15,679	12,995	11,452	10,314	6,765	5,541	5,135	4,515	5,739	2,591
	60.11	49.75	44.22	39.69	26.04	21.34	19.73	17.35	22.25	10.05
手足口病	24,786	5,411	29,320	6,089	32,599	6,993	33,056	8,452	34,136	1,020
	95.84	20.90	114.72	23.44	126.39	26.97	129.10	32.65	132.46	3.98
伝染性紅斑	6,317	1,626	1,608	5,069	10,174	2,485	1,311	10,733	6,071	465
	24.23	6.23	6.19	19.44	39.08	9.57	5.04	41.36	23.60	1.80
突発性発しん	8,447	8,547	8,299	8,120	7,816	7,231	7,056	6,771	5,872	5,610
	32.44	32.85	32.00	31.18	30.10	27.87	27.13	26.05	22.77	21.76
百日咳 *2	450	286	91	158	300	181	113			
	1.73	1.10	0.35	0.61	1.15	0.70	0.44			
ヘルパンギーナ	14,431	13,548	8,480	15,874	7,200	13,094	6,812	8,188	10,341	674
	55.78	52.28	33.06	61.25	27.91	50.69	26.54	32.01	40.26	2.61
流行性耳下腺炎	4,488	3,089	2,549	3,003	4,883	8,526	2,903	1,246	994	688
	17.23	11.88	9.83	11.57	18.83	32.88	11.16	4.79	3.85	2.67
不明発しん症 *3	1,506	1,400	1,094	1,158	1,312	983	1,101	1,073	817	492
	5.78	5.40	4.24	4.45	5.06	3.79	4.25	4.14	3.17	1.91
川崎病 *3	217	177	221	180	199	208	205	214	150	131
	0.83	0.68	0.85	0.69	0.77	0.80	0.79	0.82	0.58	0.51

*1 2003年45週より実施
*2 2018年1月1日から全数把握対象疾患
*3 東京都独自疾患

表２－３　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

（眼科定点）

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
定点数	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	31	19	17	13	14	11	12	14	11	11
	0.84	0.50	0.45	0.34	0.36	0.28	0.31	0.37	0.29	0.29
流行性角結膜炎	842	1,140	891	913	1,256	1,201	1,219	1,060	649	363
	22.73	30.01	23.68	23.79	32.49	31.03	31.48	28.22	17.35	9.62

表２－４　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

（基幹定点週報告分）

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	52	42	48	22	38	33	41	32	39	25
	2.14	1.68	1.93	0.88	1.52	1.32	1.64	1.28	1.57	1.00
無菌性髄膜炎	96	121	126	102	73	77	39	33	48	32
	3.91	4.86	5.06	4.09	2.92	3.08	1.56	1.32	1.93	1.28
マイコプラズマ肺炎	1,143	1,067	514	234	770	1,047	237	230	349	169
	46.78	42.84	20.66	9.37	30.85	41.88	9.48	9.20	14.02	6.79
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	18	14	40	21	59	50	46	40	39	25
	0.74	0.56	1.60	0.84	2.36	2.00	1.84	1.60	1.56	1.01
感染性胃腸炎 *1 (ロタウイルスによる)			22	134	99	108	235	110	188	8
			0.88	5.36	3.96	4.32	9.40	4.40	7.53	0.32
インフルエンザ入院 *	12	610	518	735	486	649	902	1,113	1,511	357
	0.48	24.40	20.89	29.40	19.44	25.96	36.08	44.52	60.49	14.28

*1　2013年42週より実施
*2　2011年36週より実施

表２－５　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

（基幹定点月報告分）

上段：年間報告数
下段：定点当たり

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
定点数	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1,136	1,074	918	908	877	867	881	804	894	823
	46.67	43.25	37.26	36.44	35.21	34.68	35.24	32.16	35.76	32.92
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	596	440	467	186	158	138	105	102	96	22
	24.55	17.72	18.94	7.47	6.36	5.52	4.20	4.08	3.84	0.88
薬剤耐性緑膿菌感染症	37	24	32	21	28	22	3	9	8	7
	1.52	0.97	1.29	0.84	1.12	0.88	0.12	0.36	0.32	0.28
薬剤耐性アシネトバクター感染症*	0	0	0	0						
	0.00	0.00	0.00	0.00						

＊ 2011年2月より2014年9月18日まで実施。

表２－６　東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

（性感染症定点）

上段：年間報告数
下段：定点当たり

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
定点数	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,426	2,315	2,286	2,427	2,678	2,712	2,294	2,551	2,767	2,116
	44.37	42.64	42.46	44.90	49.09	49.39	41.77	46.46	50.93	39.31
性器ヘルペスウイルス感染症	1,236	1,311	1,216	1,298	1,329	1,400	1,279	1,037	977	663
	22.60	24.17	22.60	24.00	24.36	25.49	23.29	18.88	17.98	12.31
尖圭コンジローマ	837	877	959	986	1,237	1,321	1,021	1,051	1,564	956
	15.31	16.17	17.84	18.22	22.68	24.06	18.58	19.14	28.81	17.72
淋菌感染症	1,212	1,035	1,070	1,259	1,394	1,528	1,109	1,104	1,185	876
	22.15	19.09	19.87	23.31	25.55	27.82	20.20	20.11	21.81	16.25
膣トリコモナス症*	136	129	113	127	151	117	110	128	118	100
	2.49	2.38	2.10	2.36	2.77	2.13	2.00	2.33	2.17	1.86
梅毒様疾患*	117	120	136	135	221					
	2.14	2.21	2.53	2.50	4.05					

＊東京都独自疾患、梅毒様疾患は2015年末で終了

３　各疾患の動向

（１）　一～四類、五類感染症（全数把握対象）及び指定感染症

ア　一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）は届出がなかった。

イ　二類感染症

①　結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況」で報告する。

②　その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）は届出がなかった。

ウ　三類感染症

①　細菌性赤痢

2020 年は 11 件の届出があった。菌種は *sonnei* 8 件、*flexneri* 3 件であった。性別は男性 5 人、女性 6 人で、年齢階級別では 20～29 歳 4 人、40～49 歳 4 人、50～59 歳 2 人、60～69 歳 1 人であった。

推定感染地は国内 6 件、国外 5 件（インドネシア 2 件、インド、コロンビア各 1 件、ボリビア又はペルー又はメキシコ 1 件）であった。

感染経路は、経口感染 7 件（国外 3 件、国内 4 件）、接触感染 1 件（国内・妻からの感染）、不明 3 件であった。

細菌性赤痢　週別届出数（n=11）

細菌性赤痢　性別・年齢階級別届出数（n=11）

② 腸管出血性大腸菌感染症

2020 年は 332 件の届出があった。症状別では患者 226 人、無症状病原体保有者 106 人であった。届出はほぼ 1 年を通して見られたが、特に夏季に増加した。性別は男性 112 人、女性 220 人で、年齢階級別では 10 歳未満 35 人（うち 5 歳未満 17 人）、10～19 歳 41 人、20～29 歳 101 人、30～39 歳 51 人、40～49 歳 39 人、50～59 歳 26 人、60～69 歳 14 人、70～79 歳 19 人、80 歳以上 6 人であった。血清型・毒素型は O157 VT1・VT2 が 122 件で最多であった。

推定感染地は国内 264 件、国外 2 件（オーストラリア、カンボジア各 1 件）、不明 66 件であった。

症例の集積は、第 43～50 週に同一職場での 5 人が認められた。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と判明しているものは 9 人おり、内訳は 10 歳未満 8 人（うち 5 歳未満 3 人）、50 歳代 1 人であった。

腸管出血性大腸菌感染症　週別届出数（n=332）

腸管出血性大腸菌感染症　性別・年齢階級別届出数（n=332）

腸管出血性大腸菌感染症　血清型・毒素型別構成割合（n=332）

腸管出血性大腸菌感染症　血清型・毒素型別届出数（n=332）

血清型	毒素型	人数
O1 と O157	VT1･VT2	1
O18	VT1	1
O26	VT1	14
	VT2	2
	VT1･VT2	1
	不明	1
O55	VT1	1
O91	VT1	3
	VT1･VT2	2
O103	VT1	16
	VT2	1
O111	VT1	8
	VT1･VT2	1
O115	VT1	1
O121	VT2	11
O124	VT2	1
O128	VT1	1
	VT2	3
	VT1･VT2	1
O145	VT1	1
	VT2	4
	不明	1
O146	VT1	2
	VT2	1
O157	VT1	5
	VT2	69
	VT1･VT2	121
	不明	15
O 群不明	VT1	17
	VT2	8
	VT1･VT2	13
検査未実施		5

溶血性尿毒症症候群発症例（n=9）

受理日	性別	年齢	血清型・毒素型	推定感染地	推定感染経路等
1/14	男	9	血清型・毒素型不明	国内	1/5 にハンバーグ摂食
1/14	女	7	0157 VT2	国内	レストランでのハンバーグ摂食
2/26	女	3	0157 VT2	国内	不明
6/23	女	9	血清型・毒素型不明	国内	5/31 にスーパーで購入の焼肉摂食
7/4	女	4	血清型・毒素型不明	国内	6 月下旬牛肉、6/24 アサリの摂食
7/9	男	5	0157 VT2	国内	6/29 自宅での牛肉摂食
8/21	女	55	血清型・毒素型不明	国内	8/11 の受診前に魚摂食
9/28	女	5	0157 毒素型不明	国内	9/13 川でのバーベキュー
10/1	女	4	血清型・毒素型不明	国内	9/20 バーベキュー

③ 腸チフス

2020 年は 2 件の届出があった。性別では女性 2 人、年齢階級別では 10 歳未満 2 人であった。

ファージ型別は UVS1 が 1 株、DVS が 1 株であった。

推定感染地はパキスタン 1 件、不明 1 件であった。

④ パラチフス

2020 年は 1 件の届出があった。症例は 30 歳代の男性で、ファージ型別は 1 型、推定感染地は国外（インドまたは中国）であった。

⑤ その他の三類感染症

コレラは届出がなかった。

エ　四類感染症

①　Ｅ型肝炎

2020 年は 118 件の届出があった。性別は男性 82 人、女性 36 人、類型は患者 104 人、無症状病原体保有者 14 人、年齢階級別では 20～29 歳 3 人、30～39 歳 12 人、40～49 歳 15 人、50～59 歳 36 人、60～69 歳 24 人、70～79 歳 24 人、80 歳以上 4 人であった。

推定感染地は国内 93 件、国外 2 件（中国 1 件、モロッコ又はスペイン又はポルトガル 1 件）、不明 23 件であった。推定感染経路は経口感染 58 件、輸血 1 件、経口感染又は輸血 1 件、その他 1 件、不明 57 件であった。経口感染 58 件の推定原因食品は、肉類 38 件、魚介類 2 件、生水 1 件、宴会で提供された料理 1 件、不明 16 件であった。

E型肝炎　週別届出数（n=118）

Ｅ型肝炎　性別・年齢階級別届出数（n=118）

②　Ａ型肝炎

2020 年は 24 件の届出があった。性別は男性 16 人、女性 8 人で、年齢階級別では 20～29 歳 1 人、30～39 歳 7 人、40～49 歳 3 人、50～59 歳 4 人、60～69 歳 2 人、70～79 歳 6 人、80 歳以上 1 人であった。

推定感染地は国内 18 件、国外 1 件（モロッコ又は中国又はマカオ）、不明 5 件であった。

推定感染経路は、飲食物を介した経口感染 12 件、性的接触 7 件、経口感染又は性的接触 1 件、不明 4 件であった。経口感染 12 件の推定原因食品は、魚介類が 5 件（うちカキ 2 件、その他の貝類 2 件、その他 1 件）、不明 7 件であった。性的接触 7 件の内訳は、全て男性同性間の性的接触であった。

Ａ型肝炎　週別届出数（n=24）

Ａ型肝炎　性別・年齢階級別届出数（n=24）

③ オウム病

2020 年は 1 件の届出があった。症例は 70 歳代の女性で、推定感染地は国内、感染経路は鳥類との接触であった。

④ コクシジオイデス症

2020 年は 3 件の届出があった。性別は男性 2 人、女性 1 人で、年齢階級別では 20～29 歳 2 人、50～59 歳 1 人であった。推定感染地国内 1 件、国外 2 件（全て米国）で、感染経路は、国内は過去の原因真菌の検体取扱が推定され、国外は全て米国アリゾナ州での感染であった。

⑤ つつが虫病

2020 年は 21 件の届出があった。性別は男性 13 人、女性 8 人であった。年齢階級別は 20～29 歳 5 人、30～39 歳 3 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 3 人、60～69 歳 4 人、70～79 歳 4 人、80 歳以上 1 人であった。推定感染地は全て国内で、東京都 9 件（島しょ地区 7 件、多摩地区 2 件）、千葉県 3 件、山梨県、静岡県各 2 件、福島県、埼玉県、神奈川県、長野県各 1 件、不明 1 件であった。

つつが虫病届出例（n=21）

受理日	性別	年齢	推定感染地	媒介動物との接触状況
01/08	男	68	東京都（島しょ）	
01/10	男	74	東京都（多摩）	
01/24	女	80	東京都（島しょ）	散歩中
01/25	男	47	静岡県	
04/15	女	65	山梨県	畑仕事
08/03	男	37	長野県	
10/30	男	23	不明	
11/13	女	70	東京都（島しょ）	
11/20	女	53	神奈川県	
11/24	男	28	山梨県	
11/24	女	71	福島県	
11/25	男	33	千葉県	野外キャンプ
11/30	女	52	東京都（多摩）	
12/07	男	27	東京都（島しょ）	
12/07	女	67	東京都（島しょ）	
12/08	男	29	静岡県	東富士演習場にて訓練中
12/08	男	69	千葉県	山小屋
12/10	男	54	埼玉県	職場でダニの暴露あり
12/14	男	74	東京都（島しょ）	山
12/17	男	28	東京都（島しょ）	
12/28	女	32	千葉県	ゴルフ場

⑥ デング熱

2020 年は 13 件の届出があり、うち 1 件がデング出血熱であった。性別は男性 7 人、女性 6 人、年齢階級別は 20～29 歳 4 人、30～39 歳 2 人、40～49 歳 2 人、50～59 歳 5 人であった。血清型は 9 件報告されており、その内訳は 1 型 4 件、2 型 3 件、4 型 2 件であった。

推定感染地は全て国外（フィリピン 3 件、インドネシア、インド、東ティモール各 2 件、マレーシア、タイ、バングラデシュ、ペルー各 1 件）であった。

デング熱　週別届出数（n=13）

デング熱　性別・年齢階級別届出数（n=13）

⑦ ボツリヌス症

2020 年は 1 件の届出があった。症例は 5 歳未満の男性で、推定感染地は国内、感染経路は経口感染であった。

⑧ マラリア

2020 年は 6 件の届出があった。熱帯熱マラリア 4 件、不明 2 件であった。性別は男性 4 人、女性 2 人、年齢階級別は 20～29 歳 1 人、30～39 歳 1 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 2 人、60～69 歳以上 1 人であった。

推定感染地は、熱帯熱 4 件ではウガンダ 2 件、ナイジェリア 1 件、カメルーン 1 件、病型が不明の 2 件ではガボン 1 件、マラウイ 1 件であった。

マラリア　週別届出数（n=6）

マラリア　性別・年齢階級別届出数（n=6）

⑨ ライム病

2020 年は 1 件の届出があった。症例は 50～59 歳の女性で、推定感染地は国内、感染原因は不明であった。

⑩ 類鼻疽

2020 年は 1 件の届出があった。症例は 70～79 歳の男性で、推定感染地は国外（タイ）、感染原因は水系感染であった。

⑪ レジオネラ症

2020 年は 148 件の届出があった。病型は肺炎型 134 件、ポンティアック熱型 13 件、無症状病原体保有者 1 件であった。死亡例は 1 人報告された。性別は男性 127 人、女性 21 人、年齢階級別は 20～29 歳 1 人、40～49 歳 11 人、50～59 歳 20 人、60～69 歳 32 人、70～79 歳 37 人、80～89 歳 37 人、90 歳以上 10 人であった。

推定感染地は国内 134 件、不明 14 件であった。推定感染経路は、水系感染 41 件、塵埃感染 8 件、その他 1 件、水系感染又は塵埃感染 2 件、水系感染又はその他 1 件、不明 95 件であった。水系感染のうち、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは 32 件であった。

レジオネラ症　週別届出数（n=148）

レジオネラ症　性別・年齢階級別届出数（n=148）

⑫ レプトスピラ症

2020 年は 2 件の届出があった。性別は全て男性で、年齢階級別は 20～29 歳 1 人、70～79 歳 1 人であった。推定感染地は全て国内であった。

レプトスピラ症届出例（n=2）

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路、接触場所
8/12	男	26	国内	淡水
10/9	男	73	国内	ネズミ

⑬ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、エキノコックス症、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q 熱、狂犬病、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、野兎病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、ロッキー山紅斑熱

オ　五類感染症（全数把握対象）

① アメーバ赤痢

2020 年は 116 件の届出があった。腸管アメーバ症 104 件、腸管外アメーバ症 6 件、腸管及び腸管外アメーバ症 6 件であった。性別は男性 105 人、女性 11 人で、年齢階級別では 20～29 歳 3 人、30～39 歳 12 人、40～49 歳 27 人、50～59 歳 30 人、60～69 歳 34 人、70～79 歳 10 人であった。

推定感染地は国内 84 件、国外 13 件（台湾、フィリピン、カンボジア、マレーシア、シンガポール、インドネシア、インド、パキスタン、ドイツ各 1 件、中国又はスイス、タイ又はインドネシア各 1 件、渡航先不明 2 件）、国内又は国外 1 件（インドネシア）、不明 18 件であった。

推定感染経路は、性的接触 46 件（同性間 19 件、異性間 14 件、性別不明 13 件）、飲食物による経口感染 16 件、その他 1 件、.不明 53 件であった。

アメーバ赤痢　週別届出数（n=116）

アメーバ赤痢　性別・年齢階級別届出数（n=116）

② ウイルス性肝炎（E 型肝炎及び A 型肝炎を除く）

2020 年は 60 件の届出があった。内訳は、B 型肝炎 44 件、C 型肝炎 13 件、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎 2 件、エプスタインバールウイルス（EBV）肝炎 1 件であった。

B 型肝炎 44 件の届出のうち男性は 38 人、女性は 6 人であった。年齢階級別では 5~9 歳 1 人、10~19 歳 3 人、20～29 歳 14 人、30～39 歳 5 人、40～49 歳 12 人、50～59 歳 6 人、60～69 歳 2 人、70～79 歳 1 人であった。推定感染地は国内 42 件、国内又は国外 1 件（フィリピン）、不明 1 件、推定感染経路は性的接触 34 件（異性間 17 件、同性間 14 件、性別不明 3 件）、その他 2 件、不明 8 件であった。

C 型肝炎 13 件の届出は全て男性で、年齢階級別は 20～29 歳 1 人、30～39 歳 5 人、40～49 歳 6 人、60～69 歳 1 人であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路は性的接触 11 件（全て同性間）、静注薬物常用又は性的接触（性別不明）1 件、不明 1 件であった。

サイトメガロウイルス（CMV）肝炎の 2 件の届出は、男性、女性各 1 人で、年齢階級別では全て 20～29 歳であった。推定感染地は全て国内、推定感染経路は、その他（経口感染）1 件、不明 1 件であった。

エプスタインバールウイルス（EBV）肝炎の 1 件の届出で、症例は 10～19 歳の女性、推定感染地は国内、推定感染経路は、その他（経口感染）であった。

ウイルス性肝炎　週別届出数（n=60）

ウイルス性肝炎　性別・年齢階級別届出数（n=60）

③ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

2020 年は 171 件の届出があった。性別は男性 101 人、女性 70 人で、年齢階級別では 5 歳未満 14 人、10～19 歳 1 人、20～29 歳 3 人、30～39 歳 3 人、40～49 歳 5 人、50～59 歳 18 人、60～69 歳 29 人、70～79 歳 35 人、80～89 歳 51 人、90 歳以上 12 人であった。死亡例は 6 人（50～59 歳 2 人、60 歳～69 歳、70～79 歳各 1 人、80～89 歳 2 人）報告された。

推定感染地は国内 153 件、不明 18 件であった。

分離された菌種は、*Klebsiella aerogenes* 64 件、*Enterobacter cloacae* 56 件、*Escherichia coli*、*Klebsiella pneumoniae* 各 15 件、*Serratia marcescens* 5 件、*Citrobacter freundii* 3 件、*Morganella morganii*、*Raoultella ornithinolytica* 各 2 件、*Cronobacter sakazakii*、*Klebsiella oxytoca* 各 1 件、*Morganella morganii* 及び *Klebsiella aerogenes* 1 件、*Enterobacter* sp. 3 件、*Escherichia* sp.、*Klebsiella* sp.、*Serratia* sp. 各 1 件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　週別届出数（n=171）

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症　性別・年齢階級別届出数（n=171）

④ 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）

2020 年は 4 件の届出があった。性別は男性 3 人、女性 1 人で、年齢階級別では、10 歳未満 3 人（うち 5 歳未満 2 人）、10～19 歳 1 人であった。全て、推定感染地は国内、病原体は不明であった。

ポリオワクチン接種歴は、4 回 1 件、2 回 1 件、なし 2 件であった。

⑤ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

2020 年は 31 件の届出があった。原因と推定された病原体は、インフルエンザウイルス 12 件、ヘルペスウイルス 3 件（単純ヘルペスウイルス 2 型 1 件、ヒトヘルペスウイルス 6 型 2 件）、風しんウイルスと単純ヘルペスウイルス 1 件、ライノウイルスとエンテロウイルス 1 件、バシラス属グラム陽性桿

菌 1 件、マイコプラズマ 1 件、不明 12 件であった。

性別は男性 19 人、女性 12 人で、年齢階級別では 10 歳未満 21 人（5 歳未満 17 人）、10～19 歳 5 人、30～39 歳 1 人、50～59 歳 1 人、60～69 歳 1 人、70～79 歳 2 人であった。

死亡例は 1 人（5 歳未満）報告されており、病原体は、インフルエンザウイルスであった。

推定感染地は全て国内であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 13 件、接触感染 1 件、その他 3 件、不明 14 件であった。

急性脳炎　週別届出数（n=31）

急性脳炎　性別・年齢階級別届出数（n=31）

⑥ クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）

2020 年は 17 件の届出があった。性別は男性 10 人、女性 7 人で、年齢階級別では 50～59 歳 2 人、60～69 歳 5 人、70～79 歳 4 人、80 歳以上 6 人であった。

孤発性プリオン病・古典型 CJD が 13 件（ほぼ確実 10 件、疑い 3 件）、孤発性プリオン病・その他が 2 件（全て疑い）、遺伝性プリオン病・家族性 CJD が 2 件（全てほぼ確実）であった。

孤発性プリオン病 15 件の進行性認知症以外の症状は、ミオクローヌス 12 件、小脳症状、記憶障害各 10 件、精神・知能障害 9 件、錐体路症状、無動性無言状態各 8 件、視覚異常 7 件、錐体外路症状 4 件、臨床的に頑固な不眠 2 件、筋強剛、その他各 1 件であった。

家族性 CJD2 件の症状は、進行性認知症、記憶障害各 2 件、ミオクローヌス、錐体外路症状、小脳症状、精神・知能障害、臨床的に頑固な不眠各 1 件であった。

プリオン遺伝子検査による診断がなされたのは 2 件（全て家族性 CJD）であった。

⑦ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2020 年は 101 件の届出があった。性別は男性 53 人、女性 48 人で、年齢階級別では 5 歳未満 2 人、10～19 歳 1 人、20～29 歳 1 人、30～39 歳 3 人、40～49 歳 7 人、50～59 歳 14 人、60～69 歳 17 人、70～79 歳 19 人、80～89 歳 25 人、90 歳以上 12 人であった。死亡例は 19 人（10～19 歳 1 人、30～39 歳

1 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 2 人、60～69 歳 4 人、70～79 歳 5 人、80～89 歳 3 人、90 歳以上 2 人）報告された。

推定感染地は国内 95 件、不明 6 件であった。推定感染経路は創傷感染 35 件、飛沫・飛沫核感染 5 件、経口感染、接触感染各 1 件、その他 10 件、不明 49 件であった。

血清群は、A 群 43 件（42.5%）、G 群 34 件（33.7%）、B 群 21 件（20.8%）、C 群、F 群各 1 件（1.0%）、C 群又は G 群 1 件（1.0%）であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症　週別届出数（n=101）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症　性別・年齢階級別届出数（n=101）

⑧ 後天性免疫不全症候群

2020 年は 383 件の届出があり、AIDS 患者 79 人、HIV 感染者 304 人（指標疾患以外の有症候者 28 人、無症候性キャリア 276 人）であった。

AIDS 患者 79 人の内訳は男性 77 人、女性 2 人で、年齢階級別では 20～29 歳 11 人、30～39 歳 14 人、40～49 歳 27 人、50～59 歳 23 人、60～69 歳 3 人、70～79 歳 1 人であった。

HIV 感染者のうち指標疾患以外の有症者の 28 人内訳は男性 27 人、女性 1 人で、年齢階級別では 10～19 歳 1 人、20～29 歳 8 人、30～39 歳 10 人、40～49 歳 7 人、50～59 歳 1 人、60～69 歳 1 人であった。

HIV 感染者のうち無症候性キャリアの 276 人の内訳は男性 270 人、女性 6 人で、年齢階級別では 10～19 歳 2 人、20～29 歳 110 人、30～39 歳 94 人、40～49 歳 46 人、50～59 歳 19 人、60～69 歳 5 人であった。

推定感染地は国内 328 件、国外 20 件（中国 6 件、ミャンマー3 件、タイ 2 件、台湾、インドネシア、インド、ポーランド、ウガンダ、米国各 1 件、ミャンマー又はラオス 1 件、英国または香港 1 件、渡航先不明 1 件）、国内又は国外 5 件（中国、フィリピン、グアム又はフィリピン各 1 件、渡航先不明 2 件）、不明 30 件であった。

届出のうち外国籍は 46 人で、AIDS 患者 4 人、HIV 感染者 42 人（指標疾患以外の有症者 3 人、無症候性キャリア 39 人）であった。

推定感染経路は性的接触 353 件（同性間 289 件、異性間 29 件、両性間 14 件、性別不明 21 件）、静注薬物使用 3 件、性的接触（同性間）又は輸血 2 件、性的接触（同性間）又は入れ墨 1 件、性的接触（異性間又は同性間）又は静注薬物使用 1 件、不明 23 件であった。

後天性免疫不全症候群　週別届出数（n=383）

後天性免疫不全症候群　性別・年齢階級別届出数（n=383）

ＡＩＤＳと診断した指標疾患（n=79、重複あり）

⑨ ジアルジア症

2020 年は 8 件の届出があった。性別は男性 6 人、女性 2 人で、年齢階級別では 20～29 歳 1 人、40～49 歳 7 人であった。

推定感染地は国内 5 件、国外 3 件（ミャンマー、インド、米国各 1 件）であった。

推定感染経路は、経口感染 2 件、性的接触 5 件（全て同性間）、不明 1 件であった。

⑩ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2020 年は 23 件の届出があった。性別は男性 9 人、女性 14 人で、年齢階級別では 10 歳未満 4 人（全 1～4 歳 3 人、5～9 歳 1 人）、20～29 歳 2 人、30～39 歳 2 人、50～59 歳 1 人、60～69 歳 3 人、70～79 歳 4 人、80～89 歳 5 人、90 歳以上 2 人で、死亡例は 1 人報告された。

血清型は、b 型 1 件、型別不明 16 件、検査未実施 6 件であった。

推定感染地は国内 21 件、不明 2 件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 7 件、その他 5 件、不明 11 件であった。

Hib ワクチン接種歴は 4 回が 4 件（全て 10 歳未満）、なし 4 件、不明 15 件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 週別届出数（n=23）

侵襲性インフルエンザ菌感染症 性別・年齢階級別届出数（n=23）

⑪ 侵襲性髄膜炎菌感染症

2020 年は 2 件の届出があった。性別は男性、女性各 1 人、年齢階級別は全て 30 歳代で、死亡例の報告はなかった。

血清群は、いずれも B 群であった。

推定感染地は国内 1 件、国外 1 件（インドネシア）、感染経路は全て不明であった。ワクチン接種歴は、なし 1 件、不明 1 件であった。

⑫ 侵襲性肺炎球菌感染症

2020 年は 163 件の届出があった。性別は男性 99 人、女性 64 人であった。年齢階級別では 10 歳未満 30 人（0 歳 4 人、1～4 歳 24 人）、20～29 歳 2 人、30～39 歳 6 人、40～49 歳 12 人、50～59 歳 15 人、60～69 歳 26 人、70～79 歳 38 人、80～89 歳 24 人、90 歳以上 10 人で、死亡例は 11 人報告された。

推定感染地は国内 147 件、国内又は国外 1 件（中国）、不明 15 件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 45 件、その他 17 件、不明 101 件であった。

ワクチン接種歴は 4 回 20 件、3 回 8 件、2 回 3 件、1 回 9 件、なし 46 件、不明 77 件であった。届出のうち、血清型別を実施したのは 44 件で、このうち、血清型が判明したのは 42 件であった。最も多い血清型は 10A 型、24F 型各 6 件で、次に 3 型 5 件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症　週別届出数（n=163）

侵襲性肺炎球菌感染症　性別・年齢階級別届出数（n=163）

年齢階級別・種類別ワクチン接種歴（n=163）

	13 価		13 価 3 回	23 価		13 価 1 回	価数不明			接種歴	接種歴	総計
	3 回	4 回	価数不明 1 回	1 回	2 回	23 価 1 回	1 回	2 回	4 回	なし	不明	
5 歳未満	7	15	1						2	2	1	28
5～9 歳		1							1			2
10～64 歳	1									21	20	42
65 歳以上				3	1	1	6	1		23	56	91
合　計	8	16	1	3	1	1	6	1	3	46	77	163

侵襲性肺炎球菌感染症　血清型（n=44）

血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数
10A 型	6	33F 型	3	11A 型	1	34 型	1
24F 型	6	15A 型	2	12F 型	1	35B 型	1
3 型	5	15C 型	2	19F 型	1	37 型	1
22F 型	3	19A 型	2	23B 型	1	38 型	1
23A 型	3	6D 型	1	24B 型	1	型別不明	2

⑬ 水痘（入院例）

2020 年は 50 件の届出があった。性別は男性 31 人、女性 19 人で、年齢階級別では 5 歳未満 2 人、10～19 歳 9 人、20～29 歳 11 人、30～39 歳 6 人、40～49 歳 9 人、50～59 歳 3 人、60～69 歳 3 人、70～79 歳 3 人、80～89 歳 4 人であった。死亡例の報告はなかった。

推定感染地は国内 45 件、国外 1 件（フィリピン）、不明 4 件で、推定感染経路は、飛沫・飛沫核感染 11 件、院内感染 3 件、接触感染 2 件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 5 件、飛沫・飛沫核感染又は院内感染 1 件、その他 3 件、不明 25 件であった。

ワクチン接種歴は 2 回 5 件、1 回 6 件、なし 13 件、不明 26 件であった。

水痘（入院例） 週別届出数（n=50）

水痘（入院例） 性別・年齢階級別届出数（n=50）

⑭ 梅毒

2020 年は 1,579 件の届出があった。病型は、早期顕症梅毒Ⅰ期 525 件、早期顕症梅毒Ⅱ期 585 件、晩期顕症梅毒 22 件、先天梅毒 2 件、無症候 445 件であった。性別は男性 1,125 人、女性 454 人であった。年齢階級別では 0 歳 2 人、10～19 歳 27 人、20～29 歳 589 人、30～39 歳 419 人、40～49 歳 322 人、50～59 歳 149 人、60～69 歳 48 人、70～79 歳 13 人、80 歳以上 9 人、年齢不明 1 人で、20～49 歳の男性が 920 人で全体の 58.3%を占めた。妊娠可能年齢の女性（15～49 歳）は 424 人で女性全体の 93.4%を占めた。

推定感染地は国内 1,453 件、国外 11 件（韓国、台湾、ベトナム、タイ各 2 件、メキシコ 1 件、ブルネイ又はマレーシア 1 件、渡航先不明 1 件）、不明 115 件であった。

推定感染経路は性的接触 1,489 件（同性間 443 件、異性間 855 件、両性間 11 件、性別不明 180 件）、同性間又は静注薬物使用 2 件、母子感染 3 件、不明 85 件であった。

HIV 感染症合併は 281 件（男性 279 件、女性 2 件）で、感染経路は、男性が性的接触 271 件（同性間 254 件、異性間 5 件、両性間 1 件、性別不明 11 件）、同性間又は静注薬物使用 2 件、不明 6 件、女

性は異性間性的接触であった。梅毒治療歴有りは 278 件（男性 234 件、女性 44 件）であった。妊娠中は 23 件であった。直近 6 か月の性風俗産業の従事者は 275 件（男性 21 件、女性 254 件）で、利用者は 244 件（男性 239 件、女性 5 件）であった。

梅毒　週別届出数 (n=1,579)

梅毒　性別・年齢階級別届出数 (n=1,579)

梅毒　性別病型別割合 (n=1,579)

梅毒　性別推定感染経路別割合 (n=1,579)

⑮ 播種性クリプトコックス症

2020 年は 18 件の届出があった。性別は男性 9 人、女性 9 人で、年齢階級別では 20～29 歳 3 人、40～49 歳 2 人、70～79 歳 7 人、80 歳以上 6 人であった。死亡例は 1 件であった。

推定感染地は全て国内であった。推定感染原因は、基礎疾患のあるもの 15 件（HIV3 件、筋無症候性皮膚筋炎、IgG4 関連疾患、骨髄異形成症候群、間質性肺炎、食道がん、関節リウマチ、成人 T 細胞性白血病リンパ腫各 1 件、不明 5 件）、その他 1 件、不明 2 件だった。基礎疾患のあるもののうち 5 件はステロイド投与中で、そのうち 2 件は鳥類の糞などとの接触歴があった。

⑯ 破傷風

2020 年は 8 件の届出があった。性別は男性 6 人、女性 2 人で、年齢階級別では 30～39 歳 1 人、40～49 歳 1 人、60～69 歳 1 人、70～79 歳 1 人、80 歳以上 4 人であった。

推定感染地は全て国内（全て東京都）で、推定感染経路は全て創傷感染であった。破傷風含有ワクチン接種歴は、あり 1 件、なし 2 件、不明 5 件であった。

⑰ バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

2020 年は 8 件の届出があった。性別は男性 4 人、女性 4 人で、年齢階級別では 60～69 歳 1 人、70～79 歳 2 人、80 歳以上 5 人であった。菌種は *Enterococcus faecium* 4 件、*Enterococcus faecalis* 2 件、*Enterococcus* sp.2 件、耐性遺伝子は *vanB* 6 件、検査未実施 2 件であった。

推定感染地は国内 5 件、不明 3 件であった。針等の鋭利なものの刺入による感染 1 件、接触感染 1 件、その他 3 件、不明 3 件であった。

⑱ 百日咳

2020 年は 262 件の届出があった。性別は男性 116 人、女性 146 人で、年齢階級別では 10 歳未満 82 人（6 か月未満 10 人、6 か月～12 か月 1 人、1～4 歳 15 人、5 歳～9 歳 56 人）、10～19 歳 49 人、20～29 歳 18 人、30～39 歳 38 人、40～49 歳 48 人、50～59 歳 14 人、60～69 歳 11 人、70～79 歳 2 人であった。

推定感染地は国内 216 件、国外 3 件（ルクセンブルグ 1 件、渡航先不明 2 件）、不明 43 件であった。6 か月未満 10 人の感染経路は全て家庭内感染であった。

百日咳含有ワクチン接種歴は、4 回 97 件、3 回 7 件、2 回 2 件、1 回 7 件、なし 17 件、不明 132 件であった。このうち、6 か月未満では、2 回 1 件、1 回 3 件、なし 5 件、不明 1 件であった。

診断方法は、抗体検査 167 件、遺伝子検査（LAMP 法）90 件、臨床決定 3 件、遺伝子検査（PCR 法）1 件、分離同定 1 件であった。

百日咳　週別届出数（n=262）

百日咳　年齢別・ワクチン接種歴別届出数（n=262）

⑲ 風しん

2020 年は 29 件の届出があった。検査診断例は 26 件（うち PCR 陽性例は 7 件）、臨床診断例は 3 件であった。

性別は男性 21 人、女性 8 人で、年齢階級別では 5 歳未満 1 人、10～19 歳 5 人、20～29 歳 3 人、30～39 歳 4 人、40～49 歳 7 人、50～59 歳 5 人、60～69 歳 3 人、70～79 歳 1 人であった。妊娠可能年齢の女性（15～49 歳）6 人のうち感染源が判明した 1 件で家族（子供）からの感染であった。

推定感染地は国内 26 件、国外 1 件（フィリピン）、不明 2 件であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、2 回 3 件、1 回 2 件、なし 3 件、不明 21 件であった。

PCR 検査陽性例のうち遺伝子型が判明しているのは 1E 型 4 件、2B 型 1 件であった。

風しん　週別届出数（n=29）

風しん　性別・年齢階級別届出数（n=29）

風しん　年齢別・ワクチン接種歴別届出数（n=29）

⑳ 麻しん

2020 年は 2 件の届出があり、全て検査診断例であった。肺炎、脳炎の合併の報告はなかった。

性別は男性、女性各 1 人で、年齢階級別では 20～29 歳 1 人、30～39 歳 1 人であった。推定感染地は全て国外（タイ）であった。

麻しん含有ワクチン接種歴は、2 回 1 件、不明 1 件であった。

全て PCR 検査で麻しんウイルス陽性が確認され、それらの遺伝子型は全て D8 型であった。

㉑ その他の五類感染症

クリプトスポリジウム症、先天性風しん症候群、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症の届出はなかった。

カ　指定感染症

①　新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和２年１月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）

2020年1月31日に指定感染症と定められた。2021年4月15日現在の新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムHER-SYSに登録されているデータによると、2020年に68,506件の届出があった。病型の内訳は、患者55,115人、無症状病原体保有者11,571人、疑似症患者1,777人、感染症死亡者の死体30人、感染症死亡疑い者の死体13人で、性別は男性39,280人、女性28,989人、不明237人であった。

新型コロナウイルス感染症　週別届出数（n=68, 506）

新型コロナウイルス感染症　性別・年齢階級別届出数(n=68, 506)

表3－1（1） 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2020 年第 1 週～2020 年第 53 週

週	期間	一類							二類							三類				
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 ＊	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ（H5N1）	鳥インフルエンザ（H7N9）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
1	12.30～ 1. 5																	1		
2	1. 6～ 1.12																			
3	1.13～ 1.19																3	3		
4	1.20～ 1.26																1	4		
5	1.27～ 2. 2																1	3		1
6	2. 3～ 2. 9																2	2	1	
7	2.10～ 2.16																			
8	2.17～ 2.23																	4		
9	2.24～ 3. 1																	5		
10	3. 2～ 3. 8																	5		
11	3. 9～ 3.15																	1		
12	3.16～ 3.22																1			
13	3.23～ 3.29																	1		
14	3.30～ 4. 5																	3		
15	4. 6～ 4.12																	1		
16	4.13～ 4.19																1	3		
17	4.20～ 4.26																	1		
18	4.27～ 5. 3																	3		
19	5. 4～ 5.10																			
20	5.11～ 5.17																	1		
21	5.18～ 5.24																	2		
22	5.25～ 5.31																	2		
23	6. 1～ 6. 7																			
24	6. 8～ 6.14																	2		
25	6.15～ 6.21																	9		
26	6.22～ 6.28																	5		
27	6.29～ 7. 5																	12		
28	7. 6～ 7.12																1	9		
29	7.13～ 7.19																	20		
30	7.20～ 7.26																	12		
31	7.27～ 8. 2																1	12	1	
32	8. 3～ 8. 9																	8		
33	8.10～ 8.16																	8		
34	8.17～ 8.23																	13		
35	8.24～ 8.30																	11		
36	8.31～ 9. 6																	19		
37	9. 7～ 9.13																	15		
38	9.14～ 9.20																	23		
39	9.21～ 9.27																	11		
40	9.28～10. 4																	23		
41	10. 5～10.11																	15		
42	10.12～10.18																	7		
43	10.19～10.25																	11		
44	10.26～11. 1																	5		
45	11. 2～11. 8																	3		
46	11. 9～11.15																	6		
47	11.16～11.22																	5		
48	11.23～11.29																	5		
49	11.30～12. 6																	4		
50	12. 7～12.13																	5		
51	12.14～12.20																	6		
52	12.21～12.27																	3		
53	12.28～ 1. 3																			
合計																	11	332	2	1

＊ 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3－1（2） 四類感染症 週別患者報告数

2020 年第 1 週～2020 年第 53 週

週	期　間	四　類											
		E型肝炎	A型肝炎	オウム病	コクシジオイデス症	つつが虫病	デング熱	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症
1	12.30～ 1. 5												
2	1. 6～ 1.12	5	4			2	2		1			2	
3	1.13～ 1.19	2					2					2	
4	1.20～ 1.26	1	3			2	1		1			2	
5	1.27～ 2. 2	3	1									3	
6	2. 3～ 2. 9	3			1				1				
7	2.10～ 2.16	7	4									1	
8	2.17～ 2.23		1				1					1	
9	2.24～ 3. 1	8					1					4	
10	3. 2～ 3. 8	4					1					1	
11	3. 9～ 3.15						2						
12	3.16～ 3.22	2	1										
13	3.23～ 3.29	5										4	
14	3.30～ 4. 5	6					2					1	
15	4. 6～ 4.12	5										2	
16	4.13～ 4.19	2	1			1			1			2	
17	4.20～ 4.26											1	
18	4.27～ 5. 3	4											
19	5. 4～ 5.10								1				
20	5.11～ 5.17	2											
21	5.18～ 5.24												
22	5.25～ 5.31	1										3	
23	6. 1～ 6. 7	2										4	
24	6. 8～ 6.14	3	2									4	
25	6.15～ 6.21		1									2	
26	6.22～ 6.28	5	1									3	
27	6.29～ 7. 5	2								1		6	
28	7. 6～ 7.12	4	1									4	
29	7.13～ 7.19	1										4	
30	7.20～ 7.26	1						1				8	
31	7.27～ 8. 2	1										5	
32	8. 3～ 8. 9	2				1						10	
33	8.10～ 8.16	2										3	1
34	8.17～ 8.23											5	
35	8.24～ 8.30	1										3	
36	8.31～ 9. 6											3	
37	9. 7～ 9.13								1			2	
38	9.14～ 9.20	1										7	
39	9.21～ 9.27	1										6	
40	9.28～10. 4	2					1					2	
41	10. 5～10.11	2										5	1
42	10.12～10.18	3										3	
43	10.19～10.25		1									3	
44	10.26～11. 1	2	1			1						4	
45	11. 2～11. 8	1										1	
46	11. 9～11.15	2	1			1						3	
47	11.16～11.22	4				1					1	4	
48	11.23～11.29	3			2	3						1	
49	11.30～12. 6	3				1						2	
50	12. 7～12.13	6				5						3	
51	12.14～12.20					2						4	
52	12.21～12.27			1								2	
53	12.28～ 1. 3	4	1			1						3	
合　計		118	24	1	3	21	13	1	6	1	1	148	2

表3－1(3) 全数把握対象の五類感染症及び指定感染症 週別患者報告数

2020 年第 1 週～2020 年第 53 週

週	期間	五類																			指定
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	新型コロナウイルス感染症
1	12.30～ 1. 5										2											
2	1. 6～ 1.12	4		4		6		3	2		3	1	21	1	33				9			
3	1.13～ 1.19	4				4		2	6		1		11		31				17	2		
4	1.20～ 1.26	1	1	2		2		4	12				3	6	32		1		28	1	1	10
5	1.27～ 2. 2	7	1	2		1		2	10	1	1		5	1	33	1			15	3		
6	2. 3～ 2. 9	2			1		1	3	9				5	1	32				21	3		3
7	2.10～ 2.16	3	2	4			1	2	4		2		6	2	20				20	3		17
8	2.17～ 2.23	2	2	5		1		3	9		1		3	2	31			1	13	2		14
9	2.24～ 3. 1	1	3	4				2	2				2	1	30				10	1	1	10
10	3. 2～ 3. 8	4	1	1		3	1	5	15	1	2		13		27				12	3		33
11	3. 9～ 3.15	2	2	3			1		5		1		4	3	25		1	2	10	2		83
12	3.16～ 3.22	1		2				1	1				2		17				6			51
13	3.23～ 3.29	3	4	3				3	12				5		33	3			6			293
14	3.30～ 4. 5	4	1					1	5	1	1		5	1	33			1	10			660
15	4. 6～ 4.12	4	3	4				2	7				1	1	27				7			1,191
16	4.13～ 4.19	1	5	1		1		2	5				1		21				6			1,179
17	4.20～ 4.26	2		1				1	7				3	1	31	2			8			741
18	4.27～ 5. 3	1	1					1	10		1		2		21		1		3			522
19	5. 4～ 5.10			3					2				2	1	14				2			197
20	5.11～ 5.17			4			1	1	7		1		1	2	32				6			81
21	5.18～ 5.24	2	3	1		1	1	1	9					1	45			1	4	1		48
22	5.25～ 5.31	1	2	2				2	10		1		3		31				1			124
23	6. 1～ 6. 7	1		1		1		3	5				1		40							144
24	6. 8～ 6.14	1	2	1		1		3	6				4		27	1		1	3			220
25	6.15～ 6.21	5		3			1	1	9						46		1		4	1		230
26	6.22～ 6.28	4	1	7			1	3	7		1			1	32	2			2	1		385
27	6.29～ 7. 5	3		2				3	3		1			1	32				4			700
28	7. 6～ 7.12	4	1	2			1		10						38				1			1,174
29	7.13～ 7.19	3	1	3				4	10	1				1	38	1						1,558
30	7.20～ 7.26	1	2	5		1			10				1	2	25				1			1,675
31	7.27～ 8. 2	2	1	2	1	1	2		5				2		37				1			2,412
32	8. 3～ 8. 9		1	4		1		5	10		1		1	2	29							2,837
33	8.10～ 8.16	1	1	5				2	8			1	3	1	25				1			1,873
34	8.17～ 8.23	2	2	11				4	9				2	1	25	2	1			1		1,735
35	8.24～ 8.30	3	1	4		2		4	7		1		1		26				2	1		1,396
36	8.31～ 9. 6	2	2	5		1		1	11				4		29	1			2			1,082
37	9. 7～ 9.13	3	2	6					3				2	1	25	1			5	1		1,287
38	9.14～ 9.20	1	2	3				2	8				1	2	31				3			1,255
39	9.21～ 9.27		1					4	7	1					23				1			1,087
40	9.28～10. 4		1	5		1	1	1	7				2	1	29				3			1,203
41	10. 5～10.11	4		1			1	2	13	1			2	1	26		1		4	1		1,276
42	10.12～10.18	4		7					9	2			2		33		1		2			1,334
43	10.19～10.25	1	1	6					8				2	3	33							1,197
44	10.26～11. 1	6	1	4		2	1	1	5		1		2	2	26				3			1,226
45	11. 2～11. 8	2	1	4				1	11				4	1	38		1					1,641
46	11. 9～11.15		2	5		1	1	2	14				7	1	32	1			1			2,373
47	11.16～11.22	1	1	6				4	6		1		5		30	2			1	1		3,323
48	11.23～11.29	4	1	5	1		1	1	3				2	1	29							3,081
49	11.30～12. 6			6	1				11				2	1	36			1				3,360
50	12. 7～12.13	3		4			1	6	5				3	1	29			1	1	1		3,902
51	12.14～12.20	2		6				2	8				4	1	56				2			4,740
52	12.21～12.27	2		1				1	4				4	1	40	1			1			6,106
53	12.28～ 1. 3	2	1	1					2				2		15							7,437
合計		116	60	171	4	31	17	101	383	8	23	2	163	50	1,579	18	8	8	262	29	2	68,506

表3－2（1） 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2020 年第 1 週～2020 年第 53 週

	一類							二類							三類				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核＊	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ（H5N1）	鳥インフルエンザ（H7N9）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
千代田																	4		
中央区																1	3		
みなと																1	12		
新宿区																2	6		1
文京																	4		
台東																	1		
墨田区																2	8		
江東区																	13		
品川区																1	9		
目黒区																	4		
大田区																1	12		
世田谷																	20		
渋谷区																	5		
中野区																	9		
杉並																	17		
池袋																1	7		
北区																	10		
荒川区																	1		
板橋区																	16		
練馬区																	6		
足立																	16		
葛飾区																	12		
江戸川																	17		
八王子市																	12		
町田市																	11	1	
西多摩																	14		
南多摩																	9		
多摩立川																1	27		
多摩府中																1	24	1	
多摩小平																	23		
島しょ																			
合　計																11	332	2	1

＊結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3－2（2） 四類感染症 保健所別患者報告数

2020 年第 1 週～2020 年第 53 週

	四類											
	E型肝炎	A型肝炎	オウム病	コクシジオイデス症	つつが虫病	デング熱	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症
千代田	9	1				2					1	
中央区	1				1	2		1			1	1
みなと	6	2						1			5	
新宿区	17	5		1		2		3	1		5	1
文京	12	2	1			2	1	1			4	
台東											1	
墨田区	3	2									1	
江東区	4				1						1	
品川区	6					1					2	
目黒区	1				1						3	
大田区	5	2		2	2	2					6	
世田谷	2				2						4	
渋谷区	7	1									5	
中野区	1										1	
杉並	3	1									1	
池袋	2										3	
北区	2	1									5	
荒川区	1										1	
板橋区	9	2			3	1					8	
練馬区					1					1	8	
足立	5										9	
葛飾区	5										2	
江戸川	2	1									5	
八王子市	2	2			1						11	
町田市	1										4	
西多摩	6				1						9	
南多摩	2	1									7	
多摩立川											12	
多摩府中	4	1			1	1					15	
多摩小平											8	
島しょ					7							
合　計	118	24	1	3	21	13	1	6	1	1	148	2

表3－2(3) 全数把握対象の五類感染症及び指定感染症 保健所別患者報告数

2020 年第 1 週～2020 年第 53 週

	五類																				指定
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	新型コロナウイルス感染症
千代田	7	2	2			1	3	1				3		21	1		1				1,281
中央区	7		11					4	1	2		8	1	53		2		3	1		3,818
みなと	7	1	17		1		2	23	2		1	7	5	97	2	1		1	3		4,134
新宿区	18	18	3		1		5	134	3	1		10		765	2	1		4	1		5,652
文京	11	4	13		1	1	7	41		2		13	3	68	2			19	1		2,172
台東	4		2					7				1		70							1,092
墨田区	2	1	3	1	3		5	5		1		9	1	5		1		4			1,486
江東区	3	3	8				2					2	1	12				5	1		2,002
品川区	3	1	14			2	14	6		1		6	6	20	2	1		4			2,147
目黒区	4				1		3	5	1			9	1	15	1			4			2,014
大田区	6	8	12		4		2	6				3	11	28	1			8	1	1	3,807
世田谷	2		5		3	2	4			2		6	1	19				48			4,802
渋谷区	2	5	1				1	60		1		3	1	57				5	3	1	2,687
中野区	4	2	4				1	9				3		13	1			14	2		2,371
杉並	1	1	4				1	7				1		9				8	1		2,201
池袋	4	3						1				1		114				2			2,107
北区	1	1	1				2			1		7		13				4	1		1,305
荒川区			3	1	5		2	1		2		6	1	20	1			1			1,019
板橋区	6	5	22		2		11	15		1		11	2	25	1		1	12	2		2,641
練馬区	1	1				1	3	8				7		9	1			8			2,452
足立	2		7				1	5		4				8			5	11	2		3,338
葛飾区	2		2	1			2	2	1	1		5	1	12				7	1		1,784
江戸川	3		1	1			2	7		1		2	1	17				9			2,258
八王子市	3		5			1		5				1	2	16				13	1		1,269
町田市	2		5		3	2		1		1		1	1	9				26	2		858
西多摩												1	1	5				11	2		681
南多摩			1		1		1	2				2	2	15		2		6			1,052
多摩立川	6	1	9			1	4	4				8		31				11			1,471
多摩府中	1		12		6	5	16	18		2	1	20	6	22	3		1	6	2		2,957
多摩小平	4	3	4			1	7	6				7	2	11				8	2		1,473
島しょ																					22
合　計	116	60	171	4	31	17	101	383	8	23	2	163	50	1,579	18	8	8	262	29	2	68,506

表3－3（1） 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数

2020 年第 1 週～2020 年第 53 週

	一類							二類							三類				
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 ＊	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ（H5N1）	鳥インフルエンザ（H7N9）	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳																			
1～4歳																	17		
5～9歳																	18	2	
10～14歳																	20		
15～19歳																	21		
20～24歳																2	53		
25～29歳																2	48		
30～34歳																	30		1
35～39歳																	21		
40～44歳																2	22		
45～49歳																2	17		
50～54歳																2	13		
55～59歳																	13		
60～64歳																	8		
65～69歳																1	6		
70～74歳																	12		
75～79歳																	7		
80～84歳																	2		
85～89歳																	1		
90歳以上																	3		
合　計																11	332	2	1

＊ 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3－3（2） 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2020 年第 1 週～2020 年第 53 週

	四　類											
	E型肝炎	A型肝炎	オウム病	コクシジオイデス症	つつが虫病	デング熱	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症
0歳												
1～4歳							1					
5～9歳												
10～14歳												
15～19歳												
20～24歳	3				1	2						
25～29歳		1		2	4	2		1			1	1
30～34歳	2	4			2	1						
35～39歳	10	3			1	1		1				
40～44歳	5	2				2					2	
45～49歳	10	1			1			1			9	
50～54歳	17	3			3	4		2			9	
55～59歳	19	1		1		1			1		11	
60～64歳	15	2									15	
65～69歳	9				4			1			17	
70～74歳	18	5			4					1	16	1
75～79歳	6	1	1								21	
80～84歳	1				1						16	
85～89歳	2										21	
90歳以上	1	1									10	
合　計	118	24	1	3	21	13	1	6	1	1	148	2

表3－3(3) 全数把握対象の五類感染症及び指定感染症 年齢階級別患者報告数

2020 年第 1 週～2020 年第 53 週

	五類																				指定
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	新型コロナウイルス感染症
0歳			9	1	3		2					4		2				11			166
1～4歳			5	1	14					3		24	2					15	1		633
5～9歳		1		1	4					1		2						56			652
10～14歳			1	1	4		1						6					36			834
15～19歳		4			1			3					3	27				13	5		2,201
20～24歳	1	7	2					49		1			6	282				9	1		8,788
25～29歳	2	10	1				1	80	1	1		2	5	307	3			9	2	1	10,044
30～34歳	4	5	2				1	75			2	1	2	229		1		19	2		7,481
35～39歳	8	5	1		1		2	43		2		5	4	190				19	2	1	6,242
40～44歳	10	11	2				1	37	3			6	4	185	2	1		23	4		5,296
45～49歳	17	7	3				6	43	4			6	5	137				25	3		5,129
50～54歳	18	4	8			1	5	27				5	1	94				11	1		4,655
55～59歳	12	2	10		1	1	9	16		1		10	2	55				3	4		3,859
60～64歳	15	3	14			1	8	6				7	1	29		1		6	1		2,647
65～69歳	19		15		1	4	9	3		3		19	2	19			1	5	2		2,050
70～74歳	7	1	20		2	1	15	1		1		23	2	7	2	1		2			2,163
75～79歳	3		15			3	4			3		15	1	6	5		2		1		1,765
80～84歳			29			4	13			4		16	2	3	3	3	3				1,534
85～89歳			22			1	12			1		8	2	3	2	1	1				1,256
90歳以上			12			1	12			2		10		3	1		1				993
不明														1							118
合　計	116	60	171	4	31	17	101	383	8	23	2	163	50	1,579	18	8	8	262	29	2	68,506

（２） 小児科・内科疾患

ア インフルエンザ

2020 年の報告数は 33,424 人、定点当たり 81.86 人であった。ここ 10 年の平均は 264.80 人/定点であり、2020 年はここ 10 年で最も少ない報告数であった。

2019/20 シーズンの流行は 2020 年 38 週（9.16～9.22）に 1.06 人/定点と 1.0 人/定点を超えた後、しばらくは 1.0 人/定点前後で推移したが、44 週（10.28～11.3）に 1.11 人/定点、45 週（11. 4～11.10）に 1.11 人/定点と続いたのち、上昇に転じて流行が始まり、49 週（12. 2～12. 8）には 10.34 人/定点と注意報発令基準の 10.0 人/定点を超え、52 週（12.23～12.29）には 23.19 人/定点に達した。

2020 年に入ると、年末年始に減少したあと、2 週（1. 6～1.12）には 14.42 人/定点となったが、暖冬や新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への予防行動が活発になった影響などもあってか、流行警報発令基準（定点あたり 30.0 人以上）に達することなく、2020 年 6 週（2. 3～2. 9）には 6.87 人/定点、11 週（3. 9～3.15）に 0.89 人/定点と流行は終息に向かった。

2020/21 シーズンは、散発的な報告はあったものの、流行期を迎えても都内の週別報告数は 1～5 人、0.00～0.01 人/定点の間で推移した。2021 年初頭も傾向は変わらず、5 週（2. 1～2. 7）の報告数は 0.01 人/定点だった。

2020 年の保健所別定点当たり患者報告数で最も多かったのは八王子市の 136.61 人/定点、次いで南多摩の 111.43 人/定点、最も少なかったのは品川区の 35.08 人/定点であった。

年齢階級別に患者報告数をみると 1 歳未満 467 人（1.4%）、1 歳～10 歳未満 15,747 人（47.1%）、10 歳～20 歳未満 6,859 人（20.5%）、20 歳～60 歳未満 8,990 人（26.9%）、60 歳以上 1,361 人（4.1%）であった。

インフルエンザ報告数

インフルエンザ報告数　経年変化

イ RS ウイルス感染症

2020 年の報告数は 570 人、定点当たりの報告数は 2.20 人であった。ここ 10 年の平均は 24.17 人/定点であり、2020 年の報告数はここ 10 年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では 2 週（1. 6～1.12）から 11 週（3. 9～ 3.15）にかけて 0.10 人/定点を超えていたが、ピークは 5 週（1.27～2. 2）の 0.23 人/定点であった。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは荒川区の 10.00 人/定点であった。

年齢階級別報告数では 6 か月未満が 56 人（9.8%)、6 か月～12 か月未満が 109 人（19.1%)、1 歳代が 191 人（33.5%)、2 歳代が 106 人（18.6%）と 2 歳以下で 81.1%を占めている。

RSウイルス感染症報告数

RSウイルス感染症報告数 経年変化

ウ 咽頭結膜熱

2020 年の報告数は 1,506 人、定点当たりの報告は 5.84 人であった。ここ 10 年の平均は 19.48 人/定点であり、2020 年の報告数はここ 10 年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は 2 週（1. 6～1.12）から 13 週（3.23～ 3.29）と、46 週（11.9～11.15）から 52 週（12.21～12.27）にかけて、0.10 人/定点を持続的に超えていた。ピークは 2 週（1. 6～1.12）の 0.38 人/定点であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩小平の 13.57 人/定点、次いで足立の 13.28 人/定点、大田区の 12.46 人/定点であった。

年齢階級別報告数では 1 歳代が 480 人（31.9%）と最も多く、5 歳代以下で 84.3%を占めている。

咽頭結膜熱報告数

咽頭結膜熱報告数 経年変化

エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2020 年の報告数は 13,314 人であり、定点当たりの報告数は 51.33 人であった。ここ 10 年の平均は 105.51 人/定点であり、2020 年の報告数はここ 10 年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では 2 週（1. 6～1.12）から 11 週（3. 9～ 3.15）にかけて 2.0 人/定点を超える山があり、ピークは 8 週（2.17～ 2.23）の 3.81 人/定点であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の 93.75 人/定点、次いで町田市の 91.88 人/定点であった。

年齢階級別報告数では 4 歳代が 1,796 人（13.5%）と、5 歳代が 1,752 人（13.2%）と、3 歳代から 7 歳代で 57.6%を占めている。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎報告数

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎報告数 経年変化

オ 感染性胃腸炎

2020 年の報告数は 40,036 人、定点当たりの報告数は 154.79 人であった。ここ 10 年の平均は 340.10 人/定点であり、2020 年の報告数はここ 10 年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では 2019 年 51 週から 52 週にかけて 10.0 人/定点を超えていたが、年末年始をはさんで 2020 年に入り、2 週（1. 6～1.12）から 8 週（2.17～ 2.23）にかけて 6.0 人/定点を超える山があり、ピークは 4 週（1.20～1.26）の 9.17 人/定点であった。その後は減少して 17 週（4.20～4.26）には 0.93 人/定点と 1.0 人/定点を割り込んだが、20 週（5.11～5.17）には 1.13 人/定点と 1.0 人/定点を超え、年末まで 1.01 人/定点から 3.27 人/定点の間で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の 370.42 人/定点であった。

年齢階級別報告数では 1 歳代が 5,249 人（13.1%）であった。

感染性胃腸炎報告数

感染性胃腸炎報告数 経年変化

カ 水痘

2020年の報告数は2,591人、定点当たりの報告数は10.05人であった。ここ10年の平均は31.05人/定点であり、2020年の報告数はこの10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、ピークは2週（1. 6～1.12）の0.82人/定点であるが、12週（3.16～3.22）に0.24人/定点と0.30人/定点を割り込んだあとは、14週を除いて0.30人/定点未満で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の26.19人/定点、次いで中央区の26.17人/定点であった。

年齢階級別報告数では5歳代が350人（13.5%）と最も多かった。

水痘報告数

水痘報告数 経年変化

キ 手足口病

2020年の報告数は1,020人、定点当たりの報告数は3.98人であった。ここ10 年の平均は70.65人/定点であった。ここ10 年では2010年以降1年ごとに報告の多い年と少ない年を繰り返しており2020年は報告数が少ない年にあたるが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する感染予防対策の影響もあってか、2020年の定点当たりの報告数はこの10年でみると、圧倒的に少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、ピークは27週（6.29～7. 5）の0.22人/定点であったが、年間を通して0.01人/定点から0.22人/定点の間で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは中央区の18.50人/定点であった。

年齢階級別報告数では1歳代が298人（29.2%)と最も多かった。

手足口病報告数

手足口病報告数 経年変化

ク 伝染性紅斑

2020年の報告数は465人、定点当たりの報告数は1.80人であった。ここ10年の平均は17.65人/定点であった。2020年の定点当たりの報告数はこの10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、ピークは年末年始の休暇明けの2週（1. 6～1.12）の0.15人/定点であったが、年間を通して0.20人/定点未満で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは文京の5.75人/定点であった。

年齢階級別報告数では 1 歳代が 73 人（15.7%）、4 歳代が 71 人（15.3%）、5 歳代が 77 人（16.6%）と多かった。

伝染性紅斑報告数

伝染性紅斑報告数　経年変化

ケ 突発性発しん

2020年の報告数は5,610人、定点当たりの報告数は21.76人であった。ここ10年の平均は28.41人/定点であった。2020年の定点当たりの報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年通り、やや夏季に多い傾向はみられるが季節変動は少なかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは荒川区39.92人/定点であった。

年齢階級別報告数では 1 歳代が 3,013 人（53.7%）と最も多かった。

突発性発しん報告数

突発性発しん報告数　経年変化

コ ヘルパンギーナ

2020年の報告数は674人、定点当たりの報告数は2.61人であった。ここ10年の平均は38.24人/定点であり、2020年の定点当たりの報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、ピークは29週（7.13～ 7.19）の0.20人/定点であったが、年間を通して0.01人/定点から0.20人/定点の間で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは池袋の45.43人/定点であった。

年齢階級別報告数では 1 歳代が 159 人（23.6%）と最も多かった。

ヘルパンギーナ報告数

ヘルパンギーナ報告数 経年変化

サ 流行性耳下腺炎

2020年の報告数688人、定点当たりの報告数は2.67人であった。ここ10年の平均は12.47人/定点であり、2020年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。ここ10年では2016 年に大きな流行があった。

週別定点当たりの報告数では季節変動は明らかではない。最多の報告数は26週（6.22～6.28）の0.11人/定点であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは目黒区の5.60人/定点、次いで台東の5.50人/定点であった。

年齢階級別報告数では 5 歳代が 103 人（15.0%）と最も多かった。

流行性耳下腺炎報告数

流行性耳下腺炎報告数　経年変化

シ 不明発しん症

2020年の報告数は492人であり、定点当たりの報告は1.91人であった。ここ10年の平均は4.22人/定点であり、2020年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では、2020年は季節変動が顕著ではなかった。年間を通して0.02人/定点から0.08人/定点の間で推移した。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の4.58人/定点、次いで多摩府中の4.43人/定点であった。

年齢階級別報告数では1歳代が153人（31.1%）と最も多かった。

不明発しん症報告数

不明発しん症報告数 経年変化

ス 川崎病

2020年の報告数は131人であり、定点当たりの報告数は0.51人であった。ここ10年の平均は0.73人/定点であり、2020年は、ここ10年でみると最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年と同様に季節変動は明確でない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは新宿区の1.70人/定点であった。

年齢階級別報告数では 1 歳代が 39 人（29.8%）と最も多かった。

川崎病報告数

川崎病報告数　経年変化

（３）　眼科疾患

ア 急性出血性結膜炎

2020 年の報告は 11 人、定点あたり 0.29 人だった。過去 5 年間の定点あたりの報告数はほぼ同等（0.28～0.37 人）だった。

患者発生数の推移には 1 年を通じてあまり特徴がなく、今年度は各週 1 人以下であった。全国的にも低いレベルで分散した発生が続いており、東京も同様だった。

二次医療圏別では眼科定点のある 12 医療圏のうち、報告のあったのは 5 医療圏で、区西南部圏が 6 人、北多摩南部圏が 2 人、区西部圏・区西北部圏・南多摩圏がそれぞれ 1 名であった。報告年齢は、20 歳以上の成人だけで 100%を占めた。

急性出血性結膜炎報告数

急性出血性結膜炎報告数　経年変化

イ 流行性角結膜炎

2020 年の報告数は 363 人、定点あたり 9.62 人だった。過去 10 年間では最低となった。

患者発生数は、2 週（1.6～1.12）・3 週（1.13～1.19）・5 週（1.27～2.2）・6 週（2.3～2.9）・40 週（9.28～10.4）・46 週（11.9～11.15）が 10 人超と多く、その他はほぼ平坦化していた。

二次医療圏別では、定点あたり報告数では区中央圏 23.5 人と多かった。報告年齢は 20 歳から 49 歳が 237 人と 65.3%を占め、20 歳以上の成人が 307 人（84.6%）だった。10 歳未満は 34 人（9%）で、各年齢層に分散していた。

流行性角結膜炎報告数

流行性角結膜炎報告数 経年変化

（４）　基幹定点医療機関における週報告疾患

ア 細菌性髄膜炎

2020年の報告数は25人、定点当たり報告数は1.00人であった。ここ10年の平均は1.50人/定点であり、2020年は、ここ10年でみると2014年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており季節変動は明らかではない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは渋谷区の5.00人/定点であった。

年齢階級別報告数では 6 か月未満が 7 人（28.0%）、50 歳代が 5 人（20.0%）、60 歳以上が 7 人（28.0%）であった。

細菌性髄膜炎報告数

細菌性髄膜炎報告数　経年変化

イ 無菌性髄膜炎

2020年の報告数は32人、定点当たり1.28人であった。ここ10年の平均は3.00人/定点であり、2020年は、ここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは墨田区の6.00人/定点であった。

年齢階級別報告数では 6 か月未満が 7 人（21.9%）、60 歳以上が 7 人（21.9%）であった。

無菌性髄膜炎報告数

無菌性髄膜炎報告数 経年変化

ウ マイコプラズマ肺炎

2020年の報告数は169人、定点当たりの報告数は6.79人であった。ここ10年の平均は23.19人/定点であり、2020年はここ10年で最も少ない報告数であった。ここ10 年では2011年と2012年、および2015年と2016年に大きな流行が見られた。

週別定点当たりの報告数では2016年後半の流行期以降報告数の減少が続いていたが、2019年の後半に緩やかな増加がみられ、2020年も前半にやや多い傾向がみられた。ピークは4週（1.21～1.27）の0.64人/定点であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは墨田区の19.00人/定点、次いでみなとの18.00人/定点であった。

年齢階級別報告数では 1 歳未満の報告はなく、60 歳以上が 24 人（14.2%）であった。

マイコプラズマ肺炎報告数

マイコプラズマ肺炎報告数 経年変化

エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2020年の報告数は25人であり、定点当たりの報告数は1.01人であった。ここ10年の平均は1.41人/定点であり、やや少なめの報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発的に発生しており明らかな季節性は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは、みなとの15.00人/定点であった。

年齢階級別報告数では 60 歳代が 4 人（16.0%）、70 歳代が 10 人（40.0%）、80 歳以上が 5 人（20.0%）であった。

クラミジア肺炎（オウム病を除く） 報告数

クラミジア肺炎（オウム病を除く） 報告数 経年変化

オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

2020年の報告数は8人であり、定点当たりの報告数は0.32人であった。報告は2013年42週より開始されているが、報告開始以降、最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発的に発生しており明らかな季節性は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは葛飾区の2.00人/定点であった。

年齢階級別報告数では、すべて７歳以下であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルス）報告数

感染性胃腸炎（ロタウイルス）報告数 経年変化

カ インフルエンザ入院

2020年の報告数は357人で、定点当たりの報告数は14.28人であった。2011年36週より報告が開始されたが、年間を通しての報告となった2012年以降で最も少ない報告数となった。ピークは1週（12.31～1. 6）の3.64人/定点であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは世田谷の28.50人/定点であった。

年齢階級別報告数では 10 歳未満 123 人（34.5%）、70 歳以上 142 人（39.8%）であった。

インフルエンザ入院報告数

インフルエンザ入院報告数 経年変化

（５）　基幹定点医療機関における月報告疾患

ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症

2020年の報告数は823人、定点当たりの報告数は32.92人であった。ここ10年の平均は36.96人であり、2020年はここ10 年でみると2018年に次いで少ない報告数であった。

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告数

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告数　経年変化

イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2020年の報告数は22人、定点当たりの報告数は0.88人であった。ここ10年の平均は9.36人/定点であり、2020年はここ10年で最も少ない報告数であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告数

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告数　経年変化

ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2020年の報告数は7人、定点当たりの報告数は0.28人であった。ここ10年の平均は0.77人であり、2020年はここ10年では2017年に次いで少ない報告数であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症報告数

薬剤耐性緑膿菌感染症報告数　経年変化

（６） 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

年間患者報告数は 2,116 人、定点あたり 39.31 人で、前年比 0.85 と減少し、過去 10 年で最も少ない報告数となった。男性の報告数は 1,228 人、定点当たり 22.81 人（前年比 0.88）、女性の報告数 888 人、定点当たり 16.50 人（前年比 0.80）であった。

月別報告数では、男性は 10 月が最多で 141 人、4 月が最少で 74 人、女性では 2 月が最多で 91 人、5 月が最少で 50 人だった。

性別年齢階級別では、男性は 25～29 歳の 284 人（23.1%）で最多で、20 歳代と 30 歳代で男性全体の 73.1%を占めた。女性は 20～24 歳 の 297 人（33.5%）が最多で、20 歳代と 30 歳代で女性全体 79.4%を占めた。10～14 歳の女性が 1 名報告された。

性器クラミジア感染症報告数 （男）

性器クラミジア感染症報告数 （女）

性器クラミジア感染症報告数 経年変化 （月別）

性器クラミジア感染症報告数 経年変化 （年別）

イ 性器ヘルペスウイルス感染症

年間患者報告数は 663 人、定点あたり 12.31 人で、前年比 0.65 と減少し、過去 10 年間で初めて年間 1,000 人を下回った昨年より減少した。男性の報告数は 357 人、定点当たり 6.62 人（前年比 0.54）、女性の報告数 306 人、定点当たり 5.68 人（前年比 0.86）であった。

月別報告数では、男性は 1 月が最多で 50 人、5 月が最少で 17 人、女性では 11 月が最多で 36 人、5 月が最少で 13 人だった。

性別年齢階級別では、男性は、35～39 歳の 67 人（18.8%）が最多で、30 歳代と 40 歳代が男性全体の 59.7%を占めた。女性では、20～24 歳 の 63 人（20.6%）が最多で、20 歳代と 30 歳代で女性全体の 68.0%を占めた。10～14 歳の女性が 1 名報告された。

性器ヘルペスウイルス感染症報告数 （男）

性器ヘルペスウイルス感染症報告数 （女）

性器ヘルペスウイルス感染症報告数 経年変化 （月別）

性器ヘルペスウイルス感染症報告数 経年変化 （年別）

ウ 尖圭コンジローマ

年間患者報告数は 956 人、定点あたり 17.72 人で、前年比 0.93 で、過去 10 年間の平均 19.85 人より少なかった。男性の報告数は 629 人、定点当たり 11.66 人（前年比 0.87）、女性の報告数 327 人、定点当たり 6.05 人（前年比 1.01）で、性感染症 5 疾患の中で女性の尖圭コンジローマが、唯一昨年より増加した。

月別報告数では、男性は 1 月が最多で 78 人、4 月が最少で 17 人、女性では 9 月が最多で 49 人、4 月が最少で 6 人だった。

性別年齢階級別では、男性は、25～29 歳と 30～34 歳が 121 人（19.2%）の同数で最多で、20 歳代から 30 歳代で男性全体の 66.5%を占めた。女性では、25～29 歳 が 92 人（28.1%）で最多で、20 歳代から 30 歳代で女性全体の 82.0%を占めた。

尖圭コンジローマ報告数 （男）

尖圭コンジローマ報告数 （女）

尖圭コンジローマ報告数 経年変化 （月別）

尖圭コンジローマ報告数 経年変化 （年別）

エ 淋菌感染症

年間患者報告数は 876 人、定点あたり 16.25 人で、前年比 0.81 と減少と減少し、過去 10 年で最も少なかった。男性の報告数は 634 人、定点当たり 11.76 人（前年比 0.79）、女性の報告数 242 人、定点当たり 4.49 人（前年比 0.86）であった。

月別報告数では、男性は 9 月が最多で 74 人、5 月が最少で 29 人、女性では 1 月が最多で 37 人、7 月が最少で 11 人だった。

性別年齢階級別では、男性は、20～24 歳の 144 人(22.7%)が最多で、20 歳代、30 歳代で男性全体の 75.4%を占めた。女性も 20～24 歳 の 64 人(26.5%)が最多で、20 歳代、30 歳代で女性全体の 68.6%を占めた。5～9 歳および 10～14 歳の女性が各 1 名報告された。

淋菌感染症報告数 （男）

淋菌感染症報告数 （女）

淋菌感染症報告数 経年変化 （月別）

淋菌感染症報告数 経年変化 （年別）

オ 膣トリコモナス症

膣トリコモナス症は、東京都が独自に定点把握疾患に定めている。年間患者報告数は 100 人、定点あたり 1.86 人で、前年比 0.80 で、過去 10 年で最も少ない報告数だった。男性の報告数は 5 人、定点当たり 0.09 人（前年比 0.85）、女性の報告数 95 人、定点当たり 1.77 人（前年比 0.80）であった。

男性は届出数が少なく、年齢階級や季節による特徴は評価できなかった。

女性の月別報告数は、6 月が最多で 14 人、9 月が最少で 4 人であった。女性は 20～24 歳 の 16 人（16.8%）が最多で、20 歳代、30 歳代で女性全体の 61.1%を占めた。

膣トリコモナス症報告数 （男）

膣トリコモナス症報告数 （女）

膣トリコモナス症報告数 経年変化 （月別）

膣トリコモナス症報告数 経年変化 （年別）

表4－1（1） 週別患者報告数（インフルエンザ・小児科） 2020 年第 1 週～第 53 週

週	期 間	報告定点数（インフルエンザ）	インフルエンザ	報告定点数（小児科）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1	12.30～ 1. 5	312	1,787	190	13	17	86	256	41	27	3	8	1	5
2	1. 6～ 1.12	416	6,000	261	42	98	617	2,104	214	53	39	83	20	16
3	1.13～ 1.19	416	4,889	262	31	41	635	2,065	71	26	28	97	15	11
4	1.20～ 1.26	417	5,586	262	44	58	870	2,402	138	20	21	91	19	14
5	1.27～ 2. 2	416	4,653	262	61	63	967	2,243	100	46	25	83	22	10
6	2. 3～ 2. 9	412	2,830	260	49	68	947	2,117	113	24	22	82	13	18
7	2.10～ 2.16	415	2,480	261	54	69	893	1,863	131	24	26	78	5	11
8	2.17～ 2.23	414	2,085	262	46	74	997	1,802	104	15	14	101	6	13
9	2.24～ 3. 1	416	1,490	262	56	51	740	1,294	120	12	12	59	9	12
10	3. 2～ 3. 8	415	968	261	47	62	757	1,070	96	14	17	72	9	16
11	3. 9～ 3.15	416	372	261	42	39	550	867	102	20	23	71	6	9
12	3.16～ 3.22	414	144	260	15	36	377	664	62	8	16	89	4	15
13	3.23～ 3.29	414	73	260	8	34	372	655	67	10	20	85	9	16
14	3.30～ 4. 5	413	13	259	6	14	292	537	82	7	9	80	6	9
15	4. 8～ 4.14	409	14	259	9	23	233	411	38	7	12	97	7	10
16	4.13～ 4.19	410		257	2	11	136	257	49	7	4	71	3	11
17	4.20～ 4.26	413	2	260	1	11	90	242	20	8	8	68	1	9
18	4.27～ 5. 3	402		254	1	6	94	227	12	6	5	73	5	10
19	5. 4～ 5.10	411		257	1	6	53	173	9	7	7	58	1	10
20	5.11～ 5.17	411		258		5	84	291	16	13	10	70	3	8
21	5.18～ 5.24	411	1	260	1	5	77	262	22	14	5	76	2	9
22	5.25～ 5.31	412		259			64	319	11	18	8	86	6	13
23	6. 1～ 6. 7	412		260		4	75	367	18	25	4	118	3	11
24	6. 8～ 6.14	412		258		4	83	489	20	35	8	115	4	15
25	6.15～ 6.21	413		259		3	87	516	7	36	3	132	10	20
26	6.22～ 6.28	414		261		16	106	574	10	27	9	131	19	28
27	6.29～ 7. 5	413		259	3	10	142	663	26	58	5	164	16	16
28	7. 6～ 7.12	412		259	2	17	178	740	31	44	3	158	28	21
29	7.13～ 7.19	414		260	1	19	185	765	17	33	5	148	51	21
30	7.20～ 7.26	413		260		20	141	567	24	19	3	132	14	10
31	7.27～ 8. 2	412		258	1	11	111	670	27	35	4	139	20	7
32	8. 3～ 8. 9	393		248	1	18	84	519	27	21	5	124	16	16
33	8.10～ 8.16	378	1	240		13	54	287	31	21	4	85	16	7
34	8.17～ 8.23	407		255		17	85	491	26	41		149	21	14
35	8.24～ 8.30	411		259		25	74	535	18	26	5	141	18	9
36	8.31～ 9. 6	412		259		25	97	598	23	27	3	143	28	10
37	9. 7～ 9.13	412		259	3	27	107	588	15	28	3	150	33	15
38	9.14～ 9.20	404		253		17	113	561	42	29	8	144	27	17
39	9.21～ 9.27	410		258		15	73	438	41	12	3	92	19	19
40	9.28～10. 4	411		258		27	109	507	41	20	7	136	24	11
41	10. 5～10.11	410	1	258	2	17	132	529	20	10	4	147	16	16
42	10.12～10.18	412	1	260	2	22	112	578	34	8	2	117	17	13
43	10.19～10.25	406	2	256	2	23	138	551	35	3	3	122	16	17
44	10.26～11. 1	407	4	256		18	113	557	45	15	1	132	15	12
45	11. 2～11. 8	410	4	258		20	108	590	47	7	2	116	10	14
46	11. 9～11.15	412	2	259	2	32	124	615	49	8	7	126	8	21
47	11.16～11.22	407	5	258	1	43	134	729	55	11	1	144	8	17
48	11.23～11.29	408	4	258	6	39	87	615	58	8	2	114	12	10
49	11.30～12. 6	408	3	257		42	134	617	48	8	4	97	15	14
50	12. 7～12.13	408	4	257	2	52	121	729	40	6	12	118	6	7
51	12.14～12.20	412	3	259	4	50	117	848	59	8	6	132	4	5
52	12.21～12.27	407	2	256	5	53	106	791	31	3	3	118	5	16
53	12.28～ 1. 3	387	1	241	4	16	53	291	8	2	2	48	3	4
合 計			33,424		570	1,506	13,314	40,036	2,591	1,020	465	5,610	674	688

表4－1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹)　2020 年第 1 週～第 53 週

週	期間	報告定点数（小児科）	不明発しん症	川崎病	報告定点数（眼科）	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数（基幹）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）	報告定点数（基幹）	インフルエンザ入院
1	12.30～ 1. 5	190	4		25		3	24			8		1	25	91
2	1. 6～ 1.12	261	8	3	38		15	25			14	1	1	25	63
3	1.13～ 1.19	262	5	7	38		14	25		1	8			25	60
4	1.20～ 1.26	262	9	4	38		8	25		3	16	1		25	56
5	1.27～ 2. 2	262	11	1	38	1	11	25		1	8			25	39
6	2. 3～ 2. 9	260	6	2	37		17	25			5			25	16
7	2.10～ 2.16	261	11	2	38		8	25	1		6	3		25	11
8	2.17～ 2.23	262	15	2	38	1	3	25	2	3	7	3		25	7
9	2.24～ 3. 1	262	6	3	38		4	25		2	11	1		25	11
10	3. 2～ 3. 8	261	13		38		4	24	1		7	3		25	2
11	3. 9～ 3.15	261	12	3	38		8	25		2	6			25	1
12	3.16～ 3.22	260	8	3	38		9	25		1	7			25	0
13	3.23～ 3.29	260	13	1	38		7	24			4	2		24	0
14	3.30～ 4. 5	259	6	2	39		8	25			6	1		23	0
15	4. 8～ 4.14	259	7	6	39		5	25		1	6			25	0
16	4.13～ 4.19	257	7	5	38		4	25	1	1	5	2		25	0
17	4.20～ 4.26	260	4	5	37	1	4	25	2		5			25	0
18	4.27～ 5. 3	254	8	1	35		1	25	1	1	5	1		25	0
19	5. 4～ 5.10	257	5	4	37		1	25	1		2	1		25	0
20	5.11～ 5.17	258	20	2	37			25	1		3			25	0
21	5.18～ 5.24	260	12	5	37			25	2		2			25	0
22	5.25～ 5.31	259	11	2	37			25	1	1	1			25	0
23	6. 1～ 6. 7	260	13	4	38		6	25			2			25	0
24	6. 8～ 6.14	258	12	4	38		5	25	1		4	1		25	0
25	6.15～ 6.21	259	5	1	38	1	5	25		1	2	1		25	0
26	6.22～ 6.28	261	14	3	38		6	25	1		1		1	25	0
27	6.29～ 7. 5	259	16	5	38		7	25		1	1			24	0
28	7. 6～ 7.12	259	9	1	38	1	4	25	1	1	1		1	24	0
29	7.13～ 7.19	260	4	3	38		8	25		1				24	0
30	7.20～ 7.26	260	14		38	1	6	24		1				24	0
31	7.27～ 8. 2	258	8	4	38		7	25		1	2	1		25	0
32	8. 3～ 8. 9	248	7		38		3	25			1			25	0
33	8.10～ 8.16	240	4	2	37		9	25	2	1		2		25	0
34	8.17～ 8.23	255	14		38	1	8	25	1	1			1	25	0
35	8.24～ 8.30	259	7	4	38	1	5	25		1				25	0
36	8.31～ 9. 6	259	7	1	38	1	9	25		1				25	0
37	9. 7～ 9.13	259	15	3	38		8	25	1		2		2	25	0
38	9.14～ 9.20	253	14	2	38		10	25	1					25	0
39	9.21～ 9.27	258	11	2	38		8	25						25	0
40	9.28～10. 4	258	10	3	37		14	25	1					25	0
41	10. 5～10.11	258	10	2	38		10	25		1				25	0
42	10.12～10.18	260	10	3	38		10	25			1			25	0
43	10.19～10.25	256	12	3	38		7	25		1				25	0
44	10.26～11. 1	256	6	5	38		8	25	1	1	2			25	0
45	11. 2～11. 8	258	11	3	38	1	9	25			1	1		25	0
46	11. 9～11.15	259	8		38		16	25			6			25	0
47	11.16～11.22	258	8		38		8	25	1	1				25	0
48	11.23～11.29	258	6		38		6	25	1					25	0
49	11.30～12. 6	257	10	2	38		7	25						25	0
50	12. 7～12.13	257	4	3	38		6	25		1				25	0
51	12.14～12.20	259	6	1	38		5	25						25	0
52	12.21～12.27	256	11	2	37	1	5	24			1			25	0
53	12.28～ 1. 3	241	5	2	38		4	25					1	25	0
合　計			492	131	38	11	363		25	32	169	25	8		357

表4－2（1） 週別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科） 2020 年第 1 週～第 53 週

週	期 間	報告定点数（インフルエンザ）	インフルエンザ	報告定点数（小児科）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1	12.30～ 1. 5	312	5.73	190	0.07	0.09	0.45	1.35	0.22	0.14	0.02	0.04	0.01	0.03
2	1. 6～ 1.12	416	14.42	261	0.16	0.38	2.36	8.06	0.82	0.20	0.15	0.32	0.08	0.06
3	1.13～ 1.19	416	11.75	262	0.12	0.16	2.42	7.88	0.27	0.10	0.11	0.37	0.06	0.04
4	1.20～ 1.26	417	13.40	262	0.17	0.22	3.32	9.17	0.53	0.08	0.08	0.35	0.07	0.05
5	1.27～ 2. 2	416	11.19	262	0.23	0.24	3.69	8.56	0.38	0.18	0.10	0.32	0.08	0.04
6	2. 3～ 2. 9	412	6.87	260	0.19	0.26	3.64	8.14	0.43	0.09	0.08	0.32	0.05	0.07
7	2.10～ 2.16	415	5.98	261	0.21	0.26	3.42	7.14	0.50	0.09	0.10	0.30	0.02	0.04
8	2.17～ 2.23	414	5.04	262	0.18	0.28	3.81	6.88	0.40	0.06	0.05	0.39	0.02	0.05
9	2.24～ 3. 1	416	3.58	262	0.21	0.19	2.82	4.94	0.46	0.05	0.05	0.23	0.03	0.05
10	3. 2～ 3. 8	415	2.33	261	0.18	0.24	2.90	4.10	0.37	0.05	0.07	0.28	0.03	0.06
11	3. 9～ 3.15	416	0.89	261	0.16	0.15	2.11	3.32	0.39	0.08	0.09	0.27	0.02	0.03
12	3.16～ 3.22	414	0.35	260	0.06	0.14	1.45	2.55	0.24	0.03	0.06	0.34	0.02	0.06
13	3.23～ 3.29	414	0.18	260	0.03	0.13	1.43	2.52	0.26	0.04	0.08	0.33	0.03	0.06
14	3.30～ 4. 5	413	0.03	259	0.02	0.05	1.13	2.07	0.32	0.03	0.03	0.31	0.02	0.03
15	4. 8～ 4.14	409	0.03	259	0.03	0.09	0.90	1.59	0.15	0.03	0.05	0.37	0.03	0.04
16	4.13～ 4.19	410		257	0.01	0.04	0.53	1.00	0.19	0.03	0.02	0.28	0.01	0.04
17	4.20～ 4.26	413	0.00	260	0.00	0.04	0.35	0.93	0.08	0.03	0.03	0.26	0.00	0.03
18	4.27～ 5. 3	402		254	0.00	0.02	0.37	0.89	0.05	0.02	0.02	0.29	0.02	0.04
19	5. 4～ 5.10	411		257	0.00	0.02	0.21	0.67	0.04	0.03	0.03	0.23	0.00	0.04
20	5.11～ 5.17	411		258		0.02	0.33	1.13	0.06	0.05	0.04	0.27	0.01	0.03
21	5.18～ 5.24	411	0.00	260	0.00	0.02	0.30	1.01	0.08	0.05	0.02	0.29	0.01	0.03
22	5.25～ 5.31	412		259			0.25	1.23	0.04	0.07	0.03	0.33	0.02	0.05
23	6. 1～ 6. 7	412		260		0.02	0.29	1.41	0.07	0.10	0.02	0.45	0.01	0.04
24	6. 8～ 6.14	412		258		0.02	0.32	1.90	0.08	0.14	0.03	0.45	0.02	0.06
25	6.15～ 6.21	413		259		0.01	0.34	1.99	0.03	0.14	0.01	0.51	0.04	0.08
26	6.22～ 6.28	414		261		0.06	0.41	2.20	0.04	0.10	0.03	0.50	0.07	0.11
27	6.29～ 7. 5	413		259	0.01	0.04	0.55	2.56	0.10	0.22	0.02	0.63	0.06	0.06
28	7. 6～ 7.12	412		259	0.01	0.07	0.69	2.86	0.12	0.17	0.01	0.61	0.11	0.08
29	7.13～ 7.19	414		260	0.00	0.07	0.71	2.94	0.07	0.13	0.02	0.57	0.20	0.08
30	7.20～ 7.26	413		260		0.08	0.54	2.18	0.09	0.07	0.01	0.51	0.05	0.04
31	7.27～ 8. 2	412		258	0.00	0.04	0.43	2.60	0.10	0.14	0.02	0.54	0.08	0.03
32	8. 3～ 8. 9	393		248	0.00	0.07	0.34	2.09	0.11	0.08	0.02	0.50	0.06	0.06
33	8.10～ 8.16	378	0.00	240		0.05	0.23	1.20	0.13	0.09	0.02	0.35	0.07	0.03
34	8.17～ 8.23	407		255		0.07	0.33	1.93	0.10	0.16		0.58	0.08	0.05
35	8.24～ 8.30	411		259		0.10	0.29	2.07	0.07	0.10	0.02	0.54	0.07	0.03
36	8.31～ 9. 6	412		259		0.10	0.37	2.31	0.09	0.10	0.01	0.55	0.11	0.04
37	9. 7～ 9.13	412		259	0.01	0.10	0.41	2.27	0.06	0.11	0.01	0.58	0.13	0.06
38	9.14～ 9.20	404		253		0.07	0.45	2.22	0.17	0.11	0.03	0.57	0.11	0.07
39	9.21～ 9.27	410		258		0.06	0.28	1.70	0.16	0.05	0.01	0.36	0.07	0.07
40	9.28～10. 4	411		258		0.10	0.42	1.97	0.16	0.08	0.03	0.53	0.09	0.04
41	10. 5～10.11	410	0.00	258	0.01	0.07	0.51	2.05	0.08	0.04	0.02	0.57	0.06	0.06
42	10.12～10.18	412	0.00	260	0.01	0.08	0.43	2.22	0.13	0.03	0.01	0.45	0.07	0.05
43	10.19～10.25	406	0.00	256	0.01	0.09	0.54	2.15	0.14	0.01	0.01	0.48	0.06	0.07
44	10.26～11. 1	407	0.01	256		0.07	0.44	2.18	0.18	0.06	0.00	0.52	0.06	0.05
45	11. 2～11. 8	410	0.01	258		0.08	0.42	2.29	0.18	0.03	0.01	0.45	0.04	0.05
46	11. 9～11.15	412	0.00	259	0.01	0.12	0.48	2.37	0.19	0.03	0.03	0.49	0.03	0.08
47	11.16～11.22	407	0.01	258	0.00	0.17	0.52	2.83	0.21	0.04	0.00	0.56	0.03	0.07
48	11.23～11.29	408	0.01	258	0.02	0.15	0.34	2.38	0.22	0.03	0.01	0.44	0.05	0.04
49	11.30～12. 6	408	0.01	257		0.16	0.52	2.40	0.19	0.03	0.02	0.38	0.06	0.05
50	12. 7～12.13	408	0.01	257	0.01	0.20	0.47	2.84	0.16	0.02	0.05	0.46	0.02	0.03
51	12.14～12.20	412	0.01	259	0.02	0.19	0.45	3.27	0.23	0.03	0.02	0.51	0.02	0.02
52	12.21～12.27	407	0.00	256	0.02	0.21	0.41	3.09	0.12	0.01	0.01	0.46	0.02	0.06
53	12.28～ 1. 3	387	0.00	241	0.02	0.07	0.22	1.21	0.03	0.01	0.01	0.20	0.01	0.02
平 均			1.54		0.04	0.11	0.97	2.92	0.19	0.08	0.03	0.41	0.05	0.05

表4－2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)　2020 年第 1 週～第 53 週

週	期間	報告定点数（小児科）	不明発しん症	川崎病	報告定点数（眼科）	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数（基幹）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）	報告定点数（基幹）	インフルエンザ入院
1	12.31～ 1. 6	190	0.02		25		0.12	24			0.33		0.04	25	3.64
2	1. 7～ 1.13	261	0.03	0.01	38		0.39	25			0.56	0.04	0.04	25	2.52
3	1.14～ 1.20	262	0.02	0.03	38		0.37	25		0.04	0.32			25	2.40
4	1.21～ 1.27	262	0.03	0.02	38		0.21	25		0.12	0.64	0.04		25	2.24
5	1.28～ 2. 3	262	0.04	0.00	38	0.03	0.29	25		0.04	0.32			25	1.56
6	2. 4～ 2.10	260	0.02	0.01	37		0.46	25			0.20			25	0.64
7	2.11～ 2.17	261	0.04	0.01	38		0.21	25	0.04		0.24	0.12		25	0.44
8	2.18～ 2.24	262	0.06	0.01	38	0.03	0.08	25	0.08	0.12	0.28	0.12		25	0.28
9	2.25～ 3. 3	262	0.02	0.01	38		0.11	25		0.08	0.44	0.04		25	0.44
10	3. 4～ 3.10	261	0.05		38		0.11	24	0.04		0.29	0.13		25	0.08
11	3.11～ 3.17	261	0.05	0.01	38		0.21	25		0.08	0.24			25	0.04
12	3.18～ 3.24	260	0.03	0.01	38		0.24	25		0.04	0.28			25	
13	3.25～ 3.31	260	0.05	0.00	38		0.18	24			0.17	0.08		24	
14	4. 1～ 4. 7	259	0.02	0.01	39		0.21	25			0.24	0.04		23	
15	4. 8～ 4.14	259	0.03	0.02	39		0.13	25		0.04	0.24			25	
16	4.15～ 4.21	257	0.03	0.02	38		0.11	25	0.04	0.04	0.20	0.08		25	
17	4.22～ 4.28	260	0.02	0.02	37	0.03	0.11	25	0.08		0.20			25	
18	4.29～ 5. 5	254	0.03	0.00	35		0.03	25	0.04	0.04	0.20	0.04		25	
19	5. 6～ 5.12	257	0.02	0.02	37		0.03	25	0.04		0.08	0.04		25	
20	5.13～ 5.19	258	0.08	0.01	37			25	0.04		0.12			25	
21	5.20～ 5.26	260	0.05	0.02	37			25	0.08		0.08			25	
22	5.27～ 6. 2	259	0.04	0.01	37			25	0.04	0.04	0.04			25	
23	6. 3～ 6. 9	260	0.05	0.02	38		0.16	25			0.08			25	
24	6.10～ 6.16	258	0.05	0.02	38		0.13	25	0.04		0.16	0.04		25	
25	6.17～ 6.23	259	0.02	0.00	38	0.03	0.13	25		0.04	0.08	0.04		25	
26	6.24～ 6.30	261	0.05	0.01	38		0.16	25	0.04		0.04		0.04	25	
27	7. 1～ 7. 7	259	0.06	0.02	38		0.18	25		0.04	0.04			24	
28	7. 8～ 7.14	259	0.03	0.00	38	0.03	0.11	25	0.04	0.04	0.04		0.04	24	
29	7.15～ 7.21	260	0.02	0.01	38		0.21	25		0.04				24	
30	7.22～ 7.28	260	0.05		38	0.03	0.16	24		0.04				24	
31	7.29～ 8. 4	258	0.03	0.02	38		0.18	25		0.04	0.08	0.04		25	
32	8. 5～ 8.11	248	0.03		38		0.08	25			0.04			25	
33	8.12～ 8.18	240	0.02	0.01	37		0.24	25	0.08	0.04		0.08		25	
34	8.19～ 8.25	255	0.05		38	0.03	0.21	25	0.04	0.04			0.04	25	
35	8.26～ 9. 1	259	0.03	0.02	38	0.03	0.13	25		0.04				25	
36	9. 2～ 9. 8	259	0.03	0.00	38	0.03	0.24	25		0.04				25	
37	9. 9～ 9.15	259	0.06	0.01	38		0.21	25	0.04		0.08		0.08	25	
38	9.16～ 9.22	253	0.06	0.01	38		0.26	25	0.04					25	
39	9.23～ 9.29	258	0.04	0.01	38		0.21	25						25	
40	9.30～10. 6	258	0.04	0.01	37		0.38	25	0.04					25	
41	10. 7～10.13	258	0.04	0.01	38		0.26	25		0.04				25	
42	10.14～10.20	260	0.04	0.01	38		0.26	25			0.04			25	
43	10.21～10.27	256	0.05	0.01	38		0.18	25		0.04				25	
44	10.28～11. 3	256	0.02	0.02	38		0.21	25	0.04	0.04	0.08			25	
45	11. 4～11.10	258	0.04	0.01	38	0.03	0.24	25			0.04	0.04		25	
46	11.11～11.17	259	0.03		38		0.42	25			0.24			25	
47	11.18～11.24	258	0.03		38		0.21	25	0.04	0.04				25	
48	11.25～12. 1	258	0.02		38		0.16	25	0.04					25	
49	12. 2～12. 8	257	0.04	0.01	38		0.18	25						25	
50	12. 9～12.15	257	0.02	0.01	38		0.16	25		0.04				25	
51	12.16～12.22	259	0.02	0.00	38		0.13	25						25	
52	12.23～12.29	256	0.04	0.01	37	0.03	0.14	24			0.04			25	
53	12.28～ 1. 3	241	0.02	0.01	38		0.11	25					0.04	25	
平　均			0.04	0.01		0.01	0.18		0.02	0.02	0.13	0.02	0.01		0.27

表５－１（１） 保健所別患者報告数（インフルエンザ・小児科） 2020 年第 1 週～第 53 週

	設置定点数（インフルエンザ）	インフルエンザ	設置定点数（小児科）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	204	3	1	11	31	149	14	2	3	34	2	1
中央区	5	236	3	4	8	132	786	77	55	3	84	3	9
みなと	9	496	6	23	55	339	570	49	6	5	109	44	16
新宿区	12	804	8	39	58	349	943	32	7	6	94	36	11
文京	7	717	4	3	22	163	375	49	25	23	105	4	16
台東	7	452	4	13	38	292	1,476	90	24	15	147	6	22
墨田区	8	578	5	3	12	209	380	29	9	6	108	7	5
江東区	14	927	9	7	32	519	1,814	136	37	15	205	4	25
品川区	12	408	8	1	33	233	1,062	79	31	29	148	10	14
目黒区	8	594	5	15	25	308	785	31	17	13	96	13	28
大田区	21	1,391	13	53	162	831	2,659	150	44	38	357	41	53
世田谷	25	2,481	16	43	79	615	2,317	142	52	16	209	34	46
渋谷区	7	312	4	2	4	90	494	13	16	4	48	5	2
中野区	11	884	7	9	20	465	1,128	75	32	8	179	6	22
杉並	16	1,075	10	26	34	296	1,250	44	38	21	121	9	20
池袋	8	532	5	18	24	67	521	30	18	2	21	221	3
北区	11	754	7	4	18	213	688	34	12	8	215	5	12
荒川区	7	700	4	40	31	308	779	65	3	19	159	3	10
板橋区	16	1,066	10	7	8	239	1,480	46	26	8	91	18	26
練馬区	21	1,733	13	30	43	952	1,782	102	37	24	321	42	37
足立	20	1,506	13	44	172	599	2,039	72	43	19	281	36	14
葛飾区	13	1,179	8	7	8	348	1,318	82	44	29	207	11	12
江戸川	19	1,623	12	22	62	740	1,910	116	45	19	219	14	15
八王子市	18	2,459	11	48	94	1,025	2,765	285	95	20	263	21	45
町田市	13	1,256	8	3	2	735	1,935	94	59	21	200	19	26
西多摩	14	1,121	8	1	47	408	962	36	28	3	110	11	10
南多摩	14	1,404	9	19	77	346	1,093	60	43	9	221	5	31
多摩立川	21	1,414	14	19	24	419	1,587	139	30	8	222	14	33
多摩府中	33	2,851	21	28	114	896	2,448	248	60	34	508	20	82
多摩小平	23	2,126	15	38	189	1,145	2,522	171	82	33	524	10	39
島しょ	2	141	1			2	19	1		4	4		3
合　計	419	33,424	264	570	1,506	13,314	40,036	2,591	1,020	465	5,610	674	688
定点当たり報告数		81.86		2.20	5.84	51.33	154.79	10.05	3.98	1.80	21.76	2.61	2.67
前年定点当たり報告数		361.04		34.00	17.04	112.95	299.71	22.25	132.46	23.60	22.77	40.26	3.85
当年/前年		0.23		0.06	0.34	0.45	0.52	0.45	0.03	0.08	0.96	0.06	0.69

表5－1（2） 保健所別患者報告数（小児科・眼科・基幹） 2020 年第 1 週～第 53 週

	設置定点数（小児科）	不明発しん症	川崎病	設置定点数（眼科）	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数（基幹）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）	インフルエンザ入院
千代田	3	3	4				2	2	7	5			13
中央区	3	5	2	1		37							
みなと	6		3				1			18	15		5
新宿区	8	12	12	2		11	2	2		15			13
文京	4			1		10	1						7
台東	4	18	6										
墨田区	5	8	3	1		5	1	4	6	19			23
江東区	9	11	6	1		1							
品川区	8	8		1		5							
目黒区	5	6	4	1									
大田区	13	52	19	2		6	1			7			3
世田谷	16	50	5	2	6	39	2	4	10	1		1	57
渋谷区	4	8		1		9	1	5	4	9		1	9
中野区	7	7	5	1		7							
杉並	10	11	10	1	1	9	2			7		1	43
池袋	5	4	1	1		33	1			12	2		
北区	7	2	3	1	1	7							
荒川区	4		1	1		9							
板橋区	10	24	4	2		7	1			13		1	23
練馬区	13	13	4	2		21							
足立	13	8		2		15							
葛飾区	8	32		1		9	1	1	2	8		2	23
江戸川	12	15	4	2		17							
八王子市	11	18	3	2		33	1						8
町田市	8	13	5	1	1	19							
西多摩	8	12	2	1		2	1			4			2
南多摩	9		2	1									
多摩立川	14	16	1	2		3	1			2			13
多摩府中	21	87	20	3	2	31	3	7	3	45	8	2	75
多摩小平	15	49	2	2		18	2			4			40
島しょ	1						1						
合　計	264	492	131	39	11	363	25	25	32	169	25	8	357
定点当たり報告数		1.91	0.51		0.29	9.62		1.00	1.28	6.79	1.01	0.32	14.28
前年定点当たり報告数		3.17	0.58		0.29	17.35		1.57	1.93	14.02	1.56	7.53	60.49
当年/前年		0.60	0.87		1.00	0.55		0.64	0.67	0.48	0.65	0.04	0.24

表5－2（1） 保健所別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科）

2020 年 1 週～第 53 週

	設置定点数（インフルエンザ）	インフルエンザ	設置定点数（小児科）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	51.00	3	0.33	3.67	10.33	49.67	4.67	0.67	1.00	11.33	0.67	0.33
中央区	5	49.65	3	1.33	2.83	44.50	263.67	26.17	18.50	1.00	28.00	1.00	3.00
みなと	9	55.11	6	3.83	9.17	56.50	95.00	8.17	1.00	0.83	18.17	7.33	2.67
新宿区	12	68.45	8	5.27	8.18	48.51	130.49	4.48	0.96	0.84	13.33	5.14	1.57
文京	7	104.26	4	0.75	5.50	40.75	95.50	13.25	6.50	5.75	26.25	1.00	4.00
台東	7	64.57	4	3.25	9.50	73.17	370.42	22.50	6.00	3.75	36.92	1.50	5.50
墨田区	8	72.25	5	0.60	2.45	41.85	76.40	5.80	1.80	1.20	21.80	1.40	1.00
江東区	14	66.21	9	0.78	3.56	57.68	202.07	15.13	4.11	1.67	22.82	0.44	2.79
品川区	12	35.08	8	0.13	4.18	29.55	133.89	9.93	3.91	3.71	18.61	1.27	1.77
目黒区	8	74.25	5	3.00	5.00	61.60	157.00	6.20	3.40	2.60	19.20	2.60	5.60
大田区	21	66.24	13	4.08	12.46	63.92	204.54	11.54	3.38	2.92	27.46	3.15	4.08
世田谷	25	99.25	16	2.69	4.94	38.56	145.64	8.92	3.29	1.01	13.25	2.14	2.88
渋谷区	7	44.57	4	0.50	1.00	22.50	123.50	3.25	4.00	1.00	12.00	1.25	0.50
中野区	11	88.40	7	1.50	3.33	77.50	188.00	12.50	5.33	1.33	29.83	1.00	3.67
杉並	16	66.53	10	2.39	3.29	28.46	122.52	4.75	3.98	2.07	12.55	0.92	2.01
池袋	8	71.91	5	3.60	6.40	13.50	106.37	6.13	3.75	0.40	4.25	45.43	0.60
北区	11	71.92	7	0.57	2.57	30.45	98.55	4.86	1.71	1.17	30.81	0.74	1.71
荒川区	7	106.75	4	10.00	7.75	77.08	197.25	17.00	0.75	4.75	39.92	0.75	2.50
板橋区	16	75.81	10	0.70	0.80	24.58	149.51	4.61	2.60	0.80	9.14	1.80	2.60
練馬区	21	84.95	13	2.31	3.31	73.68	137.65	7.85	2.85	1.85	24.74	3.71	2.85
足立	20	76.63	13	3.45	13.28	46.38	157.53	5.56	3.32	1.50	21.70	2.78	1.08
葛飾区	13	90.69	8	0.88	1.00	43.50	164.75	10.25	5.50	3.63	25.88	1.38	1.50
江戸川	19	89.39	12	1.94	5.47	64.15	164.95	10.01	3.83	1.64	18.74	1.18	1.27
八王子市	18	136.61	11	4.37	8.71	93.75	256.23	26.19	8.67	1.86	24.45	1.91	4.15
町田市	13	96.62	8	0.38	0.25	91.88	241.88	11.75	7.38	2.63	25.00	2.38	3.25
西多摩	14	80.42	8	0.13	5.89	51.05	120.38	4.55	3.50	0.38	13.79	1.38	1.25
南多摩	14	111.43	9	2.11	8.56	39.47	125.11	6.94	5.19	1.00	24.61	0.56	3.58
多摩立川	21	67.33	14	1.36	1.71	29.93	113.36	9.93	2.14	0.57	15.86	1.00	2.36
多摩府中	33	93.11	21	1.46	5.65	44.43	123.81	12.68	3.35	1.77	26.13	1.04	4.22
多摩小平	23	100.50	15	2.80	13.57	82.28	181.43	12.38	5.96	2.39	37.77	0.73	2.84
島しょ	2	70.50	1			2.00	19.00	1.00		4.00	4.00		3.00
定点当たり報告数		81.86		2.20	5.84	51.33	154.79	10.05	3.98	1.80	21.76	2.61	2.67
前年定点当たり報告数		361.04		34.00	17.04	112.95	299.71	22.25	132.46	23.60	22.77	40.26	3.85
当年/前年		0.23		0.06	0.34	0.45	0.52	0.45	0.03	0.08	0.96	0.06	0.69

表5－2（2） 保健所別定点当たり患者報告数（小児科・眼科・基幹）

2020 年第 1 週～第 53 週

	設置定点数（小児科）	不明発しん症	川崎病	設置定点数（眼科）	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数（基幹）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	（オウム病を除く）クラミジア肺炎	（ロタウイルスによる）感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
千代田	3	1.00	1.33				2	1.00	3.50	2.50			6.50
中央区	3	1.67	0.67	1		37.00							
みなと	6		0.50				1			18.00	15.00		5.00
新宿区	8	1.64	1.70	2		11.00	2	1.00		7.50			6.50
文京	4			1		10.00	1						7.00
台東	4	4.58	1.50										
墨田区	5	1.60	0.60	1		5.00	1	4.00	6.00	19.00			23.00
江東区	9	1.22	0.67	1		1.00							
品川区	8	1.00		1		5.00							
目黒区	5	1.20	0.80	1									
大田区	13	4.00	1.46	2		3.00	1			7.00			3.00
世田谷	16	3.21	0.31	2	3.00	20.50	2	2.00	5.00	0.50		0.50	28.50
渋谷区	4	2.00		1		9.00	1	5.00	4.00	9.00		1.00	9.00
中野区	7	1.17	0.83	1		7.00							
杉並	10	1.18	1.10	1	1.00	9.00	2			3.50		0.50	21.50
池袋	5	0.80	0.20	1		33.00	1			12.00	2.00		
北区	7	0.29	0.43	1	1.00	7.00							
荒川区	4		0.25	1		9.00							
板橋区	10	2.41	0.41	2		3.50	1			13.00		1.00	23.00
練馬区	13	1.00	0.31	2		10.50							
足立	13	0.62		2		7.00							
葛飾区	8	4.00		1		9.00	1	1.00	2.00	8.00		2.00	23.00
江戸川	12	1.27	0.33	2		8.50							
八王子市	11	1.66	0.27	2		15.83	1						8.00
町田市	8	1.63	0.63	1	1.00	19.00							
西多摩	8	1.50	0.25	1		2.00	1			4.00			2.00
南多摩	9		0.22	1									
多摩立川	14	1.14	0.07	2		1.50	1			2.00			13.00
多摩府中	21	4.43	1.05	3	0.67	11.00	3	2.33	1.00	15.33	2.83	0.67	25.00
多摩小平	15	3.55	0.14	2		9.00	2			2.00			20.00
島しょ	1						1						
定点当たり報告数		1.91	0.51		0.29	9.62		1.00	1.28	6.79	1.01	0.32	14.28
前年定点当たり報告数		3.17	0.58		0.29	17.35		1.57	1.93	14.02	1.56	7.53	60.49
当年/前年		0.60	0.87		1.00	0.55		0.64	0.67	0.48	0.65	0.04	0.24

表6　年齢階級別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）　2020 年第 1 週～第 53 週

	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6か月未満	98	56	6	2	307	17	8		50	3	
12か月未満	369	109	102	48	2,138	79	95	29	1,435	42	2
1歳	1,078	191	480	500	5,249	155	298	73	3,013	159	22
2歳	1,034	106	275	831	3,730	122	154	42	747	113	32
3歳	1,387	49	186	1,272	3,275	175	126	43	191	53	74
4歳	1,836	30	129	1,796	3,063	262	105	71	94	50	96
5歳	2,077	10	92	1,752	2,770	350	65	77	52	21	103
6歳	2,178	4	68	1,607	2,378	309	55	36	14	22	88
7歳	2,375	2	42	1,244	1,897	267	18	29	7	12	71
8歳	2,066	1	25	999	1,663	242	18	18	2	11	63
9歳	1,716		18	822	1,515	240	17	15	1	7	39
10～14歳	5,359	2	32	1,420	4,577	317	36	21	2	43	72
15～19歳	1,500	1	6	179	1,281	17	8	1		8	9
20～29歳	1,825	9	45	842	6,193	39	17	10	2	130	17
30～39歳	2,501										
40～49歳	3,007										
50～59歳	1,657										
60～69歳	747										
70～79歳	415										
80歳以上	199										
合　計	33,424	570	1,506	13,314	40,036	2,591	1,020	465	5,610	674	688

注：小児科定点把握対象疾病の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

	不明発しん症	川崎病	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	インフルエンザ入院
6か月未満	12	7			7	7			3	12
12か月未満	51	22		2		1				12
1歳	153	39		7		1	2		2	28
2歳	62	24		4			3		1	13
3歳	50	16		4			4		1	8
4歳	32	11		2			10			10
5歳	34	4		4			9			16
6歳	23	2		3			11			8
7歳	16	4		3			10		1	3
8歳	11	2		3			11			12
9歳	14			2	1		11			1
10～14歳	16			11	1		17			16
15～19歳	5			11		4	13			
20～29歳	13		5	93		2	19	1		8
30～39歳			2	86	2	5	11	3		9
40～49歳			1	58	2	5	11	1		16
50～59歳			2	25	5		3	1		18
60～69歳			1	32		3	3	4		25
70～79歳				13	3	3	10	10		44
80歳以上					4	1	11	5		98
合　計	492	131	11	363	25	32	169	25	8	357

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。
注：眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7－1　二次医療圏別患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）

2020 年第 1 週～第 53 週

	設置定点数（インフルエンザ）	インフルエンザ	設置定点数（小児科）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	2,105	20	44	134	957	3,356	279	112	49	479	59	64
2 区南部圏	33	1,799	21	54	195	1,064	3,721	229	75	67	505	51	67
3 区西南部圏	40	3,387	25	60	108	1,013	3,596	186	85	33	353	52	76
4 区西部圏	39	2,763	25	74	112	1,110	3,321	151	77	35	394	51	53
5 区西北部圏	56	4,085	35	59	93	1,471	4,471	212	93	42	648	286	78
6 区東北部圏	40	3,385	25	91	211	1,255	4,136	219	90	67	647	50	36
7 区東部圏	41	3,128	26	32	106	1,468	4,104	281	91	40	532	25	45
8 西多摩圏	14	1,121	8	1	47	408	962	36	28	3	110	11	10
9 南多摩圏	45	5,119	28	70	173	2,106	5,793	439	197	50	684	45	102
10 北多摩西部圏	21	1,414	14	19	24	419	1,587	139	30	8	222	14	33
11 北多摩南部圏	33	2,851	21	28	114	896	2,448	248	60	34	508	20	82
12 北多摩北部圏	23	2,126	15	38	189	1,145	2,522	171	82	33	524	10	39
13 島しょ圏	2	141	1			2	19	1		4	4		3
合　計	419	33,424	264	570	1,506	13,314	40,036	2,591	1,020	465	5,610	674	688

	設置定点数（小児科）	不明発しん症	川崎病	設置定点数（眼科）	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数（基幹）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	26	15	2		47	4	2	7	23	15		25
2 区南部圏	21	60	19	3		11	1			7			3
3 区西南部圏	25	64	9	4	6	48	3	9	14	10		2	66
4 区西部圏	25	30	27	4	1	27	4	2		22		1	56
5 区西北部圏	35	43	12	6	1	68	2			25	2	1	23
6 区東北部圏	25	40	1	4		33	1	1	2	8		2	23
7 区東部圏	26	34	13	4		23	1	4	6	19			23
8 西多摩圏	8	12	2	1		2	1			4			2
9 南多摩圏	28	31	10	4	1	52	1						8
10 北多摩西部圏	14	16	1	2		3	1			2			13
11 北多摩南部圏	21	87	20	3	2	31	3	7	3	45	8	2	75
12 北多摩北部圏	15	49	2	2		18	2			4			40
13 島しょ圏	1						1						
合　計	264	492	131	39	11	363	25	25	32	169	25	8	357

表7－2　二次医療圏別定点当たり患者報告数（インフルエンザ・小児科・眼科・基幹）

2020 年第 1 週～第 53 週

	設置定点数（インフルエンザ）	インフルエンザ	設置定点数（小児科）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	66.18	20	2.21	6.72	47.89	168.14	14.05	5.63	2.45	24.02	2.95	3.21
2 区南部圏	33	54.91	21	2.59	9.34	50.90	177.94	10.94	3.58	3.20	24.13	2.43	3.23
3 区西南部圏	40	84.68	25	2.40	4.33	40.59	144.36	7.47	3.42	1.33	14.25	2.09	3.06
4 区西部圏	39	73.62	25	3.05	4.94	47.30	142.27	6.52	3.42	1.50	17.29	2.27	2.34
5 区西北部圏	56	80.09	35	1.69	2.77	42.52	128.89	6.09	2.67	1.21	18.63	8.27	2.24
6 区東北部圏	40	85.95	25	3.67	8.50	50.41	166.04	8.84	3.61	2.70	25.95	2.00	1.46
7 区東部圏	41	77.99	26	1.26	4.18	57.57	160.84	11.06	3.55	1.59	20.76	0.97	1.76
8 西多摩圏	14	80.42	8	0.13	5.89	51.05	120.38	4.55	3.50	0.38	13.79	1.38	1.25
9 南多摩圏	45	115.23	28	2.52	6.25	75.72	208.89	15.88	7.13	1.79	24.64	1.62	3.68
10 北多摩西部圏	21	67.33	14	1.36	1.71	29.93	113.36	9.93	2.14	0.57	15.86	1.00	2.36
11 北多摩南部圏	33	93.11	21	1.46	5.65	44.43	123.81	12.68	3.35	1.77	26.13	1.04	4.22
12 北多摩北部圏	23	100.50	15	2.80	13.57	82.28	181.43	12.38	5.96	2.39	37.77	0.73	2.84
13 島しょ圏	2	70.50	1			2.00	19.00	1.00		4.00	4.00		3.00

	設置定点数（小児科）	不明発しん症	川崎病	設置定点数（眼科）	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数（基幹）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	1.30	0.75	2		23.50	4	0.50	1.75	5.75	3.75		6.25
2 区南部圏	21	2.87	0.90	3		3.67	1			7.00			3.00
3 区西南部圏	25	2.59	0.36	4	1.50	12.25	3	3.00	4.67	3.33		0.67	22.00
4 区西部圏	25	1.31	1.20	4	0.33	9.00	4	0.50		5.50		0.25	14.00
5 区西北部圏	35	1.23	0.35	6	0.17	11.33	2			12.50	1.00	0.50	11.50
6 区東北部圏	25	1.62	0.04	4		8.18	1	1.00	2.00	8.00		2.00	23.00
7 区東部圏	26	1.32	0.50	4		5.75	1	4.00	6.00	19.00			23.00
8 西多摩圏	8	1.50	0.25	1		2.00	1			4.00			2.00
9 南多摩圏	28	1.11	0.36	4	0.25	12.80	1						8.00
10 北多摩西部圏	14	1.14	0.07	2		1.50	1			2.00			13.00
11 北多摩南部圏	21	4.43	1.05	3	0.67	11.00	3	2.33	1.00	15.33	2.83	0.67	25.00
12 北多摩北部圏	15	3.55	0.14	2		9.00	2			2.00			20.00
13 島しょ圏	1						1						

表8－1　月別患者報告数（基幹）

2020 年 1 月～12 月

	報告定点数	黄色ブドウ球菌感染症 メチシリン耐性	肺炎球菌感染症 ペニシリン耐性	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	72	3	1
2月	25	74	4	
3月	25	71	2	
4月	25	60		
5月	25	55		
6月	25	79		
7月	25	98	2	1
8月	25	72	1	1
9月	25	63		
10月	25	55	1	1
11月	25	63	4	2
12月	25	61	5	1
合　計		823	22	7

表8－2　月別定点当たり患者報告数（基幹）

2020 年 1 月～12 月

	報告定点数	黄色ブドウ球菌感染症 メチシリン耐性	肺炎球菌感染症 ペニシリン耐性	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	2.88	0.12	0.04
2月	25	2.96	0.16	
3月	25	2.84	0.08	
4月	25	2.40		
5月	25	2.20		
6月	25	3.16		
7月	25	3.92	0.08	0.04
8月	25	2.88	0.04	0.04
9月	25	2.52		
10月	25	2.20	0.04	0.04
11月	25	2.52	0.16	0.08
12月	25	2.44	0.20	0.04
平　均		2.74	0.07	0.02
合　計		32.92	0.88	0.28
前年合計		35.76	3.84	0.32
当年/前年		0.92	0.23	0.88

表8－3　月別・性別患者報告数（基幹）　2020 年 1 月～12 月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
1月	35	37	2	1		1
2月	42	32	4			
3月	48	23	2			
4月	33	27				
5月	37	18				
6月	51	28				
7月	65	33	1	1	1	
8月	43	29	1			1
9月	40	23				
10月	39	16		1		1
11月	36	27	2	2	1	1
12月	36	25	2	3	1	
合 計	505	318	14	8	3	4

８－４ 性別・年齢階級別患者報告数（基幹） 2020 年 1 月～12 月

	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	50	18				
1～4歳	44	33	5	5		
5～9歳	14	16				
10～14歳	16	11				
15～19歳	2	2				
20～24歳	10	2		1		
25～29歳	3	4				
30～34歳	10	9				
35～39歳	8	7				
40～44歳	8	8				
45～49歳	13	12				
50～54歳	19	10				
55～59歳	30	8				
60～64歳	34	10	1		1	
65～69歳	31	14	1			1
70歳以上	213	154	7	2	2	3
合 計	505	318	14	8	3	4
定点当たり報告数	20.20	12.72	0.56	0.32	0.12	0.16
前年定点当たり報告数	23.20	12.56	2.12	1.72	0.20	0.12
当年／前年	0.87	1.01	0.26	0.19	0.60	1.33

表９－１ 月別患者報告数（性感染症） 2020 年 1 月～12 月

	報告定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症
1月	55	206	71	119	108	6
2月	55	212	62	86	82	9
3月	54	188	61	82	63	10
4月	53	137	43	23	56	5
5月	53	132	30	30	42	12
6月	53	174	56	103	55	14
7月	52	152	39	37	58	9
8月	54	170	48	62	62	8
9月	54	173	60	119	88	4
10月	54	215	63	88	98	6
11月	54	177	66	99	85	8
12月	54	180	64	108	79	9
合 計		2,116	663	956	876	100

表９－２ 月別定点当たり患者報告数（性感染症） 2020 年 1 月～12 月

	報告定点数	性器クラミジア感染症	性器ヘルペスウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症
1月	55	3.75	1.29	2.16	1.96	0.11
2月	55	3.85	1.13	1.56	1.49	0.16
3月	54	3.48	1.13	1.52	1.17	0.19
4月	53	2.58	0.81	0.43	1.06	0.09
5月	53	2.49	0.57	0.57	0.79	0.23
6月	53	3.28	1.06	1.94	1.04	0.26
7月	52	2.92	0.75	0.71	1.12	0.17
8月	54	3.15	0.89	1.15	1.15	0.15
9月	54	3.20	1.11	2.20	1.63	0.07
10月	54	3.98	1.17	1.63	1.81	0.11
11月	54	3.28	1.22	1.83	1.57	0.15
12月	54	3.33	1.19	2.00	1.46	0.17
平 均		3.28	1.03	1.48	1.35	0.16
合 計		39.31	12.31	17.72	16.25	1.86
前年合計		50.93	17.98	28.81	21.81	2.17
当年/前年		0.77	0.68	0.61	0.75	0.86

表９－３　月別・性別患者報告数（性感染症）　2020 年 1 月～12 月

	報告定点数	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	121	85	50	21	78	41	71	37		6
2月	55	121	91	34	28	51	35	64	18	1	8
3月	54	104	84	30	31	58	24	43	20	1	9
4月	53	74	63	23	20	17	6	34	22		5
5月	53	82	50	17	13	22	8	29	13		12
6月	53	93	81	22	34	72	31	40	15		14
7月	52	88	64	23	16	28	9	47	11	1	8
8月	54	90	80	28	20	46	16	47	15		8
9月	54	106	67	34	26	70	49	74	14		4
10月	54	141	74	28	35	58	30	65	33	1	5
11月	54	102	75	30	36	57	42	64	21	1	7
12月	54	106	74	38	26	72	36	56	23		9
合　計		1,228	888	357	306	629	327	634	242	5	95

表９－４　月別・性別定点当たり患者報告数（性感染症）　2020 年 1 月～12 月

	報告定点数	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	2.20	1.55	0.91	0.38	1.42	0.75	1.29	0.67		0.11
2月	55	2.20	1.65	0.62	0.51	0.93	0.64	1.16	0.33	0.02	0.15
3月	54	1.93	1.56	0.56	0.57	1.07	0.44	0.80	0.37	0.02	0.17
4月	53	1.40	1.19	0.43	0.38	0.32	0.11	0.64	0.42		0.09
5月	53	1.55	0.94	0.32	0.25	0.42	0.15	0.55	0.25		0.23
6月	53	1.75	1.53	0.42	0.64	1.36	0.58	0.75	0.28		0.26
7月	52	1.69	1.23	0.44	0.31	0.54	0.17	0.90	0.21	0.02	0.15
8月	54	1.67	1.48	0.52	0.37	0.85	0.30	0.87	0.28		0.15
9月	54	1.96	1.24	0.63	0.48	1.30	0.91	1.37	0.26		0.07
10月	54	2.61	1.37	0.52	0.65	1.07	0.56	1.20	0.61	0.02	0.09
11月	54	1.89	1.39	0.56	0.67	1.06	0.78	1.19	0.39	0.02	0.13
12月	54	1.96	1.37	0.70	0.48	1.33	0.67	1.04	0.43		0.17

表9－5 保健所別、二次医療圏別患者報告数（性感染症）

2020 年 1 月～12 月

	設置定点数	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	69	9	15	3	20	7	28			
中央区	3	34	14	43	14	15	3	12	3		2
みなと	2	74	52	24	9	82	2	17	11		3
新宿区	7	206	130	97	81	357	210	124	37	2	1
文京	1	45		17		12		20		1	2
台東	2	14	68	2	13	7	8	22	133	1	26
墨田区	2	34	6	9	5	23	6	14	2		5
江東区	2	81	4	37	4	15		45	2		
品川区	1	52	3	38		9		14	1		
大田区	2	18	24		5		5	4	2		2
渋谷区	5	259	112	21	72	47	33	105	16	1	
中野区	2	94	7	2	3	2	3	52	3		12
杉並	2	42	15	2		7	1	30	2		
池袋	3	107	60	31	37	18	18	94	10		12
北区	1	3									
荒川区	1		8		1						1
板橋区	2	10	43	1	6	12	4	13			1
足立	2	9	41		7		2	5	1		4
江戸川	2	72	70	18	4	3	7	33	6		13
八王子市	4		62		25		8		5		4
町田市	1		21		12		6				2
多摩立川	2	1	127		5		4		8		4
多摩府中	3	4						2			
多摩小平	1		12								1
合　計	55	1,228	888	357	306	629	327	634	242	5	95
定点当たり報告数		22.81	16.50	6.62	5.68	11.66	6.05	11.76	4.49	0.09	1.77
前年定点当たり報告数		30.92	20.01	10.70	7.28	20.67	8.14	16.25	5.56	0.11	2.06
当年/前年		0.74	0.82	0.62	0.78	0.56	0.74	0.72	0.81	0.84	0.86

区中央部圏	10	236	143	101	39	136	20	99	147	2	33
区南部圏	3	70	27	38	5	9	5	18	3		2
区西南部圏	5	259	112	21	72	47	33	105	16	1	
区西部圏	11	342	152	101	84	366	214	206	42	2	13
区西北部圏	6	120	103	32	43	30	22	107	10		13
区東北部圏	3	9	49		8		2	5	1		5
区東部圏	6	187	80	64	13	41	13	92	10		18
南多摩圏	5		83		37		14		5		6
北多摩西部圏	2	1	127		5		4		8		4
北多摩南部圏	3	4						2			
北多摩北部圏	1		12								1

表9－6　保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数（性感染症）

2020 年 1 月～12 月

	設置定点数	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	34.50	4.50	7.50	1.50	10.00	3.50	14.00			
中央区	3	14.83	6.50	20.33	5.67	7.00	1.33	5.33	1.00		0.83
みなと	2	37.00	26.00	12.00	4.50	41.00	1.00	8.50	5.50		1.50
新宿区	7	29.77	18.91	13.86	11.57	51.11	30.00	17.83	5.29	0.29	0.14
文京	1	45.00		17.00		12.00		20.00		1.00	2.00
台東	2	7.00	34.00	1.00	6.50	3.50	4.00	11.00	66.50	0.50	13.00
墨田区	2	17.00	3.00	4.50	2.50	11.50	3.00	7.00	1.00		2.50
江東区	2	42.00	2.50	18.50	2.50	7.50		23.00	1.00		
品川区	1	52.00	3.00	38.00		9.00		14.00	1.00		
大田区	2	9.00	12.00		2.50		2.50	2.00	1.00		1.00
渋谷区	5	51.80	22.40	4.20	14.40	9.40	6.60	21.00	3.20	0.20	
中野区	2	47.00	3.50	1.00	1.50	1.00	1.50	26.00	1.50		6.00
杉並	2	21.00	7.50	1.00		3.50	0.50	15.00	1.00		
池袋	3	35.67	20.00	10.33	12.33	6.00	6.00	31.33	3.33		4.00
北区	1	3.00									
荒川区	1		8.00		1.00						1.00
板橋区	2	5.00	21.50	0.50	3.00	6.00	2.00	6.50			0.50
足立	2	4.50	20.50		3.50		1.00	2.50	0.50		2.00
江戸川	2	36.00	35.00	9.00	2.00	1.50	3.50	16.50	3.00		6.5
八王子市	4		15.50		6.25		2.00		1.25		1.00
町田市	1		21.00		12.00		6.00				2.00
多摩立川	2	0.50	63.50		2.50		2.00		4.00		2.00
多摩府中	3	1.33						0.67			
多摩小平	1		12.00								1.00
合　計	55	1,228	888	357	306	629	327	634	242	5	95
定点当たり報告数		22.81	16.50	6.62	5.68	11.66	6.05	11.76	4.49	0.09	1.77

区中央部圏	10	25.49	15.39	10.90	4.17	14.80	2.20	10.61	15.83	0.21	3.59
区南部圏	3	23.33	9.00	12.67	1.67	3.00	1.67	6.00	1.00		0.67
区西南部圏	5	51.80	22.40	4.20	14.40	9.40	6.60	21.00	3.20	0.20	
区西部圏	11	31.49	13.96	9.20	7.64	33.33	19.45	18.91	3.82	0.18	1.20
区西北部圏	6	20.00	17.17	5.33	7.17	5.00	3.67	17.83	1.67		2.17
区東北部圏	3	3.00	16.33		2.67		0.67	1.67	0.33		1.67
区東部圏	6	32.77	14.30	10.90	2.33	7.23	2.23	15.83	1.67		3.27
南多摩圏	5		16.60		7.40		2.80		1.00		1.20
北多摩西部圏	2	0.50	63.50		2.50		2.00		4.00		2.00
北多摩南部圏	3	1.33						0.67			
北多摩北部	1		12.00								1.00

表９－７　年齢階級別患者報告数（性感染症）　2020 年 1 月～12 月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳										
1～4歳										
5～9歳								1		
10～14歳		1		1				1		
15～19歳	13	75		10	2	17	7	14		1
20～24歳	218	297	28	63	72	86	144	64		16
25～29歳	284	208	39	55	121	92	139	48	3	15
30～34歳	222	125	51	56	121	67	110	21		15
35～39歳	174	75	67	34	104	23	85	33		12
40～44歳	136	46	55	20	63	19	62	24	1	11
45～49歳	78	32	40	22	56	15	42	17		9
50～54歳	47	23	26	16	36	4	23	13		6
55～59歳	33	4	24	10	28	1	12	5		8
60～64歳	12	1	8	4	18	1	6		1	
65～69歳	6	1	6	6	3	1	1			
70歳以上	5		13	9	5	1	3	1		2
合　計	1,228	888	357	306	629	327	634	242	5	95

表１０　検査結果別報告数（基幹）　2020 年 1 週～53 週

病原体	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	合計
Streptococcus agalactiae	5					5
Streptococcus sp.	1					1
Staphylococcus aureus	1					1
Staphylococcus epidermidis	1					1
Other bacteria	3					3
Candida sp.		1				1
Mumps virus		1				1
Enterovirus nt.		1				1
Mycoplasma pneumoniae			153			153
Chlamydophila pneumoniae				25		25
Rotavirus group unknown					7	7
Negative		8				8
記載無し	14	21	16		1	52
合　計	25	32	169	25	8	259

第　2　章

東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報

１　ウイルス検査結果

（１）小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体

ア　インフルエンザ

①　2019/2020 年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザウイルスの流行シーズンは、毎年 9 月（第 36 週）を境にシーズン分けがされており、2020 年第 1 週～第 35 週は 2019/2020 年シーズン、2020 年第 36 週～第 52 週は 2020/2021 年シーズンとなる。2019/2020 年シーズン（2019 年第 36 週～2020 年第 35 週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関より 519 検体が搬入された。遺伝子検査では AH1pdm09 343 件（82.5%）、AH3 亜型 7 件（1.7%）、B 型 66 件（Victoria 系統 66 件：15.9%、Yamagata 系統 0 件：0%）の計 416 件が検出され、流行の 8 割以上を AH1pdm09 が占めていた（図 1、図 2）。2019/2020 年シーズンは、第 38 週から都内流行期に入り、第 46 週から検出数の増加が見られたが、ピーク時の検出数は 40 件で 2018/2019 年シーズンのピーク（58 件）よりも少なかった。ウイルス分離検査では、AH1pdm09 324 株、AH3 亜型 6 株、B 型 64 株（Victoria 系統 64 株、Yamagata 系統 0 株）の計 394 株が分離された。

②　2020/2021 年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

2020/2021 年シーズン（2020 年第 36 週～2021 年第 13 週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関より 29 検体が搬入された。2019/2020 年シーズンの同期間（506 件）に比べ、著しく検体数が減少していた。遺伝子検査及びウイルス分離検査では、インフルエンザウイルスは検出されなかった。

図 1.　2019/2020 年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出数

図 2. 2019/2020 年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出状況

③ インフルエンザウイルスの抗原解析

遺伝子解析及びワクチン株抗血清を用いた HI 試験により、インフルエンザウイルスの抗原性状を比較した。遺伝子解析は、RT-nested PCR 検査によって得られたヘマグルチニン（HA）遺伝子の一部断片を用いてダイレクトシーケンスにより塩基配列を決定し、ワクチン株と分子系統樹上で比較した。分離株の性状解析は、国立感染症研究所配布のインフルエンザサーベイランスキット抗血清を用いた HI 試験（1.0%モルモット赤血球浮遊液を使用）により行った。

AH1pdm09 は、2019/2020 年シーズンのワクチン株が A/Singapore/GP1908/2015 から A/Brisbane/02/2018 に変更された。2019/2020 年シーズンの流行株とワクチン株を比較すると、解析範囲で遺伝子変異は 5～7 塩基（塩基一致率：98.7%～99.1%）であり、系統樹上ではワクチン株と同じクレードに属し（図 3）、HI 試験により分離株の抗原性状を比較したところ、ワクチン株と同等の反応性がみられた。2020/2021 シーズンのワクチン株は、A/Brisbane/02/2018 から A/Guangdong-Maonan/SWL1536/2019 (CNIC－1909)(H1N1)に変更された。2020/2021 シーズンには、AH1pdm09 は検出されなかった。

AH3 亜型は、2019/2020 年シーズンのワクチン株が A/Singapore/INFIMH-16-0019/2016 から A/Kansas/14/2017 に変更された。2019/2020 年シーズンの流行株とワクチン株を比較すると、解析範囲で 15～20 の塩基の変異（塩基一致率：93.9%～95.4%）がみられ、系統樹上では流行株はワクチン株と異なるクレードに属していた（図 4）。分離株の HA 価は、すべて 8 倍未満で HI 試験が実施できなかった。2020/2021 シーズンのワクチン株は、A/Kansas/14/2017 から A/HongKong/2671/2019 (NIB－121)(H3N2)に変更された。2020/2021 シーズンでは AH3 亜型は検出されなかった。

B 型 Victoria 系統は、2019/2020 年シーズンの流行株とワクチン株を比較すると、解析範囲での遺伝子変異は 5～7 塩基（塩基一致率： 97.1%～97.8%）であり、HI 試験により分離株の抗原性状を比較したところ、ワクチン株と同等の反応性がみられた（図 5）。2020/2021 シーズンのワクチン株は、B/Maryland/15/2016（NYMC BX－69A)から B/Victoria/705/2018（BVR－11)に変更された。2020/2021 シーズンでは B 型 Victoria 系統は検出されなかった。

2019/2020 年シーズン及び 2020/2021 シーズンにおいては、B 型 Yamagata 系統は検出されなかった。

図 3. 東京都における AH1pdm09 インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

図 4. 東京都における AH3 亜型インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

図 5. 東京都における B 型インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

④ その他のウイルスの検出状況

インフルエンザウイルスの検査と同時にエンテロウイルス、アデノウイルス等の遺伝子検査を行った。2019/2020 年シーズンは 519 検体が搬入され、エンテロウイルス 5 件、ライノウイルス 21 件、アデノウイルス 13 件が検出された（図 6a）。ライノウイルスとアデノウイルスは、インフルエンザの流行期にインフルエンザウイルスと同時に検出される例が多かった。2020/2021 年シーズンでは 29 検体が搬入され、エンテロウイルス 1 件、ライノウイルス 7 件、アデノウイルス 2 件が検出された（図 6b）。

図 6a. 2019/2020 年シーズンのエンテロウイルス、アデノウイルス遺伝子検出数

図 6b. 2020/2021 年シーズンのエンテロウイルス、アデノウイルス遺伝子検出数（2021 年 3 月末現在）

イ　RS ウイルス感染症

小児科定点医療機関で RS ウイルス感染症と診断され、当センターに搬入された患者検体 6 件について RS ウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。6 件中 2 件から RS ウイルス遺伝子（A 型 2 件）が、1 件からライノウイルス遺伝子が検出された。さらに RS ウイルス A 型 2 株が分離された（表 1、図 7）。

表 1. RS ウイルス感染症患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
RSウイルスA型	2	2
ライノウイルス	1	
陰性	3	4

図 7. RS ウイルス感染症患者検体からのウイルス検出状況

ウ　咽頭結膜熱

小児科定点医療機関で咽頭結膜熱と診断され、当センターに搬入された患者検体 30 件についてアデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。30 件中 15 件からアデノウイルス遺伝子（2 型：6 件、1 型：2 件、3 型：2 件、6 型：2 件、5 型：1 件、型別不能：2 件）が検出された。また、5 件からライノウイルスがそれぞれ検出された（表 2)。加えて、アデノウイルス 6 型：2 件、型別不能：1 件がそれぞれ分離された。

表 2.　咽頭結膜熱患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出数	分離件数
アデノウイルス1型	2	
アデノウイルス２型	6	
アデノウイルス３型	2	
アデノウイルス５型	1	
アデノウイルス6型	2	2
アデノウイルス型別不能	2	1
ライノウイルス	5	
陰性	11	27

咽頭結膜熱は「プール熱」とも呼ばれ一般に夏に発生が多いと認識されるが、夏季の検査数は少ない傾向がみられ、9 月の検査数が最多であった。（図 8)。

図 8.　咽頭結膜熱患者検体からのウイルス検出状況（重複検出を含む）

エ　感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は流行時期に合わせ、毎年第 36 週から翌年の第 35 週までの 1 年間を流行シーズンとしているため、2020 年第 1 週～第 35 週は 2019/2020 年シーズン、第 36 週～第 53 週は 2020/2021 年シーズンとなる。

小児科定点医療機関及び基幹定点医療機関において感染性胃腸炎と診断され、当センターに搬入された患者検体について、小児科定点の検体についてはノロウイルス、サポウイルス、A 群ロタウイルス、アデノウイルス及びアストロウイルス、基幹定点の検体では A 群ロタウイルス及び C 群ロタウイルスの遺伝子検査を実施した。

小児科定点医療機関から搬入された 35 件について検査を実施した結果、17 件からノロウイルス等が検出された。内訳は、ノロウイルスが最も多く 10 件、サポウイルスが 3 件、アストロウイルスが 4 件であった。ノロウイルスの遺伝子型については GⅡ.4 が多い傾向がみられた（表 3、図 9）。
基幹定点医療機関から搬入された 2 件について検査を実施した結果、A 群ロタウイルスが 2 件すべてから検出され、C 群ロタウイルスは検出されなかった。A 群ロタウイルスの遺伝子型は、G4P[5]と G1P[8]がそれぞれ 1 件ずつであった。

表 3. 感染性胃腸炎患者から検出されたウイルス遺伝子の内訳（小児科定点）

検出遺伝子	検出数
ノロウイルス GⅡ.2	3
ノロウイルス GⅡ.4	5
ノロウイルス GⅡ.6	1
ノロウイルス GⅡ.14	1
サポウイルス	3
アストロウイルス	4
計	17

図 9. 感染性胃腸炎患者検体からのウイルス遺伝子検出状況

オ　水痘

小児科定点医療機関で水痘と診断され当センターに搬入された患者検体 13 件について、水痘帯状疱疹ウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。13 検体中 9 件から当該遺伝子が検出された（表 4、図 10）。

表 4.　水痘患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
水痘帯状疱疹ウイルス	9	
陰性	4	13

図 10.　水痘患者検体からのウイルス検出状況

カ　手足口病

小児科定点医療機関で手足口病と診断され、当センターに搬入された患者検体 10 件について、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。検出されたエンテロウイルスはコクサッキーウイルス A16 型が 1 件、ライノウイルスが 1 件であった。分離試験ではコクサッキーウイルス A16 型が 1 株分離された（表 5、図 11）。

表 5.　手足口病患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
コクサッキーウイルスA16型	1	1
ライノウイルス	1	
陰性	8	9

図 11. 手足口病患者検体からのウイルス検出状況

キ　伝染性紅斑

小児科定点医療機関で伝染性紅斑と診断され、当センターに搬入された患者検体 6 件についてヒトパルボウイルス B19 等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。6 検体中 1 件からヒトパルボウイルス B19 が検出された（表 6、図 12）。

表 6. 伝染性紅斑患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
ヒトパルボウイルスB19	1	
陰性	5	6

図 12. 伝染性紅斑患者検体からのウイルス検出状況

ク　突発性発しん

小児科定点医療機関で突発性発しんと診断され、当センターに搬入された患者検体 29 件について遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。29 件中 11 件からヒトヘルペスウイルス 6 型、5 件からヒトヘルペスウイルス 7 型が検出された（表 7）。検査数にばらつきはみられたものの、ほぼ一年を通じてヒトヘルペスウイルス 6 型が検出された（図 13）。

表 7.　突発性発しんの患者から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出数	分離件数
ヒトヘルペスウイルス6型	11	
ヒトヘルペスウイルス7型	5	
陰性	13	29

図 13.　突発性発しん患者検体からのウイルス検出状況（重複検出を含む）

ケ　ヘルパンギーナ

小児科定点医療機関でヘルパンギーナと診断され、当センターに搬入された患者検体 7 件についてエンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、コクサッキーウイルス A4 型が 2 件検出された（表 8、図 14）。またコクサッキーウイルス A4 型、アデノウイルス 2 型がそれぞれ 1 株ずつ分離された。

表 8.　ヘルパンギーナ患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
コクサッキーウイルスA4型	2	2
アデノウイルス2型		1
陰性	5	4

図 14. ヘルパンギーナ患者検体からのウイルス検出状況

コ　流行性耳下腺炎

小児科定点医療機関で流行性耳下腺炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 20 件についてムンプスウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。このうち 3 件から EB ウイルス遺伝子が検出されたが、ムンプスウイルスは年間を通じて検出されなかった（表 9、図 15）。

表 9. 流行性耳下腺炎の患者から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
ムンプスウイルス	0	
EBウイルス	3	
陰性	17	20

図 15. 流行性耳下腺炎患者検体からのウイルス検出状況

サ　不明発しん症

小児科定点医療機関で不明発しん症と診断され、当センターに搬入された患者検体 59 件について麻しんウイルス、風しんウイルス、ヒトパルボウイルス B19、ヒトヘルペスウイルス 6 型・7 型、エンテロウイルス、アデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。

遺伝子検査では、25 件（重複検出を含む）のウイルス遺伝子が検出された。最も多く検出されたのは昨年同様にヒトヘルペスウイルス 6 型 8 件であり、次いでライノウイルス 5 件、ヒトヘルペスウイルス 7 型 4 件が多くを占めていた。また、麻しん・風しんウイルスについては遺伝子解析による型別を実施し、麻しんウイルス 4 件及び風しんウイルス 1 件は全てワクチン株であった。ウイルス分離試験では、遺伝子検査で検出されなかったアデノウイルス 1 型、RS ウイルスがそれぞれ 1 株分離された（表 10、図 16）。

表 10.　不明発しん症患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出数	分離件数
ヒトヘルペスウイルス6型	8	
ヒトヘルペスウイルス7型	4	
ヒトパルボウイルスB19型	1	
ライノウイルス	5	
コクサッキーウイルスA4型	1	
RSウイルス		1
EBウイルス	1	
アデノウイルス1型		1
麻しんウイルス	4	
風しんウイルス	1	
陰性	40	57

図 16.　不明発しん症患者検体からの月別ウイルス検出状況（重複検出を含む）

シ　川崎病

小児科定点医療機関で川崎病と診断され、当センターに搬入された患者検体 4 件についてアデノウイルス、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、遺伝子検査でライノウイルスが 2 件検出された。

ス　無菌性髄膜炎

基幹定点医療機関で無菌性髄膜炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 15 件についてエンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施したが、ウイルス遺伝子は検出されず、分離試験に関しても分離されなかった（表 11、図 17）。

表 11.　無菌性髄膜炎患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
陰性	15	15

図 17.　無菌性髄膜炎患者検体からのウイルス検出状況

（２）眼科病原体定点医療機関からの搬入検体

ア　流行性角結膜炎

定点医療機関で流行性角結膜炎と診断され当センターに搬入された患者検体 5 件について、アデノウイルス及びエンテロウイルスの遺伝子検査及び分離検査を実施した。このうち 3 件からアデノウイルス遺伝子が検出された（表 12、図 18）。

表 12.　流行性角結膜炎患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
アデノウイルス54型	1	
アデノウイルス型別不能	2	
陰性	2	5

図 18. 流行性角結膜炎患者検体からの月別ウイルス検出状況

（３）性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体

ア　性器ヘルペスウイルス感染症

STI 病原体定点医療機関から 11 件（主として性器ヘルペス感染症を疑う患者の陰部尿道擦過物、又は水泡内容物）が搬入された。このうち、11 件中 2 件（18.2%）から HSV-1 型、4 件（36.4%）から HSV-2 型の遺伝子が検出された。

イ　尖圭コンジローマ

STI 病原体定点医療機関から 12 件（陰部尿道擦過物、尖圭コンジローマ部位擦過物、又は尖圭コンジローマ患部生検材料）が搬入された。このうち、12 件中 8 件（66.7%）から HPV 遺伝子が検出された。1 検体から 1 種類の HPV 遺伝子型が検出されたのは 5 件（41.7%）で、子宮頸がん等のリスク評価による分類でみると、High リスク群に分離されたものが 1 件（68 型）、Low リスク群に分類されたものが 4 件であった［6 型：3 件（75.0%）、11 型：1 件（25.0%）］。また、3 件からは同時に 2 種類の HPV 遺伝子が検出された［High リスクと Low リスク：2 件（66.7%）、Low リスクと Low リスク：1 件（33.4%）］。

ウ　ウイルス性尿道炎

STI 病原体定点医療機関から 111 件（尿又は陰部尿道擦過物）が搬入された。

アデノウイルス（ADV）については、ヘキソン領域を対象とした PCR 法による ADV 遺伝子の検出を行った。HSV については、リアルタイム PCR 法による HSV（HSV-1 型及び HSV-2 型）の遺伝子検査を実施した。その結果、アデノウイルス D 種が 111 件中 5 件（4.5%）、HSV-2 型が 4 件（3.6%）、HSV-1 型が 2 件（1.8%）検出された。

（４）積極的疫学調査による搬入検体

ア　二類感染症

①　中東呼吸器症候群（MERS コロナウイルス）

都内医療機関で MERS コロナウイルス感染疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体はなかった。

② 鳥インフルエンザ（A/H5N1 亜型、A/H7N9 亜型）

都内医療機関で鳥インフルエンザウイルス感染疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体はなかった。

イ 四類感染症

① A 型肝炎

医療機関で A 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 19 件について遺伝子検査を実施した。16 件から A 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、これらについて遺伝子解析を行った結果、遺伝子型はⅠA 型 14 件、ⅠB 型 1 件、ⅢA 型 1 件であった。

② E 型肝炎

医療機関で E 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 68 件について遺伝子検査を実施した。32 件から E 型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、これらについて遺伝子解析を行った結果、すべて遺伝子型は 3 型であった。

③ 蚊媒介感染症（デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症）

都内の医療機関でデング熱と診断、またはデング熱等の蚊媒介感染症疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 7 件（血液 5 件、尿 2 件）について検査を実施した。その結果、海外感染疑い例のうち 3 件からデングウイルス遺伝子（1 型 2 件、4 型 1 件）が検出された。

④ リケッチア等関連疾患（Q 熱、つつが虫病、日本紅斑熱、発しんチフス、ライム病）

都内の医療機関でリケッチア関連疾患疑いと診断され、保健所を通じて当センターに患者検体11件（つつが虫病6件、日本紅斑熱1件、ライム病2件、リケッチア等関連疾患疑い2件）が搬入された。つつが虫患者の急性期血液6検体中5件から*Orientia tsutsugamushi*の遺伝子を検出し、内訳はKawasaki株様遺伝子3件、Karp株様遺伝子1件、Kuroki株様遺伝子1件であった。リケッチア症を疑われた2検体からは病原性のあるリケッチアの遺伝子は検出されず、ライム病を疑う2件（ペア血清）について抗体検査を実施したところ、ライム病のボレリアに対するIgG抗体の上昇は認められなかった。

ウ 五類感染症（全数把握疾患）

① 急性脳炎

都内の医療機関で急性脳炎と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 2 件についてエンテロウイルスの遺伝子検査を実施したが、エンテロウイルスは検出されなかった。

② 水痘（入院を要するもの）

都内の医療機関で水痘と診断され入院に至った事例で、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 6 件について水痘帯状疱疹ウイルス（VZV）の遺伝子検査を行ったところ、5 件から VZV 遺伝子が検出された。

③ 急性弛緩性麻痺

都内の医療機関で急性弛緩性麻痺と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 3 件について、エンテロウイルスの遺伝子検査を実施したところ、いずれも陰性であった。

④ 麻しん及び風しん

都内医療機関で麻しん、あるいは風しん（疑い含む）と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 122 件について麻しんウイルス及び風しんウイルスの遺伝子検査を実施した。その結果、麻しんウイルス遺伝子が 4 件から検出され、遺伝子型別を行ったところ D8 型が 3 件、A 型が 1 件であった。一方、風しんウイルス遺伝子は 10 件から検出され、遺伝子型別を行ったところ 1E 型が 5 件、2B 型が 1 件、1a 型が 1 件、型別不能が 3 件であった。

また、麻しん及び風しんウイルスが陰性となった検体については、病原体レファレンス事業によりヒトパルボウイルス B19 等の遺伝子検索も実施した。その結果、ヒトパルボウイルス B19 は 2 件、ヒトヘルペスウイルス 6 型は 1 件検出された。

エ　指定感染症

2019 年に中国武漢において発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は世界的な流行をみせ、収束に至っていない。2020 年 1 月より検査を開始し、2020 年 12 月末までに 69,175 件の検査を実施している。

（2021 年 2 月 3 日の感染症法改正により、「新型インフルエンザ等感染症」に分類された。）

２　細菌検査結果

（１）四類感染症の病原体検索

ア　レジオネラ症

患者由来株 10 株（10 事例）が搬入された。血清型別試験を実施した結果、1 群が 9 株、6 群が 1 株であった。患者喀痰 1 件が搬入された。分離培養と遺伝子検査を実施した結果、培養陰性、遺伝子陽性であった。

（２）五類感染症（全数把握対象）の病原体検索

ア　カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

患者由来株 54 株が搬入された。菌株の内訳は、*Escherichia coli* が最も多く 16 株、次いで *Klebsiella aerogenes* が 10 株、*Klebsiella pneumoniae* が 9 株、*Serratia marcescens* が 6 株、*Enterobacter cloacae* と *Citrobacter freundii* が 2 株であった。その他、*Morganella morganii* などが搬入された。

PCR 法によるβ-ラクタマーゼ遺伝子の検出を実施した結果、NDM 遺伝子保有株が 6 株であった。また、IMP-1 遺伝子保有株が 7 株、CTX-M-1 group 遺伝子保有株が 13 株、CTX-M-9 group 遺伝子保有株が 4 株、EBC 遺伝子保有株が 1 株、CIT 遺伝子保有株が 3 株、DHA 遺伝子保有株が 6 株であった。また、検査したいずれの耐性遺伝子も保有していなかった株は 19 株であった。

イ　劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症由来株として搬入された患者由来株は 95 株（83 事例）で、Lancefield 分類による群別の結果、A 群が 40 株、B 群が 24 株、F 群が 1 株、G 群が 30 株であった。

A 群レンサ球菌はすべて *Streptococcus pyogenes* であり、その T 血清型は 1 型：5 株、11 型：5 株、22 型：10 株、28 型：3 株、B3264 型：4 株、6 型、14/49 型、13 型が各 1 株ずつであり、型別不能が 10 株であった。M タンパクをコードする遺伝子により型別を行う emm 型別を実施した結果、81 型が 15 株と最も多く、次いで 1 型及び 44 型が 5 株ずつであり、89 型が 4 株などであった。

B 群レンサ球菌 24 株の血清型別を実施した結果、Ia 型、V 型、VI 型が 2 株ずつであり、Ib 型：5 株、II 型：1 株、III 型：7 株、IV 型：3 株であり、型別不能が 2 株であった。

また、G 群レンサ球菌 30 株は、*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis* であり、その emm 型別を実施した結果、stG652 型が 5 株、stG485 型及び stG6792 型が 4 株などであった。さらに、F 群レンサ球菌の 1 株は *S.constellatus* であった。

ウ　侵襲性インフルエンザ菌感染症

搬入された患者由来のインフルエンザ菌は 25 株（22 事例）であり、それぞれについて免疫血清を用いた血清型別及び PCR 法による莢膜血清型別試験を実施した。その結果、e 型が 1 株（1 事例）、無莢膜型が 23 株（20 事例）であった。また、1 株（1 事例）は菌株死滅のため検査不能であった。

エ　侵襲性髄膜炎菌感染症

搬入された患者由来の髄膜炎菌は 2 株であり、それぞれについて PCR 法による型別を実施した結果、いずれも B 群となった。

オ　侵襲性肺炎球菌感染症

患者由来株 65 株（63 事例）が搬入された。確認試験により肺炎球菌と判定された 64 株について莢膜血清

型別試験を実施した結果は表 13 の通りであった。なお 1 株は肺炎球菌ではなかったため、検査は実施しなかった。

表 13. 肺炎球菌血清型別結果

血清型	株数	血清型	株数	血清型	株数
10A	7	19A	3	6D	1
15A	6	33F	3	19F	1
24F	6	35B	3	23B	1
3	5	11A	2	24B	1
15C	5	12F	2	31	1
23A	5	15B	2	38	1
22F	4	34	2	型別不能	1
		37	2		

カ　バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

搬入された菌株は患者由来株 6 株であり、*Enterococcus faecium* が 5 株、*Enterococcus faecalis* が 1 株であった。PCR 法によるバンコマイシン耐性遺伝子の検出を実施した結果、6 株すべてが *van*B 遺伝子を保有していた。

キ　百日咳

患者の咽頭ぬぐい液1件が搬入された。分離培養と遺伝子検査を実施した結果、培養陰性、遺伝子陽性であった。

（３）五類感染症（定点把握対象）の病原体検索

ア　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

都内の定点医療機関から A 群溶血性レンサ球菌感染症患者由来咽頭スワブが 52 件搬入された。

搬入されたスワブから 51 株の A 群溶血性レンサ球菌が分離され、T 血清型別試験を実施した。その結果、T1 型が 18 株と最も多く、次いで T28 型が 8 株、T25 型が 7 株、TB3264 型が 5 株であり、その他、T4 型が 4 株、T6 型が 3 株、T12 型が 2 株、T2 型及び T9 型がそれぞれ 1 株ずつであり、型別不能株は 2 株であった。

イ　感染性胃腸炎

小児科病原体定点から搬入された感染性胃腸炎疑いの患者糞便 9 件について腸管系の細菌検査を実施した。その結果、1 検体から *Campylobacter jejuni* が検出された。

ウ　マイコプラズマ肺炎

都内の定点医療機関からマイコプラズマ肺炎疑い患者の咽頭拭い液が 14 検体搬入され、遺伝子検査及び分離同定を実施した。その結果、13 検体から肺炎マイコプラズマ遺伝子が検出され、4 株の肺炎マイコプラズマが分離された。

エ　メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症

定点医療機関の MRSA 感染症患者由来検体から分離された MRSA 60 株について、コアグラーゼ型別試験を実施した結果、II 型:2 株、III 型:25 株、V 型:3 株、VII 型:29 株であり、型別不能は 1 株であった。

（４）性感染症（STI）病原体定点医療機関のからの搬入検体

2020 年 1 月から 12 月に都内 4 ヶ所の性感染症病原体定点医療機関（STI 定点）より 112 検体が搬入された。搬入検体の内訳は、男性：尿 92 例、陰部擦過物（スワブ）1 例の合計 93 例、女性：スワブ 18 例、性別不明：尿 1 例であった。

ア　クラミジア・トラコマチスおよび淋菌

尿およびスワブ 11 検体についてクラミジア・トラコマチスおよび淋菌の遺伝子検査を実施した。性別および年齢階級別の病原体検査成績を表 14 に示した。クラミジア・トラコマチスについては、男性 30 例（32.3%）、女性 11 例（61.1%）が陽性を示した。淋菌は男性 35 例（37.6%）が陽性を示した。クラミジアと淋菌の遺伝子が共に検出されたのは、男性 11 例（11.8%）、であった。年齢階級別では、20 歳代の男性・女性が各検査項目で陽性数・陽性率ともに最多であった。淋菌遺伝子が検出された 35 例のうち 15 例（42.9%）から淋菌が分離された。

性別および臨床診断別の病原体検査結果を表 15 に示した。男性では、性器クラミジア感染症と診断された 66 例中 18 例（27.3%）からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、15 例（22.7%）から淋菌遺伝子が検出され、うち 5 例から淋菌が分離された。性器クラミジア感染症＋淋菌感染症と診断された 21 例中 8 例（38.1%）からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、14 例（66.7%）から淋菌遺伝子が検出され、うち 7 例から淋菌が分離された。また、淋菌感染症と診断された 6 例中 4 例（66.7%）からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、6 例全例（100.0%）から淋菌遺伝子が検出され、うち 3 例から淋菌が分離された。女性では、性器クラミジア感染症と診断された 16 例中 11 例（68.8%）からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出された。

イ　膣トリコモナス

膣トリコモナスが疑われた女性の膣スワブ 1 例について遺伝子検査を行った結果、陰性であった。

表 14. 性別および年齢階級別の病原体検査結果

性別	年齢階級	検体数	遺伝子検査陽性			分離培養陽性
			クラミジア・トラコマチス	淋菌	膣トリコモナス	淋菌
男性	10歳代	1				
	20歳代	36	12	16		9
	30歳代	31	9	13		4
	40歳代	15	7	4		1
	50歳代	5	2	2		1
	60歳代	5				
	計	93	30	35	0	15
女性	10歳代	3	2			
	20歳代	7	6			
	30歳代	5	2			
	40歳代	3	1			
	計	18	11	0	0	0
不明	60歳代	1				
	計	1	0	0	0	0
合計		112	41	35	0	15

表 15. 性別および臨床診断別の病原体検査結果

	臨床診断（疑い例含む）	検体数	遺伝子検査陽性			分離培養陽性
			クラミジア・トラコマチス	淋菌	膣トリコモナス	淋菌
男性	性器クラミジア感染症	66	18	15		5
	性器クラミジア感染症＋淋菌感染症	21	8	14		7
	淋菌感染症	6	4	6		3
	計	93	30	35	0	15
女性	性器クラミジア感染症	16	11			
	性器クラミジア感染症＋淋菌感染症	1				
	膣トリコモナス	1				
	計	18	11	0	0	0
不明	性器クラミジア感染症	1				
	計	1	0	0	0	0
合計		111	41	35	0	15

ウ　クラミジア・トラコマチスの血清型別遺伝子検査

クラミジア・トラコマチスは、血清型に基づいて A～L 型に分類され、アフリカやアジア等のトラコーマ流行地において多く検出されるトラコーマ型の A～C 型、トラコーマ非流行地で主に検出される性器クラミジア感染症型の D～K 型、鼠径リンパ肉芽腫症の起因菌となる L 型がある。

遺伝子検査陽性の 41 例のうち、遺伝子解析により 31 例の血清型を型別した。血清型別判定の内訳を表 16 に示した。

日本を含む諸外国で主要な血清型とされている D、E、F の 3 つの型の合計は 67.8%であった。この他、性器クラミジア感染症型の I 型を除く G～K 型もそれぞれ検出されたが、トラコーマ型（A～C 型）や鼠径リンパ肉芽腫症型（L 型）は検出されなかった。なお、遺伝子検査陽性の 10 例については、血清型別に用いるターゲット部位の核酸増幅が行えず、血清型が不明となった。

表 16. クラミジア・トラコマチスの血清型別結果

	血清型						合計
	D 及び Da	E	F	G	J 及び Ja	K	
検体数	7	7	7	2	2	6	31
(%)	(22.6)	(22.6)	(22.6)	(6.5)	(6.5)	(19.4)	(100.0)

エ　淋菌分離株の薬剤感受性試験

分離された淋菌 15 株の薬剤感受性試験の結果を表 17 に示した。ペニシリンに対しては全株が中等度耐性(0.12μg/ml)以上の株であった。テトラサイクリンに対し中等度耐性(0.5μg/ml)以上の耐性株は 12 株（80.0%）、シプロフロキサシンに対する耐性株（≧1μg/ml）は 11 株（73.3%）、セフロキシムに対する中等度（2μg/ml）以上の耐性株は 4 株（26.7%）であった。セフォタキシム、セフトリアキソン、スペクチノマイシンに対しては全株が感受性を示した。

表 17. 淋菌分離株（15 株）の薬剤感受性

薬剤感受性	ペニシリン PCG	テトラサイクリン TC	シプロフロキサシン CPFX	セフロキシム CXM	セフォタキシム CTX	セフトリアキソン CTRX	スペクチノマイシン SPCM
耐性	2	1	11	3	0	0	0
(%)	(13.3)	(6.7)	(73.3)	(20.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
中等度耐性	13	11	0	1	0	0	0
(%)	(86.7)	(73.3)	(0.0)	(6.7)	(0.0)	(0.0)	(0.0)
感受性	0	3	4	11	15	15	15
(%)	(0.0)	(20.0)	(26.7)	(73.3)	(100.0)	(100.0)	(100.0)

第　3　章

資　　料

1　東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿

小児科 （264定点）

2020年12月31日　現在

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
千代田	滝医院	滝　正彦	102-0074	千代田区九段南4-3-1	03-3264-3101	
千代田	加賀医院	加賀　一兄	101-0051	千代田区神田神保町1-35	03-3291-9951	
千代田	東京逓信病院	小野　正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○＊
中央区	小坂こども元気クリニック	小坂　和輝	104-0052	中央区月島3-30-3	03-5547-1191	
中央区	わたなべこどもクリニック	渡邉　浩志	104-0052	中央区月島1-8-1 アイ・マークタワー202	03-5548-2511	
中央区	塙小児科医院	塙　佳生	103-0007	中央区日本橋浜町2-20-2	03-3666-6035	
みなと	ぽれぽれクリニック	三浦　麻子	108-0074	港区高輪1-5-21 ルート高輪ビル4F	03-5422-7626	○
みなと	とようら小児科	豊浦　多喜雄	108-0023	港区芝浦3-11-5 第三協栄ビル2階	03-5442-8872	
みなと	小田原医院	行岡　紀子	106-0045	港区麻布十番3-11-12	03-3451-4595	
みなと	白金タワークリニック	小出　浩史	108-0072	港区白金1-17-1-106	03-5789-3882	
みなと	南青山おおつかクリニック	大塚　伸行	107-0062	港区南青山4-9-17	03-5786-3288	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○＊
新宿区	岡田小児科クリニック	岡田　和子	169-0072	新宿区大久保1-5-15	03-3200-1236	
新宿区	村橋医院	村橋　眞	162-0042	新宿区早稲田町73	03-3203-3538	
新宿区	川尻医院	川尻　敦夫	162-0041	新宿区早稲田鶴巻町534	03-3209-7701	2020年6月20日まで
新宿区	オリエンタル診療所	近　裕	161-0031	新宿区西落合2-20-1	03-3565-3411	
新宿区	牛山医院	牛山　允	169-0075	新宿区高田馬場4-11-5	03-5386-3167	
新宿区	(社)聖母会 聖母病院 小児科	猪野　雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○＊
新宿区	星野こどもクリニック	星野　洋	161-0032	新宿区中落合2-16-26	03-5988-7133	
新宿区	国立国際医療研究センター病院	七野　浩之	162-8655	新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181	
文京	保坂こどもクリニック	保坂　篤人	112-0001	文京区白山5-27-12	03-3946-0641	
文京	石原医院	藤原　陽子	112-0006	文京区小日向1-6-6	03-3941-8526	
文京	大塚診療所	大塚　宜一	113-0034	文京区湯島3-31-6	03-3831-2294	
文京	吉村小児科	内海　裕美	112-0012	文京区大塚2-18-6	03-3943-3806	
台東	いりやキッズクリニック	浅野　由美子	110-0004	台東区下谷3-11-12	03-5808-0415	
台東	柴田小児科医院	柴田　雄介	111-0036	台東区松ヶ谷3-16-4	03-3841-2291	
台東	クローバーこどもクリニック	眞々田　容子	111-0051	台東区蔵前4-20-4 蔵前四ビル1F	03-5825-9608	
台東	小川こどもクリニック	小川　淳子	111-0053	台東区浅草橋1-25-5 小川ハイム201	03-3861-2429	
墨田区	増田小児科	増田　敬	130-0005	墨田区東駒形1-19-8	03-3622-9641	
墨田区	鈴木こどもクリニック	鈴木　洋	131-0031	墨田区墨田4-45-1	03-3619-4970	○
墨田区	平野医院	平野　圭	131-0043	墨田区立花6-1-14-1F	03-3611-2947	
墨田区	唐澤医院	唐澤　賢祐	130-0023	墨田区立川1-12-13	03-3631-2336	
墨田区	にしじま小児科	西島　由美	131-0046	墨田区京島1-6-3	03-3619-9585	
江東区	竹内小児科医院	竹内　透	135-0011	江東区扇橋2-1-3 ET21ビル2F	03-5606-0303	
江東区	笠井小児クリニック	笠井　秀明	136-0072	江東区大島9-5-1 コアシティ東大島103	03-3636-2577	
江東区	のずえ小児科	野末　富男	135-0062	江東区東雲1-9-11-102	03-5560-6071	
江東区	までのこうじクリニック	萬里小路　直樹	135-0016	江東区東陽3-27-32 玉河ビル2階	03-5683-5519	
江東区	たけうちこどもクリニック	竹内　敏雄	135-0061	江東区豊洲4-9-13 東京フロントコート132号	03-3533-2415	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。
備考欄に「＊」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
江東区	城田小児科医院	城田　夙男	135-0048	江東区門前仲町1-6-9	03-3641-4056	
江東区	亀戸キッズクリニック	杉本　佳乃	136-0071	江東区亀戸2-42-5 くらまえ三洋ビル2F	03-5875-3387	
江東区	正木医院	正木　忠明	136-0073	江東区北砂7-1-25	03-3644-5794	○
江東区	なおやこどもクリニック	坂口　直哉	136-0074	江東区東砂7-19-13 ベルコモン南砂2F	03-5653-0708	
品川区	千葉医院	千葉　光雄	140-0001	品川区北品川2-20-6	03-3471-3493	
品川区	宮平医院	宮平　寛	141-0031	品川区西五反田4-22-3	03-3491-0366	
品川区	林小児科内科医院	林　紋子	140-0014	品川区大井3-6-12 NAﾋﾞﾙ2F	03-3777-7127	
品川区	村井こどもクリニック	村井　孝安	142-0053	品川区中延5-8-19	03-3782-3415	
品川区	鈴の木こどもクリニック	鈴木　博	142-0041	品川区戸越1-3-1 夢のこども館	03-5759-5605	
品川区	田辺小児科医院	田辺　充子	142-0064	品川区旗の台6-30-1	03-3785-9003	
品川区	藤川医院	藤川　敏	140-0014	品川区大井7-29-2	03-3771-1764	
品川区	吉原医院	吉原　幸子	142-0041	品川区戸越5-8-5	03-3781-4030	
目黒区	自由が丘メディカルプラザ2	髙嶋　能文	152-0035	目黒区自由が丘2-11-16 ニューパルビュー3F	03-5731-3565	
目黒区	目黒通りこどもクリニック	藤田　秀樹	153-0064	目黒区下目黒6-1-27 アメニティハウス 2F	03-6303-1091	
目黒区	田口医院	田口　豊	152-0003	目黒区碑文谷6-7-4 KYレジデンス	03-3714-0188	
目黒区	井手小児科	井手　郁	152-0002	目黒区目黒本町6-17-27	03-5704-3819	
目黒区	仲村医院	仲村　和子	153-0053	目黒区五本木1-8-9	03-3712-7776	
大田区	かげ山小児科	景山　敦	146-0082	大田区池上7-14-11	03-3752-8182	
大田区	井上小児科医院	井上　清	143-0023	大田区山王3-30-2	03-3771-2514	
大田区	宮下クリニック	宮下　守	143-0014	大田区大森中3-35-9	03-5764-1003	
大田区	田園小児科クリニック	高橋　茂	145-0071	大田区田園調布5-36-3	03-3722-0765	
大田区	岡小児科内科クリニック	岡　哲康	146-0091	大田区鵜の木1-16-19	03-3758-3387	
大田区	原口小児科クリニック	原口　道夫	144-0032	大田区北糀谷1-11-8	03-3742-1517	
大田区	森岡小児科医院	森岡　新	144-0056	大田区西六郷1-19-15	03-3738-5918	
大田区	加藤内科小児科医院	加藤　瑞規	146-0093	大田区矢口1-19-25	03-3759-6169	
大田区	神川小児科クリニック	神川　晃	144-0044	大田区本羽田1-6-22	03-3741-5005	
大田区	斎藤医院	斎藤　洋子	143-0025	大田区南馬込5-26-7	03-3772-2791	
大田区	どうどうクリニック	小柳　英樹	146-0081	大田区仲池上1-31-13	03-5747-2333	○
大田区	うちやまこどもクリニック	内山　浩志	146-0085	大田区久が原3-36-13-3F	03-3753-7172	
大田区	木村こどもクリニック	木村　方美	144-0045	大田区南六郷2-27-1	03-3733-9080	
世田谷	いなみ小児科	稲見　誠	154-0002	世田谷区下馬3-10-7	03-3421-4885	
世田谷	吉川小児科	吉川　弘二	156-0043	世田谷区松原3-28-8-2階	03-5329-4153	
世田谷	橋本小児科医院	橋本　倫太郎	157-0072	世田谷区祖師谷3-37-5	03-3482-4668	○
世田谷	かねみつ小児クリニック	金光　岳文	157-0062	世田谷区南烏山4-7-14	03-5384-3355	
世田谷	小林クリニック	小林　俊夫	157-0067	世田谷区喜多見2-10-3-101	03-3416-7119	
世田谷	山口小児科内科	山口　義哉	158-0091	世田谷区中町4-35-6	03-3702-6180	
世田谷	永井小児科内科医院	永井　雄一	158-0081	世田谷区深沢6-20-14	03-5707-0624	
世田谷	田宮小児科医院	田宮　貞和	156-0052	世田谷区経堂5-21-3	03-3427-7974	
世田谷	うめはらこどもクリニック	梅原　実	154-0004	世田谷区太子堂3-38-18	03-6809-7878	
世田谷	つだ小児科クリニック	津田　正彦	154-0017	世田谷区世田谷4-5-8 アルス世田谷ネクステージ1F	03-5477-7736	
世田谷	えんどう小児科クリニック	遠藤　大一	156-0045	世田谷区桜上水1-7-10 クールセリシエ1F	03-6379-7127	
世田谷	三宅小児科	三宅　健	156-0057	世田谷区上北沢4-21-13	03-3302-2771	
世田谷	直宮医院	直宮　晃一	155-0031	世田谷区北沢3-11-14	03-3468-2867	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　　名	郵便番号	所　　在　　地	電話番号	備　考
世田谷	臼井医院	臼井　弘人	157-0066	世田谷区成城5-7-12	03-3482-2253	
世田谷	用賀クリニック	川崎　浩司	158-0096	世田谷区玉川台2-22-16 パークヒル用賀Ⅲ 1F	03-3709-6255	
世田谷	藤井医院	藤井　秀樹	158-0083	世田谷区奥沢1-38-19	03-3728-0383	
渋谷区	坂本クリニック	坂本　純一	151-0073	渋谷区笹塚1-31-11 ビラージュ笹塚　I-101	03-3469-3926	
渋谷区	医療法人社団　育心会 稲垣クリニック	稲垣　稔	151-0053	渋谷区代々木5-7-17-1F	03-5453-1399	
渋谷区	かずえキッズクリニック	川上　一恵	151-0072	渋谷区幡ヶ谷3-81-7	03-3376-1662	
渋谷区	内藤小児科内科医院	内藤　章文	150-0022	渋谷区恵比寿南2-5-9	03-3713-2526	
中野区	高木小児科医院	高木　英行	165-0031	中野区上鷺宮4-19-10	03-5241-5823	2020年11月30日まで
	やよい町こども医院	春原　大介	164-0013	中野区弥生町1-8-11	03-6300-4790	2020年12月1日から
中野区	江原町小児科耳鼻科	金　慶彰	165-0023	中野区江原町3-35-8	03-5988-7705	
中野区	田沼内科・小児科医院	田沼　美昭	164-0012	中野区本町6-23-3	03-3380-2622	
中野区	小池小児科医院	小池　林太郎	165-0033	中野区若宮1-43-11	03-3330-0743	
中野区	宇野医院	宇野　真二	164-0001	中野区中野1-6-2	03-3369-2090	
中野区	しばたこども&アレルギー クリニック	柴田　淳	164-0003	中野区東中野5-1-1 ユニゾンタワー3F	03-3360-5569	
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山　亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○ ＊
杉並	柿田医院	柿田　豊	167-0022	杉並区下井草2-23-5	03-3395-3602	
杉並	長沼内科医院	長沼　裕一郎	166-0015	杉並区成田東3-36-8	03-3311-1803	
杉並	中里医院	中里　恵美子	167-0043	杉並区上荻4-2-3	03-3390-5258	
杉並	はら医院	原　みさ子	168-0062	杉並区方南2-28-3	03-3317-0380	
杉並	松野医院	松野　哲彦	166-0001	杉並区阿佐谷北3-42-10	03-3330-4656	
杉並	宮下小児科医院	佐々木　礼子	166-0016	杉並区成田西3-20-3	03-3392-3855	
杉並	宮﨑クリニック	宮﨑　素子	168-0063	杉並区和泉4-51-14	03-3317-7701	2020年3月31日まで
	くめかわ小児科クリニック	粂川　好男	168-0063	杉並区和泉4-51-14 エクセレント和泉2F	03-3317-7701	2020年11月1日から
杉並	岩﨑小児科医院	岩﨑　由紀夫	166-0012	杉並区和田3-49-7	03-5377-0015	
杉並	セキこどもクリニック	関　兼英	166-0004	杉並区阿佐谷南2-1-27	03-3318-1625	
杉並	高井戸こどもクリニック	柳垣　繁	168-0071	杉並区高井戸西1-27-22	03-3331-6644	
池袋	金澤医院	金澤　義之	170-0003	豊島区駒込3-5-7	03-3910-4952	
池袋	みなと小児科	湊　通嘉	171-0043	豊島区要町 3-22-10-301	03-3973-5080	
池袋	田村医院	田村　仁	170-0011	豊島区池袋本町1-45-16	03-3971-4922	
池袋	平井医院	平井　貴志	171-0032	豊島区雑司が谷1-26-10	03-3971-8064	
池袋	南長崎こみ山医院	込山　賢次	171-0052	豊島区南長崎3-14-17	03-3953-0086	
北区	斉藤小児科医院	斉藤　十紀	114-0003	北区豊島2-8-6	03-3911-0569	
北区	ほくとクリニック	金子　清志	115-0045	北区赤羽2-9-6	03-3901-4926	
北区	富士見診療所	越田　利弘	114-0031	北区十条仲原3-1-5	03-3900-5354	
北区	かとうクリニック	加藤　隆司	115-0043	北区神谷1-12-9	03-3913-1103	○
北区	中山医院	伊藤　佳子	114-0016	北区上中里1-17-8	03-3910-6805	
北区	桑畑医院	桑畑　圭子	114-0003	北区豊島2-6-1	03-3919-0700	
北区	はんだ・こどもクリニック	繁田　龍雄	115-0045	北区赤羽2-69-4 クリニックプラザ21　2F	03-3901-7433	
荒川区	鈴木小児科医院	鈴木　博之	116-0012	荒川区東尾久3-1-9	03-3892-1266	
荒川区	まつおかこどもクリニック	松岡　郁美	116-0002	荒川区荒川2-1-5 荒川ｾﾝﾄﾗﾙﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞ2F	03-5604-1567	
荒川区	いなばキッズクリニック	稲葉　八興	116-0003	荒川区南千住4-7-1 BiVi南千住3D	03-5604-1710	
荒川区	加藤小児科内科医院	加藤　薫	116-0014	荒川区東日暮里5-44-1-1F	03-3803-3377	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「＊」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　　名	郵便番号	所　　在　　地	電話番号	備　考
板橋区	共助会医院	堀内　敏行	174-0051	板橋区小豆沢2-26-8	03-3966-2577	2020年1月1日から
板橋区	上原内科医院	上原　章	173-0004	板橋区板橋3-6-11	03-5375-9981	
板橋区	石川医院	宮川　美知子	174-0071	板橋区常盤台1-61-3	03-3960-3940	
板橋区	井上医院	井上　文正	175-0092	板橋区赤塚4-17-11	03-5968-5777	
板橋区	杉内医院	杉内　孝謙	175-0094	板橋区成増3-17-16	03-3930-2331	
板橋区	こうのファミリーケア・クリニック	河野　嘉英	174-0056	板橋区志村3-20-26-1F	03-3965-1649	
板橋区	あべこどもクリニック	阿部　和子	175-0082	板橋区高島平1-28-5 KAZZビル2F	03-3559-8115	
板橋区	えがおこどもクリニック	渡部　浩平	174-0063	板橋区前野町3-31-3	03-5994-7250	
板橋区	鈴木医院	鈴木　育夫	173-0023	板橋区大山町10-10	03-3956-1788	
板橋区	よりふじ医院	依藤　壽	173-0031	板橋区大谷口北町27-4	03-3956-1255	
練馬区	岩崎小児科医院	岩崎　章宣	178-0061	練馬区大泉学園町8-7-17	03-3867-5501	
練馬区	秋田医院	秋田　博伸	176-0013	練馬区豊玉中4-10-3	03-3991-1151	
練馬区	飯島医院	飯島　健志	179-0072	練馬区光が丘7-3-6	03-3976-6087	
練馬区	うすきクリニック	臼杵　一	178-0064	練馬区南大泉4-47-9 コンフォート南大泉1F	03-3924-0443	
練馬区	牧田医院	牧田　郁夫	176-0002	練馬区桜台1-45-15 グランドールマキノ1F	03-3948-0600	○
練馬区	沼口整形外科・小児科	沼口　俊平	179-0072	練馬区光が丘5-2-5-102	03-3976-0131	○
練馬区	浅村こどもクリニック	浅村　信二	177-0041	練馬区石神井町2-8-21 星ビル2F	03-5372-6686	
練馬区	上石神井サン・クリニック	小西　佐知子	177-0044	練馬区上石神井3-6-34	03-5910-3888	
練馬区	佐藤皮膚科小児科クリニック	佐藤　徳枝	177-0045	練馬区関町北1-23-10 井口ビル4F	03-3928-2767	
練馬区	のと小児科クリニック	能登　信孝	179-0083	練馬区平和台4-12-6	03-5945-9855	
練馬区	マサキ小児科アレルギー科	正木　拓朗	178-0063	練馬区東大泉2-5-10	03-3923-1515	
練馬区	わたなべこどもクリニック	渡辺　克也	176-0023	練馬区中村北4-5-2	03-3990-9998	
練馬区	わたなべこどもクリニック	渡辺　久幸	178-0063	練馬区東大泉1-26-16	03-5947-3577	
足立	和田小児科医院	和田　紀之	121-0812	足立区西保木間2-15-23	03-3884-2301	○
足立	曙町クリニック	泉田　京子	120-0023	足立区千住曙町41-2-107	03-3879-9116	
足立	日比谷医院	日比谷　一郎	121-0011	足立区中央本町5-5-27	03-3889-4601	
足立	ちばこどもクリニック	千葉　康之	121-0801	足立区東伊興1-12-16	03-3857-0222	
足立	三原小児科医院	三原　章	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0205	
足立	勝楽堂病院	芦田　光則	120-0032	足立区千住柳町5-1	03-3881-0137	
足立	梅津クリニック	梅津　亮二	120-0005	足立区綾瀬3-15-20 遠藤ビル2F	03-5616-8214	
足立	中島小児科	中島　正樹	120-0015	足立区足立4-41-6	03-3852-5241	
足立	中西医院	中西　隆	123-0852	足立区関原3-44-7	03-3852-1122	
足立	千葉小児科内科医院	千葉　昭典	121-0061	足立区花畑7-14-9	03-3850-8523	
足立	しみず医院	清水　博史	121-0823	足立区伊興3-18-21	03-5691-1212	
足立	師田内科小児科	師田　基	121-0801	足立区東伊興3-2-7	03-3897-7320	
足立	木村耳鼻咽喉科小児科医院	木村　康子	123-0872	足立区江北6-22-1	03-3896-3387	
葛飾区	伊藤メディカルクリニック	伊藤　民恵	124-0006	葛飾区堀切4-57-5	03-3602-4205	
葛飾区	高橋小児科医院	高橋　紀久雄	124-0023	葛飾区東新小岩5-17-1	03-3692-3021	
葛飾区	菊島小児科医院	菊島　秀丸	124-0013	葛飾区東立石3-24-16	03-3697-1556	
葛飾区	的場医院	伊藤　隆一	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0517	
葛飾区	永寿堂医院	松永　貞一	125-0061	葛飾区亀有3-43-5	03-3604-2101	○
葛飾区	白井医院	白井　泰生	124-0024	葛飾区新小岩1-37-11	03-3653-5774	
葛飾区	三尾医院	三尾　仁	125-0041	葛飾区東金町3-16-12	03-3607-2917	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
葛飾区	かめありこどもクリニック	角田　由里	125-0061	葛飾区亀有3-14-9 プリムロウズ島田2階	03-3602-3206	2020年1月1日から
江戸川	南小岩クリニック	渡邊　直哉	133-0056	江戸川区南小岩7-5-18	03-3657-2982	2020年2月1日から
江戸川	小松川医院	田崎　ゆき	132-0025	江戸川区松江3-12-13	03-3651-0057	
江戸川	久田医院	久田　和子	132-0035	江戸川区平井1-27-5	03-3681-0081	
江戸川	みやのこどもクリニック	宮野　孝一	134-0085	江戸川区南葛西2-18-27	03-3869-4133	
江戸川	なかにし小児科クリニック	中西　茂則	134-0088	江戸川区西葛西5-1-8 トーショービル1F	03-3675-6678	
江戸川	石橋こどもクリニック	石橋　涼子	132-0021	江戸川区中央2-4-18 ほっと館1F	03-5661-5336	2020年3月31日まで
	医療法人社団向日葵会 まつしま病院	山脇　真智	132-0031	江戸川区松島1-41-29	03-3653-5541	2020年4月1日から
江戸川	はるやま小児科・アレルギー科	春山　次男	133-0065	江戸川区南篠崎町2-10-1 カームコート1F	03-3679-1188	
江戸川	千葉クリニック	千葉　友幸	132-0024	江戸川区一之江8-19-6 彦新ビル1階	03-3651-8833	○
江戸川	星田小児クリニック	星田　宏	134-0083	江戸川区中葛西2-3-10	03-3680-2028	
江戸川	本橋医院	本橋　俊和	132-0024	江戸川区一之江8-15-1 エクセルイチノエ1A	03-5662-8755	
江戸川	ながきこどもクリニック	永木　幸子	133-0051	江戸川区北小岩6-15-5 小岩メディカルセンター新館3F	03-5612-0661	
江戸川	アンヌ小児科	布上　孝志	133-0071	江戸川区東松本1-14-9	03-3672-1071	
西多摩	笹本医院	笹本　隆夫	198-0084	青梅市住江町58	0428-24-3955	
西多摩	わかくさ医院	道佛　雅克	205-0001	羽村市小作台2-7-16	042-579-0311	
西多摩	星野小児科内科クリニック	星野　誠	197-0822	あきる野市小川東1-19-20-1	042-559-7332	○
西多摩	鈴木内科	鈴木　道彦	190-0163	あきる野市舘谷156	042-596-2307	
西多摩	ばば子どもクリニック	馬場　一徳	205-0011	羽村市五ノ神352-22	042-555-3788	
西多摩	ナルケンキッズクリニック	成井　研治	198-0036	青梅市河辺町4-20-4	0428-21-0252	
西多摩	大堀医院	大堀　洋一	198-0023	青梅市今井5-2440-159	0428-31-9098	
西多摩	東福生むさしの台クリニック	川島　雅之	197-0013	福生市武蔵野台1-1-7 センチュリー武蔵野台1F	042-539-1223	
八王子市	加地医院	加地　はるみ	193-0816	八王子市大楽寺町137	042-651-5341	○
八王子市	まつもと小児・ アレルギークリニック	松本　勉	192-0364	八王子市南大沢2-2 パオレ5F	042-679-6051	
八王子市	のま小児科	野間　清司	192-0916	八王子市みなみ野3-1-8	042-632-7327	
八王子市	京王八王子クリニック	末松　隆二	192-0046	八王子市明神町4-7-14 八王子ONビル2F	042-645-7878	
八王子市	北野小児科	廣田　保蔵	192-0906	八王子市北野町545-3 きたのタウン6F	042-645-8715	
八王子市	小児科加藤醫院	加藤　直樹	192-0919	八王子市七国4-9-3	042-632-7950	
八王子市	なかよしこどもクリニック	朝長　香	192-0355	八王子市堀之内2-6-5 森本ビル201	042-679-6778	
八王子市	こどもクリニック南大沢	保坂　暁子	192-0364	八王子市南大沢2-27 フレスコ南大沢4F	042-670-8700	
八王子市	はしもと小児科	橋本　政樹	193-0942	八王子市椚田町557-3	042-668-8555	
八王子市	こども診療所	小島　直樹	192-0054	八王子市小門町10-3	042-625-0023	
八王子市	スマイルこどもクリニック	森脇　弘隆	193-0832	八王子市散田町5-4-20	042-661-5529	
南多摩	須賀小児科	須賀　康正	191-0031	日野市高幡328	042-593-7888	
南多摩	佐々木クリニック	佐々木　榮一	191-0062	日野市多摩平1-8-10	042-585-2591	
南多摩	こどもクリニックしみず	清水　伸泰	206-0034	多摩市鶴牧1-24-1 新都心センタービル3F	042-373-0512	○
南多摩	桜井医院	櫻井　健彦	206-0811	稲城市押立1254-1	042-378-3224	
南多摩	牛尾医院	牛尾　方信	191-0043	日野市平山6-5-13	042-591-2001	
南多摩	おおしろクリニック	大城　清彦	191-0016	日野市神明3-6-16 アメニティ明和館1F-1	042-589-6780	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
南多摩	唐木田こどもクリニック	飛田　正俊	206-0035	多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル2C	042-355-8505	
南多摩	まえはら小児科	前原　幸治	206-0011	多摩市関戸4-72 聖蹟桜ケ丘オーパ5F	042-374-5028	
南多摩	平尾内科クリニック	竹田　有為子	206-0823	稲城市平尾3-7-26	042-331-8221	
町田市	風の子こどもクリニック	風張　眞由美	194-0015	町田市金森東1-25-29 金森メディカルプラザA-2	042-851-8630	
町田市	はやしクリニック	林　泉彦	194-0035	町田市忠生2-28-7	042-793-3055	○
町田市	やもりこどもクリニック	矢守　利次	195-0057	町田市真光寺2-37-11 鶴川台メディカルヴィレッジ 総合棟1F-A	042-737-3675	
町田市	しのはら小児クリニック	篠原　治	194-0003	町田市小川1-2-8	042-795-3003	
町田市	キッズクリニック智	渡邉　智子	194-0211	町田市相原町1652-1	042-700-6315	
町田市	豊川小児科内科医院	豊川　達記	194-0001	町田市つくし野2-18-18	042-795-4465	
町田市	村野小児科・アレルギー科	村野　浩太郎	196-0063	町田市野津田町1083	042-735-5777	
町田市	やすだこどもクリニック	保田　由喜治	194-0032	町田市本町田920-1	042-725-9056	
多摩立川	野上医院	五十嵐　弥生	190-0021	立川市羽衣町2-42-7	042-522-6010	○
多摩立川	内野産婦人科外科小児科	内野　孝子	186-0002	国立市東1-8-6 メディカルセンター	042-580-0112	
多摩立川	藤田医院	藤田　仁	208-0031	武蔵村山市岸1-25-1	042-560-0363	○
多摩立川	太陽こども病院	木内　巻男	196-0003	昭島市松原町1-2-1	042-544-7511	
多摩立川	医療法人社団瑞涼会 くぼしまこどもクリニック	久保嶋　慎二	185-0024	国分寺市泉町2-9-3 ハートフル西晴3F	042-300-1801	
多摩立川	まつなかクリニック	目黒　隆毅	190-0034	立川市西砂町6-6-16	042-520-1234	
多摩立川	さいわいこどもクリニック	宮田　章子	190-0002	立川市幸町1-11-3	042-536-7280	○
多摩立川	大田医院	大田　眞也	196-0022	昭島市中神町1237	042-541-0311	
多摩立川	マシュマロこどもクリニック	富士川　善直	185-0003	国分寺市戸倉4-45-5	042-320-1155	
多摩立川	くろさわ子ども＆内科クリニック	黒澤　サト子	180-0011	国分寺市本多3-7-25	042-323-9630	○
多摩立川	大久保医院	新井　ゆみ	186-0011	国立市谷保7224	042-572-7775	
多摩立川	有村クリニック	有村　章	207-0014	東大和市南街4-10-6	042-590-0377	
多摩立川	さくらこどもクリニック	野口　幸男	207-0023	東大和市上北台3-393-1	042-566-8177	
多摩立川	伊奈平南クリニック	田中　こずえ	208-0023	武蔵村山市伊奈平4-4-1	042-560-1311	
多摩府中	ささもとこどもクリニック	笹本　和広	182-0036	調布市飛田給1-41-5 T・Oビル2F	042-498-4153	
多摩府中	ぬきいこどもクリニック	貫井　清孝	182-0022	調布市国領町4-8-1 プラザパレット2F	042-440-0215	2020年12月28日まで
多摩府中	松本医院	松本　悦雄	180-0002	武蔵野市吉祥寺東町1-23-3	0422-22-5755	
多摩府中	おぎわらこどもクリニック	荻原　篤	180-0006	武蔵野市中町3-3-2	0422-60-5177	
多摩府中	きたのこどもクリニック	内藤　英紀	181-0003	三鷹市北野4-12-17 きたのメディカルパーク1階	0422-70-4150	
多摩府中	若林医院	若林　研司	181-0001	三鷹市井の頭4-16-10	0422-43-0526	
多摩府中	まつおか小児クリニック	松岡　典子	183-0034	府中市寿町2-4-42 コープ府中3F	042-319-1020	○
多摩府中	東小金井駅前こどもクリニック	道下　崇史	184-0002	小金井市梶野町5-3-25-209 クリオ東小金井パークフロント	042-387-1030	
多摩府中	石戸谷小児科	石戸谷　尚子	201-0012	狛江市中和泉1-1-1 狛江YSビル4F	03-3430-1070	
多摩府中	長谷川小児科医院	長谷川　正子	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町2-8-5	0422-22-6804	
多摩府中	渡辺こどもクリニック	渡邉　直幸	181-0013	三鷹市下連雀9-5-1 泰成マンション1F	0422-41-1550	
多摩府中	つちや小児科	土屋　正己	181-0013	三鷹市下連雀4-16-11	0422-40-1488	
多摩府中	さくらんぼこどもクリニック	三日市　薫	183-0026	府中市南町4-43-1	042-340-8288	
多摩府中	おき医院	隠岐　直紀	183-0011	府中市白糸台5-24-1	042-354-1277	
多摩府中	日野クリニック	日野　佳昭	183-0034	府中市住吉町2-15-9	042-330-3600	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
多摩府中	すみれクリニック	篠﨑　昌子	183-0021	府中市片町3-26-14	042-401-8461	
多摩府中	野々田小児科内科	野々田　昶	183-0013	府中市小柳町3-32-26	042-369-2561	
多摩府中	佐々木こどもクリニック	佐々木　伸彦	182-0006	調布市西つつじヶ丘3-37-2 横田ファイブ107	042-487-2433	
多摩府中	麻生こどもクリニック	麻生　泰二	182-0026	調布市小島町1-5-6 アールアンドエスビル3F	042-480-7810	
多摩府中	三枝耳鼻咽喉科・小児科医院	三枝　歌子	184-0004	小金井市本町5-19-32 三枝ビル2F	042-381-8221	
多摩府中	神保クリニック小児科	神保　修	201-0003	狛江市和泉本町1-2-13	03-3430-2818	
多摩小平	清水小児科内科医院	清水　達也	187-0001	小平市大沼町4-43-32	042-343-2255	
多摩小平	わかばこどもクリニック	渡邊　孫衛	189-0024	東村山市富士見町3-13-14	042-390-2700	
多摩小平	大塚小児科アレルギー科 クリニック	大塚　武	203-0053	東久留米市本町3-1-23	042-479-7300	
多摩小平	すぎはらこどもクリニック	杉原　聡	188-0004	西東京市西原町5-1-17	042-451-8680	
多摩小平	斉藤小児科内科クリニック	斉藤　喜親	202-0004	西東京市下保谷4-2-21	042-421-7201	
多摩小平	鈴木小児科内科医院	鈴木　昌和	187-0045	小平市学園西町2-11-28	042-341-0353	○
多摩小平	中山小児科医院	中山　康子	187-0011	小平市鈴木町1-30-20	042-322-1231	
多摩小平	ちあきこどもクリニック	辻　千秋	187-0034	小平市栄町2-3-7	042-349-2012	
多摩小平	武こどもクリニック	深堀　俊彦	189-0013	東村山市栄町2-32-20-201	042-397-3374	○
多摩小平	あきつこどもクリニック	村上　綾子	189-0001	東村山市秋津町4-31-16	042-390-1150	
多摩小平	いくせ医院	木村　憲人	203-0013	東久留米市新川町1-4-18 わかさとビル1F	042-471-2304	
多摩小平	ひばりこどもクリニック	高山　順	188-0001	西東京市谷戸町3-11-9 長谷川ビル1F	042-438-8824	
多摩小平	すくすくkidsクリニック	髙田　佳宜	188-0012	西東京市南町5-9-17	042-451-3027	
多摩小平	とみまつ小児科循環器 クリニック	富松　ふみ子	204-0021	清瀬市元町1-1-14 プランドールJ2F	042-497-3456	2020年1月1日から
島しょ	大島医療センター	清水　忠典	100-0101	大島町元町3-2-9	04992-2-2345	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

2021年変更医療機関

2021年4月1日　現在

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
多摩小平	とみまつ小児科循環器 クリニック	富松　ふみ子	204-0021	清瀬市元町1-1-14 プランドールJ2F	042-497-3456	2020年12月31日まで
	花園医院	幾瀬　貫	204-0022	清瀬市松山3-5-14	042-491-0315	2021年1月1日から
多摩府中	いしいこどもクリニック	石井　敏夫	182-0021	調布市調布ヶ丘3-19-12	042-483-0101	2021年2月1日から
北区	斉藤小児科医院	斉藤　十紀	114-0003	北区豊島2-8-6	03-3911-0569	2021年1月31日まで
	すこやかこどもクリニック浮間	金井　慎一	115-0051	北区浮間3-1-40 藤原ビル1階	03-5918-9421	2021年2月1日から

内科 （155定点）

2020年12月31日　現在

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
千代田	神田診療所	高橋　淳	101-0047	千代田区内神田2-8-14	03-3256-0086	
中央区	松本内科院	松本　章一	104-0031	中央区京橋2-11-5-5F	03-4405-7480	
中央区	中央内科クリニック	村松　弘康	103-0013	中央区日本橋人形町2-7-8	03-3668-0088	
みなと	馬場クリニック	馬場　繁二	106-0045	港区麻布十番2-13-2	03-3454-7788	
みなと	もとやまクリニック	元山　幹雄	108-0072	港区白金1-8-9	03-3473-2866	
みなと	新田町ビル診療所	坪田　淳	108-0014	港区芝5-34-6 新田町ビル2F	03-3451-2619	
新宿区	高橋医院	高橋　秀和	169-0074	新宿区北新宿3-21-8	03-3371-8064	
新宿区	早稲田クリニック	小西　洋之	162-0045	新宿区馬場下町10 早稲田レストハイツ2F	03-3208-2007	
新宿区	石井外科	石井　正彌	162-0065	新宿区住吉町8-2	03-3351-9338	
新宿区	磯貝クリニック	磯貝　祐貴子	169-0051	新宿区西早稲田2-4-8	03-3232-1776	
文京	八千代診療所	井上　博和	113-0001	文京区白山1-5-8	03-3811-4519	
文京	森谷医院	森谷　茂樹	113-0022	文京区千駄木5-43-11	03-3821-0128	
文京	大橋内科クリニック	大橋　誠	113-0024	文京区西片2-15-11	03-5842-8670	
台東	関戸クリニック	関戸　俊樹	111-0035	台東区西浅草2-14-3	03-3844-8666	
台東	城所医院	城所　功文	110-0014	台東区北上野2-26-5	03-3844-0510	○
台東	かとう医院	加藤　元浩	110-0003	台東区根岸3-12-14	03-5603-7161	
墨田区	大室医院	大室　博之	130-0012	墨田区太平3-2-7	03-3622-0629	
墨田区	東京曳舟病院	古城　資久	131-0032	墨田区東向島2-27-1	03-5655-1120	
墨田区	さとう内科クリニック	佐藤　和子	130-0004	墨田区本所4-13-3-1F	03-5819-6505	○
江東区	小林クリニック	小林　昭夫	136-0072	江東区大島4-1-6-105	03-3684-0481	
江東区	みやたけクリニック	宮武　俊秀	136-0074	江東区東砂4-23-6	03-5677-3232	
江東区	大陽ビルクリニック	中木　基江	135-0016	江東区東陽3-23-6 大陽ビル102	03-5635-5715	
江東区	望月内科クリニック	望月　俊男	135-0005	江東区高橋13-2 ヴィラロイヤル森下1F	03-5669-1531	
江東区	辰巳中央診療所	鳴海　章人	135-0053	江東区辰巳1-9-49-102	03-3521-0163	
品川区	白井クリニック	白井　寛	140-0014	品川区大井2-4-1	03-3771-7265	
品川区	さとうクリニック	佐藤　慶一	140-0004	品川区南品川2-17-25	03-3450-0010	
品川区	遠藤医院	遠藤　紀雄	141-0021	品川区上大崎2-24-13-305	03-3492-6422	
品川区	青柳医院	青柳　豊	142-0042	品川区豊町1-4-15	03-3788-0801	
目黒区	駒場クリニック	下津浦 末博	153-0041	目黒区駒場2-4-5	03-6279-7557	
目黒区	清水クリニック	清水　嘉一	153-0051	目黒区上目黒5-19-40	03-3715-3290	
目黒区	阿部医院	清水　惠一郎	152-0032	目黒区平町2-5-7	03-3717-2288	
大田区	テクノポートクリニック	宮島　良征	144-0035	大田区南蒲田2-16-1 トキメックビル別館2F	03-5703-5522	
大田区	馬込中央診療所	寺門　節雄	143-0027	大田区中馬込1-5-8	03-3775-5631	
大田区	北條医院	北條　稔	143-0016	大田区大森北3-4-5	03-3768-0066	○
大田区	井出内科クリニック	井出　雅生	146-0092	大田区下丸子3-13-11	03-3757-2484	
大田区	松坂医院	松坂　聡	144-0047	大田区萩中1-6-28	03-3741-0985	
大田区	溝谷医院	溝谷　弘成	143-0012	大田区大森東2-1-4	03-3763-7371	
大田区	並木医院	並木　敦也	145-0065	大田区東雪谷5-27-13	03-3720-8041	
大田区	せせらぎクリニック多摩川	富塚　太郎	145-0071	大田区田園調布1-33-3	03-5755-5207	
世田谷	亀井内科神経内科クリニック	亀井　敦行	158-0083	世田谷区奥沢4-15-7	03-3726-1108	
世田谷	世田谷下田総合病院	下田　重人	157-0062	世田谷区南烏山4-9-23	03-3308-5221	○　2020年6月1日から
	世田谷北部病院			世田谷区南烏山2-9-17		医療機関名称・所在地変更
世田谷	幸野メディカルクリニック	幸野　敬子	157-0072	世田谷区祖師谷3-30-28	03-3483-1808	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
世田谷	竹川内科医院	竹川　享	156-0051	世田谷区宮坂1-41-20	03-3706-2341	
世田谷	医療法人社団　シンセリティ いなみ内科クリニック	稲見　真木子	154-0024	世田谷区三軒茶屋1-13-7 三茶JOYビル2F	03-3413-1730	
世田谷	こうらクリニック	兒浦　利哉	154-0021	世田谷区豪徳寺1-23-22	03-3425-2333	
世田谷	髙橋医院	髙橋　由光	158-0094	世田谷区玉川3-23-22	03-3700-0232	
世田谷	荏原医院	荏原　包臣	158-0097	世田谷区用賀4-13-11	03-3700-0135	
世田谷	西島内科クリニック	西島　敬之郎	157-0068	世田谷区宇奈根3-1-21	03-5494-2020	
渋谷区	小林医院	小林　晴二郎	151-0064	渋谷区上原1-23-1	03-3467-3577	
渋谷区	しおざき内科	塩崎　正英	150-0002	渋谷区渋谷1-7-5 青山セブンハイツ2F	03-5485-3123	○
渋谷区	渡辺クリニック	渡辺　豊	151-0071	渋谷区本町3-10-3-202	03-3375-7361	
中野区	大場診療所	渡辺　茂	165-0034	中野区大和町3-40-6	03-3330-0073	
中野区	山田クリニック	山田 千津子	165-0026	中野区新井2-6-10	03-3386-0415	
中野区	東中野クリニック	飯国　紀一郎	164-0003	中野区東中野1-58-12	03-3361-2732	
中野区	溝口医院	溝口　雅康	164-0013	中野区弥生町2-12-9	03-3372-0035	
杉並	藤多クリニック	藤多　和義	167-0043	杉並区上荻1-9-1	03-3392-8811	
杉並	富士見丘医院	加茂　隆	168-0082	杉並区久我山5-20-1	03-3332-2401	○
杉並	河合内科クリニック	河合　章	167-0043	杉並区上荻3-1-11	03-3399-8563	
杉並	内山クリニック	内山　克己	168-0063	杉並区和泉3-6-2	03-5355-3535	
杉並	石井こども・内科循環器科 クリニック	石井　哲哉	166-0014	杉並区松ノ木1-6-21	03-3314-5677	
杉並	清水内科クリニック	清水　聡	166-0003	杉並区高円寺南1-7-4	03-3318-2431	
池袋	武藤クリニック	武藤　敬	171-0051	豊島区長崎1-22-11	03-3957-7065	
池袋	山下診療所大塚	山下　巖	170-0004	豊島区北大塚2-13-1 GHYビル5F	03-3910-6711	
池袋	目白おかの内科	岡野　晃	171-0031	豊島区目白3-16-15 茜ビル1F	03-5988-3363	
北区	青木内科クリニック	青木　薫	114-0024	北区西ヶ原1-46-17 旭レヂデンス1F	03-5961-1855	
北区	共和堂医院	増田　幹生	114-0001	北区東十条2-5-1	03-3911-0665	
北区	王子神谷齋藤クリニック	齋藤　広重	114-0003	北区豊島8-24-4	03-3911-5433	
北区	医療法人社団景星会赤羽 赤羽東口病院	河　一京	115-0045	北区赤羽1-38-5	03-3902-2131	
荒川区	水野クリニック	水野　武昭	116-0002	荒川区荒川1-49-2 サクラハイツ2F	03-3891-0219	
荒川区	飯土用内科	飯土用　誠也	116-0002	荒川区荒川3-23-13	03-3891-5858	
荒川区	東京リバーサイド病院	坂井　暢子	116-0003	荒川区南千住8-4-4	03-5850-0311	
板橋区	平山医院	平山　貴度	174-0064	板橋区中台1-46-3	03-3932-3598	
板橋区	岡部医院	岡部　洋太郎	173-0004	板橋区板橋3-37-1	03-3961-0416	
板橋区	天木診療所	天木　聡	174-0053	板橋区清水町47-7	03-3961-3913	○
板橋区	高島平東口クリニック	梅原　有弘	175-0082	板橋区高島平8-5-10 MAビル3F	03-3933-1213	
板橋区	伊藤内科小児科クリニック	伊藤　景樹	175-0094	板橋区成増1-17-10	03-3930-5114	
板橋区	多比良医院	多比良　清	175-0094	板橋区成増4-13-2	03-3975-8139	
練馬区	川邊内科	川邊　敏之	177-0044	練馬区上石神井2-26-15	03-3920-6810	○
練馬区	練馬第一診療所	矢田　毅	179-0083	練馬区平和台4-20-16	03-3933-8957	
練馬区	すずしろ診療所	黒部　信一	176-0001	練馬区練馬1-15-1 堀越ビル2階	03-3557-1131	
練馬区	金谷クリニック	金谷　斎	179-0072	練馬区光が丘2-4-11-102	03-3979-2331	
練馬区	豊島医院	豊島　良一	177-0041	練馬区石神井町1-22-8	03-3996-0014	
練馬区	若井内科・呼吸器科	若井　安理	178-0061	練馬区大泉学園町7-15-16 ハナブサ第一ビル3階	03-5933-2011	
練馬区	長嶺医院	稲田　直行	178-0063	練馬区東大泉7-7-9	03-3922-6122	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
練馬区	水谷内科呼吸器科クリニック	水谷　清二	178-0063	練馬区東大泉6-51-4 TKマンション1F	03-3867-8141	
足立	城北診療所	山村　彰義	123-0852	足立区関原2-38-21	03-3840-5474	
足立	久勝医院	久勝　章司	120-0013	足立区弘道2-1-3	03-3889-4714	
足立	健愛クリニック	鈴木　篤	120-0023	足立区千住曙町37-8	03-5813-1805	
足立	山一ビル内科クリニック	有野　亨	121-0815	足立区島根3-8-1	03-3884-8888	
足立	天沼医院	天沼　満	121-0812	足立区西保木間4-5-14-2	03-3883-8855	
足立	佐々木医院	佐々木　照	120-0005	足立区綾瀬2-26-17	03-5680-0566	
足立	旭医院	青木　哲	120-0026	足立区千住旭町9-15	03-3888-3508	
葛飾区	吉川内科医院	吉川　昌一	125-0063	葛飾区白鳥3-31-2-101	03-3602-8723	
葛飾区	遠藤医院	遠藤　啓一郎	125-0052	葛飾区柴又3-12-18	03-3607-1636	
葛飾区	富田医院	富田　秀人	124-0022	葛飾区奥戸5-1-18	03-3692-3026	
葛飾区	久保島医院	久保嶋　武仁	124-0001	葛飾区小菅2-25-10	03-3602-2746	
葛飾区	猪口医院	猪口　幸子	125-0052	葛飾区柴又4-6-14	03-5693-1511	
江戸川	同愛会病院	椿　浩司	132-0031	江戸川区松島1-42-21	03-3654-3311	
江戸川	医療法人社団美友梨会 福田クリニック	福田　徹	133-0065	江戸川区南篠崎町2-38-13	03-3679-2011	
江戸川	京谷医院	京谷　淳	133-0051	江戸川区北小岩6-17-7	03-3671-8103	
江戸川	小暮医院	小暮　堅三	133-0042	江戸川区興宮町16-13	03-3653-5347	
江戸川	中川医院	中川　陽之	132-0034	江戸川区小松川3-75	03-3684-2534	
江戸川	葛西中央病院	土谷　明男	134-0091	江戸川区船堀7-10-3	03-3680-8121	
江戸川	恵仁堂医院	山上　惠一	133-0052	江戸川区東小岩4-10-5	03-3657-4416	○
西多摩	福生クリニック	玉木　一弘	197-0012	福生市加美平3-35-13	042-551-2312	
西多摩	日の出ヶ丘病院	神尾　重則	190-0181	日の出町大久野310	042-597-0811	
西多摩	片平医院	片平　潤一	198-0036	青梅市河辺町10-16-20	0428-21-1741	○
西多摩	近藤医院	近藤　之暢	197-0827	あきる野市油平35	042-558-0506	
西多摩	双葉クリニック	松崎　潤	205-0022	羽村市双葉町1-1-15	042-570-1588	
西多摩	石畑診療所	小林　康弘	190-1211	瑞穂町石畑207	042-557-0072	
八王子市	秋山内科医院	秋山　幸久	192-0904	八王子市子安町1-32-7	042-643-0212	
八王子市	京王八王子駅前診療所	田中 光彦	192-0046	八王子市明神町4-7-1 京王駅前ビル5F	042-645-8228	○
八王子市	近藤内科医院	近藤　一英	193-0824	八王子市長房町1502-30	042-661-6035	
八王子市	遠山内科・循環器クリニック	遠山　博	192-0916	八王子市みなみ野2-16-3 モンパルテ1F	042-632-8033	
八王子市	伊藤内科消化器医院	伊藤　均	192-0045	八王子市大和田町4-15-14	042-642-6734	
八王子市	南大沢クリニック	佐々木　容三	192-0364	八王子市南大沢5-14-4-1	042-674-7766	
八王子市	横川内科クリニック	島村　嘉一	192-0823	八王子市横川町550-23 矢野ビル1F	042-625-7711	
南多摩	斉藤内科呼吸器科	斉藤　宣照	206-0025	多摩市永山4-2-6-202	042-373-2522	
南多摩	土方クリニック	土方　英史	191-0024	日野市万願寺1-13-1	042-587-7171	
南多摩	中川クリニック	中川　均	191-0041	日野市南平7-18-11	042-594-0313	
南多摩	やはの内科・胃腸科クリニック	矢羽野　壮光	206-0011	多摩市関戸1-11-9 桜ヶ丘富沢ビル6F	042-356-3761	
南多摩	長峰クリニック	武井　滋	206-0821	稲城市長峰2-2-2	042-350-7171	
町田市	こばやし医院	小林　信正	194-0012	町田市金森1-26-15	042-726-3431	
町田市	中村クリニック	中村　豊	194-0036	町田市木曽東3-20-28	042-792-0033	
町田市	泰生医院	金沢　健雅	194-0212	町田市小山町2470-5	042-797-7423	
町田市	成田クリニック	成田　雅弘	194-0011	町田市成瀬ヶ丘2-23-16	042-795-1281	○
町田市	はやし内科クリニック	林　淳弘	195-0057	町田市真光寺2-37-11	042-736-5501	
多摩立川	唯善クリニック 内科・呼吸器内科	竹口　甲三	190-0013	立川市富士見町1-34-9-1F	042-527-6711	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
多摩立川	平田循環器・内科	平田　俊吉	190-0002	立川市幸町2-45-9	042-537-4850	○
多摩立川	まことクリニック	腰塚　誠二	196-0003	昭島市松原町2-9-1	042-546-2800	
多摩立川	国分寺内科中央病院	松本　めぐみ	185-0022	国分寺市東元町2-3-19	042-322-0131	
多摩立川	新田クリニック	新田　國夫	186-0005	国立市西2-26-29	042-574-3355	
多摩立川	半田医院	半田　宏一	208-0013	武蔵村山市大南3-54-16	042-564-8649	
多摩立川	高橋医院	高橋　英樹	207-0021	東大和市立野2-3-17	042-565-7001	
多摩府中	赤須内科クリニック	赤須　文彰	183-0006	府中市緑町2-17-9	042-334-0780	
多摩府中	小林内科	小林　肇	182-0035	調布市上石原2-30-22	042-482-8623	
多摩府中	田原医院	田原　順雄	180-0014	武蔵野市関前3-3-9	042-251-8458	
多摩府中	渡辺医院	渡辺　滋	180-0004	武蔵野市吉祥寺本町4-7-9	0422-22-8937	
多摩府中	岡庭医院	岡庭　孝	181-0001	三鷹市井の頭3-21-16	0422-43-8367	
多摩府中	いりえ内科クリニック	入江　哲也	181-0003	三鷹市北野4-5-30 キューブコート烏山101号	03-5314-3577	
多摩府中	府中よつやクリニック	市川　雅	183-0035	府中市四谷3-37-14	042-336-7222	
多摩府中	仙川さとうクリニック	佐藤　正邦	182-0002	調布市仙川町2-18-15 メゾン仙川1F	03-5315-7373	
多摩府中	武蔵小金井クリニック	金光　寛承	184-0004	小金井市本町5-19-33	042-384-0080	
多摩府中	柏田内科クリニック	柏田　和子	201-0001	狛江市西野川1-15-19	03-3430-0222	○
多摩府中	中村内科クリニック	中村　公彦	183-0031	府中市西府町2-12-1	042-362-2112	
多摩府中	辻医院	荒井　敏	182-0034	調布市下石原3-60-4	042-482-2891	
多摩小平	松岡内科クリニック	松岡　緑郎	187-0002	小平市花小金井1-1-11 エメラルドビル3F	042-426-8080	
多摩小平	高橋内科クリニック	高橋　英二	189-0011	東村山市恩多町4-1-23	042-395-3553	
多摩小平	水谷医院	水谷　良子	189-0013	東村山市栄町1-13-1	042-390-5522	
多摩小平	宮本医院	宮本　兼吾	204-0022	清瀬市松山1-42-6	042-491-0547	
多摩小平	山口内科・呼吸器科クリニック	山口　規夫	203-0053	東久留米市本町3-12-2	042-472-2386	○
多摩小平	廣川クリニック	廣川　豊	202-0012	西東京市東町4-8-28 JUN西東京市101	042-425-6476	
多摩小平	保谷内科・呼吸器科クリニック	保谷　功	202-0005	西東京市住吉町6-1-26	042-458-7870	
多摩小平	井上内科クリニック	井上　玄	187-0042	小平市仲町268-6 サライ仲町102	042-342-0056	
島しょ	小笠原村診療所	野沢　有二	100-2101	小笠原村父島清瀬	04998-2-3800	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

2021年変更医療機関

2021年4月1日　現在

世田谷	亀井内科神経内科クリニック	亀井　敦行	158-0083	世田谷区奥沢4-15-7	03-3726-1108	2021年1月31日まで
	菅澤医院	菅澤　正明	158-0091	世田谷区中町4-31-13	03-3701-1650	2021年2月1日から

眼科 （39定点）

2020年12月31日　現在

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
中央区	宮下眼科医院	宮下　公男	104-0031	中央区京橋2-5-18　3F	03-3564-0240	
新宿区	東京女子医科大学病院眼科	篠崎　和美	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○＊
新宿区	東京医科大学病院眼科	森　秀樹	160-0023	新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111	
文京	順天堂大学医学部眼科	村上　晶	113-0033	文京区本郷3-1-3	03-3813-3111	
墨田区	毛塚眼科医院	毛塚　剛司	131-0033	墨田区向島1-5-7	03-3622-0941	
江東区	さとう眼科	佐藤　明	136-0076	江東区南砂6-1-11	03-3645-5441	
品川区	濱崎眼科医院	濱崎　陞	140-0014	品川区大井3-18-17	03-3776-4197	
目黒区	にっとのクリニック	入戸野　晋	152-0011	目黒区原町2-1-24	03-5704-4092	
大田区	朝広眼科	朝広　信彦	146-0085	大田区久が原5-17-9	03-3751-7757	
大田区	下丸子眼科クリニック	藤井　孝	146-0092	大田区下丸子1-6-24 グランドステラ下丸子1F	03-5741-2400	
世田谷	烏山眼科医院	福下　公子	157-0062	世田谷区南烏山5-16-20 二番館ハラジマビル3F	03-3308-0777	2020年3月31日まで
	福地眼科	福地　郁子	156-0057	世田谷区上北沢3-17-3 NKビル2F	03-3304-5586	2020年5月1日から
世田谷	喜多見眼科	熊川　美代子	157-0067	世田谷区喜多見8-18-10 小泉ビル3F	03-5494-7878	
渋谷区	細川眼科クリニック	細川　可奈	150-0012	渋谷区広尾5-14-2 広尾KKビル4F	03-5423-7023	○
中野区	福田眼科医院	福田　敏雅	165-0026	中野区新井2-33-1	03-3386-3700	
杉並	荒木眼科医院	荒木　博子	167-0042	杉並区西荻北2-9-10	03-3395-3091	○
池袋	大木眼科	大木　孝太郎	171-0014	豊島区池袋2-17-1	03-3971-2598	
北区	秋山眼科医院	秋山　健一	114-0023	北区滝野川3-4-14	03-3915-5210	2020年3月31日まで
	クリスタル眼科	野牛 千鶴	114-0004	北区船堀3-18-3	03-5902-5089	2020年4月1日から
荒川区	眼科アリモト	有本　啓三	116-0014	荒川区東日暮里5-51-7	03-3806-3720	
板橋区	フルヤ眼科クリニック	古谷　和正	173-0004	板橋区板橋1-22-8　古谷ビル2F	03-5375-4930	
板橋区	小暮眼科	小暮　慎二	175-0094	板橋区成増3-10-5	03-3979-3555	
練馬区	荻野眼科医院	荻野　公嗣	177-0041	練馬区石神井町1-25-10	03-3996-2021	
練馬区	氷川台眼科	長松　淳一	179-0084	練馬区氷川台3-38-8 内観堂ビル2F	03-5984-1900	
足立	三原眼科医院	三原　敬	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0785	
足立	菅田眼科	菅田　裕久	120-0034	足立区千住2-6	03-3881-2641	2020年3月31日まで
	こばやし眼科クリニック	小林　康彦	120-0043	足立区千住宮元町1-1 宮元ビル2F	03-5244-6080	2020年4月1日から
葛飾区	的場眼科クリニック	伊藤　景子	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0657	
江戸川	松江八木橋眼科	八木橋　修	132-0025	江戸川区松江2-1-5 目々沢ビル	03-5607-3505	
江戸川	安田医院	安田　尚美	132-0011	江戸川区瑞江1-43-12	03-5666-7038	
八王子市	倉田眼科医院	倉田　美樹	192-0073	八王子市寺町55	042-622-1440	2020年3月31日まで
	きむら眼科	木村　隆	194-0904	八王子市子安町4-10-1	042-680-7430	2020年4月1日から
八王子市	大熊眼科医院	大熊　京子	193-0835	八王子市千人町2-19-15 長塚ビル3F	042-667-3477	
西多摩	馬詰眼科	馬詰　良比古	197-0023	福生市志茂224-1	042-553-9521	2020年3月31日まで
	後藤眼科診療所	後藤　晋	198-0089	青梅市森下町508	0428-22-3202	2020年4月1日から
南多摩	小川眼科	小川　昭彦	206-0011	多摩市関戸2-40-1 ニッセイ聖蹟桜ヶ丘ビル3F	042-337-6660	
町田市	吉川眼科クリニック	吉川　啓司	194-0021	町田市中町1-3-1 小田桐ビル2F	042-739-0781	2020年1月31日まで
	すずかけ台眼科クリニック	吉利　尚	194-0002	町田市南つくし野３－４－２ 久保田ビル2階	042-788-5505	2020年2月1日から
多摩立川	天佑眼科医院	岡本　晴彦	207-0014	東大和市南街1-27-5	042-561-2965	
多摩立川	曽根医院	曽根　隆一郎	185-0012	国分寺市本町4-19-8	042-322-0516	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、眼科病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「＊」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
多摩府中	こはら眼科	小原　真樹夫	180-0006	武蔵野市中町1-4-4 スクウェア三鷹1F	0422-52-8871	
多摩府中	武蔵境眼科医院	村松　隆次	180-0023	武蔵野市境南町1-8-1 武蔵野STビル2F	0422-34-2117	
多摩府中	平山眼科医院	平山　信隆	183-0023	府中市宮町1-20-19 大津ビル2F	042-364-0300	
多摩小平	徳島診療所	中川　尚	189-0024	東村山市富士見町1-2-14	042-391-2525	○
多摩小平	つしま眼科医院	對馬　一仁	204-0021	清瀬市元町1-8-19 アーク清瀬201	042-496-2240	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、眼科病原体定点を兼ねる医療機関である。

性感染症 （55定点）

2020年12月31日　現在

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
千代田	スバル医院	中村　憲司	100-0006	千代田区有楽町1-2-6	03-3580-9559	
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	平澤　潔	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
中央区	前田医院	前田　立雄	104-0045	中央区築地1-3-6	03-3541-0396	2020年4月30日まで
	銀座吉田医院	吉田　正平	104-0061	中央区銀座2-4-8 GINZA YUKI BLD 8・9F	03-3561-5537	2020年7月1日から
中央区	弓削医院	弓削　文一	103-0014	中央区日本橋蠣殻町1-28-7	03-3666-3979	
中央区	対馬ルリ子女性ライフクリニック 銀座	対馬　ルリ子	104-0061	中央区銀座2-6-5 銀座トレシャスビル7F	03-3538-0283	
みなと	大原皮膚泌尿器科	大原　正雄	107-0052	港区赤坂2-14-33 栄屋清水ビル5階	03-3584-4821	
みなと	赤枝六本木診療所	赤枝　恒雄	106-0046	港区元麻布3-1-30	03-3405-1388	
新宿区	新宿さくらクリニック	澤村　正之	169-0073	新宿区百人町2-11-22	03-3364-6333	
新宿区	たつきクリニック	矢谷　達樹	160-0023	新宿区西新宿7-16-14 ミクラ西新宿ビル2F	03-5348-7074	
新宿区	植松医院	植松　幹雄	169-0075	新宿区高田馬場1-32-14 UKビル2F	03-3209-5608	
新宿区	阿蘇医院	阿蘇　哲	160-0008	新宿区三栄町1-1	03-3351-3224	
新宿区	竹下医院	竹下　寿子	169-0075	新宿区高田馬場2-14-22	03-3200-1281	
新宿区	(財)東京都保健医療公社 大久保病院	高田　淳子	160-8488	新宿区歌舞伎町2-44-1	03-5273-7711	
新宿区	しらかば診療所	井戸田　一朗	162-0065	新宿区住吉町8-28 B・STEPビル2階	03-5919-3127	
文京	細部医院	細部　高英	113-0031	文京区根津1-1-15	03-3822-6858	
台東	佐々木医院	佐々木貴子	111-0032	台東区浅草5-33-7	03-3872-6776	
台東	永寿総合病院	高橋　峰夫	110-8645	台東区東上野2-23-16	03-3833-8381	
墨田区	南外科泌尿器科	南　孝明	131-0032	墨田区東向島5-38-14	03-3614-2511	
墨田区	賛育会病院	鈴木　正明	130-0012	墨田区太平3-20-2	03-3622-9191	
江東区	尾関皮膚泌尿器科	尾関　全彦	135-0048	江東区門前仲町2-6-2 幸栄ビル3階	03-3630-1241	○2020年3月31日まで
	西大島駅と亀戸駅の間のいわぶち内科と泌尿器科のクリニック	岩渕　敏久	136-0072	江東区大島3-4-3 タワーレジデンス西大島2階	03-3683-3137	○ 2020年5月1日から
江東区	江東病院	宮﨑　亮一郎	136-0072	江東区大島6-8-5	03-3685-2166	
品川区	東五反田クリニック	小川　秀彌	141-0022	品川区東五反田4-11-12 パラドール池田山102	03-3280-6762	
大田区	前村医院	前村　由美	143-0014	大田区大森中2-19-17	03-3761-3955	
大田区	東京蒲田病院	小山　豊	144-0051	大田区西蒲田7-10-1	03-3733-0525	
渋谷区	渋谷新南口クリニック	秋山　昭人	150-0002	渋谷区渋谷3-28-8 第三久我屋ビル2F	03-3406-6301	
渋谷区	赤阪医院	赤阪　雄一郎	150-0001	渋谷区神宮前3-31-9	03-3401-7506	
渋谷区	JR東京総合病院	奥山　伸彦	151-8528	渋谷区代々木2-1-3	03-3320-2204	
渋谷区	東クリニック	東　哲徳	151-0073	渋谷区笹塚1-30-3 ビラージュ笹塚Ⅲ4F	03-3481-0380	
渋谷区	都立広尾病院	秋山　邦久	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	
中野区	やなだクリニック	簗田　周一	164-0013	中野区弥生町6-2-20	03-5342-9511	
中野区	新渡戸記念中野総合病院	吉野　修司	164-8607	中野区中央4-59-16	03-3382-1231	
杉並	荻窪駅前クリニック	吉田　正林	167-0051	杉並区荻窪5-27-8 FCビル4F	03-3220-9622	
杉並	荻窪病院	杉山　武	167-0035	杉並区今川3-1-24	03-3399-1101	
池袋	安康レディースクリニック	安康　善雄	171-0014	豊島区池袋2-42-3 オスカービル2F	03-3971-3544	
池袋	真和クリニック	森田　博人	171-0021	豊島区西池袋1-25-1	03-3971-3272	
池袋	渡辺胃腸科医院	渡辺　伸介	170-0005	豊島区南大塚1-53-1	03-3943-6371	○

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、「性感染症病原体定点」を兼ねる医療機関である。

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　　在　　地	電話番号	備　考
北区	十条銀座診療所	平林　徹	114-0034	北区上十条2-27-17	03-3908-1826	
荒川	加藤産婦人科医院	加藤　寛彦	116-0001	荒川区町屋2-9-21	03-3895-3521	
板橋区	本多医院	本多　章乃	173-0023	板橋区大山町18-12	03-3959-0807	
板橋区	板橋中央総合病院	大橋　浩文	174-8691	板橋区小豆沢2-12-7	03-3967-1181	
足立	長門クリニック	渡邉　秀樹	120-0002	足立区中川2-5-8	03-3605-3131	
足立	博慈会記念総合病院	林　達郎	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	03-3899-1311	
江戸川	岩倉病院	岩倉　弘毅	133-0056	江戸川区南小岩7-28-4	03-3659-3215	○
江戸川	とおるクリニック	田中　徹	132-0011	江戸川区瑞江2-3-1-3F	03-5664-8020	
八王子市	新クリニック	福嶺　紀隆	193-0931	八王子市台町2-16-8	042-621-6203	
八王子市	西島産婦人科	西島　重信	193-0835	八王子市千人町1-8-5	042-661-6642	○
八王子市	米山産婦人科病院	花岡　素美	192-0065	八王子市新町2-12	042-642-5225	
八王子市	はぎの医院	萩野　陽一郎	192-0066	八王子市本町11-6	042-622-2206	
町田市	町田産婦人科菜の花クリニック	町田　利正	194-0045	町田市南成瀬7-14-1	042-728-1101	2020年3月31日まで
	産婦人科ベルンの森クリニック	松下　径広	194-0215	町田市小山ヶ丘4-3-1	042-775-3553	2020年4月1日から
多摩立川	泉医院	泉　康二	190-0012	立川市曙町2-14-16	042-522-2233	
多摩立川	こむかい産婦人科	小武海　成之	190-0022	立川市錦町2-3-30	050-3588-0123	
多摩府中	武蔵野陽和会病院	長倉　和彦	180-0012	武蔵野市緑町2-1-33	0422-52-3212	
多摩府中	武蔵野赤十字病院	泌尿器科部長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	＊
多摩府中	都立多摩総合医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	
多摩小平	真能クリニック	真能　純一	187-0045	小平市学園西町2-13-37 カミデビル2F	042-342-8280	

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、性感染症病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「＊」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

基幹 （25定点）

2020年12月31日　現在

保健所名	医　療　機　関　名	氏　名	郵便番号	所　在　地	電話番号	備　考
千代田	東京逓信病院	小野　正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○ ＊
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	総務課長	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○ ＊
新宿区	(社)聖母会　聖母病院	猪野　雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○ ＊
新宿区	東京女子医科大学病院	病院長	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○ ＃
文京	がん・感染症センター 都立駒込病院	医事課長	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	○
墨田区	都立墨東病院	医事課長	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151	○
大田区	(公財)東京都保健医療公社 荏原病院	医事課長	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	03-5734-8000	○
世田谷	国立成育医療研究センター	医事課長	157-8535	世田谷区大蔵2-10-1	03-3416-0181	
世田谷	公立学校共済組合 関東中央病院	医事課長	158-8531	世田谷区上用賀6-25-1	03-3429-1171	
渋谷区	都立広尾病院	医事課長	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	○
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山　亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○ ＊
杉並	河北総合病院	岡井　隆広	166-8588	杉並区阿佐谷北1-7-3	03-3339-2121	
池袋	都立大塚病院	病歴係長	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211	○
板橋区	(公財)東京都保健医療公社 豊島病院	医事課長	173-0015	板橋区栄町33-1	03-5375-1234	○
葛飾	(公財)東京都保健医療公社 東部地域病院	医事課長	125-8512	葛飾区亀有5-14-1	03-5682-5111	○
西多摩	青梅市立総合病院	医事課長	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191	○
八王子市	東京医科大学 八王子医療センター	医事課長	193-0998	八王子市館町1163	042-665-5611	○
多摩立川	国家公務員共済組合連合会 立川病院	医事課長	190-8531	立川市錦町4-2-22	042-523-3131	○
多摩府中	都立多摩総合医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	○
	都立小児総合医療センター	医事課 医事管理係	183-8561	府中市武蔵台2-8-29	042-300-5111	○
多摩府中	武蔵野赤十字病院	総務課長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	○
多摩小平	(公財)東京都保健医療公社 多摩北部医療センター	医事課長	189-8511	東村山市青葉町1-7-1	042-396-3811	○
多摩小平	公立昭和病院	医事課長	187-8510	小平市花小金井8-1-1	042-461-0052	○
島しょ	町立八丈病院	業務課長	100-1511	八丈町三根26-11	04996-2-1188	○

（注）　備考欄に「○」の表示がある医療機関は、基幹病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「＊」の表示がある医療機関は、「小児科定点」を兼ねる医療機関である。

備考欄に「#」の表示がある医療機関は、「眼科定点」を兼ねる医療機関である。

疑似症 （36定点）

2020年12月31日　現在

保健所名	種別	医　療　機　関　名	郵便番号	所　在　地	備　考
千代田		東京逓信病院	102-0071	千代田区富士見2-14-23	
中央		聖路加国際病院	104-8560	中央区明石町9-1	
みなと		虎の門病院	105-8470	港区虎ノ門2-2-2	
みなと		東京慈恵会医科大学附属病院	105-0003	港区西新橋3-19-18	
新宿	特定	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	162-8655	新宿区戸山1-21-1	
新宿		東京女子医科大学病院	162-8666	新宿区河田町8-1	
文京	一種	がん・感染症センター 都立駒込病院	113-8677	文京区本駒込3-18-22	
台東区		永寿総合病院	110-8645	台東区東上野2-23-16	
墨田区	一種	東京都立墨東病院	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	
江東		昭和大学江東豊洲病院	135-8577	江東区豊洲5-1-38	
品川		昭和大学病院	142-8666	品川区旗の台1-5-8	
大田区	一種	公益社団法人東京都保健医療公社 荏原病院	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	
大田		東邦大学医療センター大森病院	143-8541	大田区大森西6-11-1	
目黒		独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター	152-8902	目黒区東が丘2-5-1	
世田谷	一種	自衛隊中央病院	154-0001	世田谷区池尻1-2-24	
渋谷区		日本赤十字社医療センター	150-0012	渋谷区広尾4-1-22	
渋谷区		東京都立広尾病院	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	
中野区		東京警察病院	164-8541	中野区中野4-22-1	
杉並区		河北総合病院	166-0001	杉並区阿佐谷北1-7-3	
池袋		東京都立大塚病院	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	
北区		公益社団法人 地域医療振興協会 東京北医療センター	115-0053	北区赤羽台4-17-56	
荒川区		東京女子医科大学東医療センター	116-8567	荒川区西尾久2-1-10	
板橋	二種	公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	173-0015	板橋区栄町33-1	
練馬		練馬光が丘病院	179-0072	練馬区光が丘2-11-1	
足立		博慈会記念総合病院	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	
葛飾		東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター	125-8506	葛飾区青戸6-41-2	
江戸川		日本私立学校振興・共済事業団 東京臨海病院	134-0086	江戸川区臨海町14-2	
八王子	二種	東京医科大学八王子医療センター	193-0998	八王子市館町1163	
町田		町田市民病院	194-0023	町田市旭町2-15-41	
西多摩	二種	青梅市立総合病院	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	
南多摩		公益財団法人東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	206-0036	多摩市中沢2-1-2	
多摩立川	二種	国家公務員共済組合連合会 立川病院	190-8531	立川市錦町4-2-22	
多摩立川		社会医療法人社団健生会 立川相互病院	190-8578	立川市緑町4-1	
多摩府中	二種	武蔵野赤十字病院	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	
多摩小平	二種	公立昭和病院	187-8510	小平市花小金井8-1-1	
島しょ	二種	町立八丈病院	100-1511	八丈町三根26-11	

２　東京都感染症予防検討委員会委員名簿

2020年12月31日現在　：　順不同

氏　　名	役　　職
◎ 桜　山　豊　夫	公益財団法人東京都結核予防会理事長
○ 岡　部　信　彦	川崎市健康安全研究所長
○ 萩　原　温　久	萩原医院（東京小児科医会）
永　井　英　明	独立行政法人 国立病院機構東京病院統括診療部長
尾　形　英　雄	結核予防会複十字病院安全管理特任部長
前　田　秀　雄	北区保健所長
河　合　江　美	町田市保健所長
今　村　顕　史	東京都立駒込病院感染症科部長
永　渕　恒　幸	東京都福祉保健局健康安全部食品危機管理担当課長
中　坪　直　樹＊	東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課疫学情報担当課長
砂　川　富　正	国立感染症研究所感染症疫学センター第二室長
関　　なおみ＊	東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課長
長谷川　道　彦	はせがわクリニック（東京泌尿器科医会）
北　村　邦　夫	一般社団法人日本家族計画協会理事長（東京産婦人科医会）
黒　澤　サト子	くろさわ子ども＆内科クリニック（東京小児科医会）
吉　見　裕美子	野近眼科医院　（東京都眼科医会）
美　田　敏　宏	順天堂大学医学部　熱帯医学・寄生虫病学講座教授
山　下　隆　博	恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター愛育病院副院長
池　田　忠　生	元日本大学医学部准教授
川　上　一　恵	東京都医師会理事（疾病担当）

＊ 2020年4月1日から

◎委員長　　○副委員長

2020年3月31日まで

石　川　貴　敏	東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課長

3　東京都感染症発生動向調査事業の流れ

東京都感染症発生動向調査事業実施要綱

１１衛福結第６８０号
平成１２年３月３０日
最終改正　２福保感防第１２３２号
令和３年３月３１日

第１　趣旨及び目的

感染症発生動向調査事業については、昭和５６年７月から１８疾病を対象に開始され、昭和６２年１月からは対象疾病を２７に拡大するとともにコンピュータを用いたオンラインシステムを導入、以後、順次対象疾病の拡大を図りながら運用されてきたところである。

平成１１年４月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）により、本事業が、事前対応型行政を重視した感染症対策の一つとして位置づけられることになった。

これを受け、本事業は、感染症の発生状況の正確な把握と分析、その結果の国民や医療関係者への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止するとともに、病原体情報を収集、分析することで、流行している病原体の検出状況及び特性を確認し、適切な感染症対策を立案することを目的として実施するものとする。

第２　根拠法令等

本事業の実施に当たっては、感染症法及び国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱に基づくものとする。

第３　対象感染症

この事業の対象とする感染症は、別表１のとおりとする。

第４　実施体制

１　地方感染症情報センター及び基幹地方感染症情報センター

地方感染症情報センターは、東京都、特別区及び保健所政令市における患者情報、疑似症情報及び病原体情報（検査情報を含む。以下同じ。）を収集・分析し、東京都、特別区及び保健所政令市の本庁に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開するために、東京都及び各特別区内に１か所、地方衛生研究所等の中に設置されている。

基幹地方感染症情報センターである東京都健康安全研究センター（以下「健康安全研究センター」という。）は、東京都全域の患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、その結果を各地方感染症情報センターに送付する。

２　指定届出機関及び指定提出機関（定点）

（１）東京都は、定点把握対象の感染症についての、患者情報及び疑似症情報を収集するため、感染症法第１４条第１項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点をあらかじめ

選定する。

（２）東京都は、定点把握対象の五類感染症についての、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点をあらかじめ選定する。なお、感染症法施行規則第７条の２に規定する五類感染症については、感染症法第１４条の２第１項に規定する指定提出機関として、病原体定点を選定する。

３　検査施設

東京都内における本事業に係る検体等の検査については、健康安全研究センターにおいて実施する。健康安全研究センターは、検査施設における病原体等検査の業務管理要領（以下「病原体検査要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

第５　事業の実施

１　一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表１の７５、８５及び８６に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症（別表１の１１８及び１１９に掲げるものを除く）及び指定感染症

（１）調査単位及び実施方法

ア　診断した医師

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表１の７５、８５及び８６に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」（平成18年3月8日付健感発第0308001号厚生労働省健康局結核感染症課長通知、令和３年２月10日最終改正。以下「届出基準」という。）に基づき診断した場合は、本要綱の別記様式８から９、及び１１から７４を用いて、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。

イ　検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等を提供する。

ウ　保健所

（ア）届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼等するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

（イ）保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

（ウ）保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ　健康安全研究センター

（ア）健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所からの情報の入力があり次第、

登録情報の確認を行う。

（イ）健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

（ウ）検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

（エ）健康安全研究センターは、患者が一類感染症と診断されている場合（疑いを含む。）又は東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から求められた場合にあっては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

（オ）基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

オ　情報の報告等

（ア）　都道府県知事、保健所を設置する市又は特別区の長（以下「都道府県知事等」という。）は、その管轄する区域外に居住する者について法第１２条第１項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県知事等に通報する。保健所を設置する市又は特別区の長（以下「保健所設置市等の長」という。）が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

（イ）保健所設置市等の長は、厚生労働大臣に対して、

- 法第１２条の規定による発生届出の一連の事務の中で、同条第２項の報告を行う場合
- 法第１５条の規定による積極的疫学調査の一連の事務の中で、同条第１３項の報告を行う場合

は、併せて都道府県知事に報告する。

（ウ）都道府県知事等は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第１５条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県知事等に通報する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

（エ）（イ）の法第１２条の規定による報告について、感染症発生動向調査システムにより相互に情報を閲覧できる措置を講じた場合は、当該報告をしたものとみなす。

２　新型コロナウイルス感染症及び再興型コロナウイルス感染症

（１）調査単位及び実施方法

ア　診断した医師

新型コロナウイルス感染症又は再興型コロナウイルス感染症を届出基準等通知に基づき診断した場合は、別に定める基準に基づき、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。当該届出は、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（以下「ＨＥＲ－ＳＹＳ」という。）への入力により行うことを基本とするが、ＨＥＲ－ＳＹＳの入力環境がない場合には、最寄りの保健所が定める方法により行って差し支えない。

イ　検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等を提供する。

ウ　保健所

（ア）　届出を受けた保健所は、直ちに届出内容の確認を行うとともに、診断した医師の医療機関にＨＥＲ－ＳＹＳの入力環境がない場合には、当該届出内容をＨＥＲ－ＳＹＳに入力するものとする。また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼等するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

（イ）　保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

（ウ）　保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ　健康安全研究センター

（ア）　健康安全研究センターは、ＨＥＲ－ＳＹＳを活用し、管内の患者情報について保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

（イ）　健康安全研究センター検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し､その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに､保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

（ウ）　検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

（エ）　基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、ＨＥＲ－ＳＹＳ等の活用により、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を公表される都道府県情報及び全国情報と併せて、ホームページへの掲載等の適切な方法により、保健所等の関係機関に提供・公開する。

オ　福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課

福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課は、保健所等がＨＥＲ－ＳＹＳに入力した情報、健康安全研究センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課は、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

カ　情報の報告等

（ア）都道府県知事等は、その管轄する区域外に居住する者について法第１２条第１項の規定による届出を受けたときは、当該届出の内容を、その居住地を管轄する都道府県知事等に通報

する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

（イ）保健所設置市等の長は、厚生労働大臣に対して、

・　法第１２条の規定による発生届出の一連の事務の中で、同条第２項の報告を行う場合

・　法第１５条の規定による積極的疫学調査の一連の事務の中で、同条第１３項の報告を行う場合

は、併せて都道府県知事に報告する。

（ウ）都道府県知事等は、他の都道府県知事等が管轄する区域内における感染症のまん延を防止するために必要な場合は、法第１５条の規定による積極的疫学調査の結果を、当該他の都道府県知事等に通報する。保健所設置市等の長が通報先となる場合には、当該市・区が所在する都道府県知事にも通報する。

（エ）（ア）から（ウ）の報告等について、HER-SYS により相互情報を閲覧できる措置講じた場合は、当該報告等をしたものとみなす。

キ　その他

病原体検査を行政検査として医療機関に委託している場合には、当該医療機関において、保健所及び都道府県等に必要な情報提供を行うこと。当該情報共有は、ＨＥＲ－ＳＹＳへの入力により行うことを基本とすること。

３　全数把握対象の五類感染症（別表１の７５、８５及び８６に掲げるものを除く。）

（１）調査単位及び実施方法

ア　診断した医師

全数把握対象の五類感染症（別表１の７５、８５及び８６に掲げるものを除く。）を届出基準に基づき診断した医師は、国の定める届出基準の別記様式５－１から５－１１、５－１３から５－１５、５－１７から５－２１、５－２４並びに本要綱の別記様式１０を用いて、７日以内に最寄りの保健所に届出を行う。

イ　検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

ウ　保健所

（ア）届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

（イ）保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

（ウ）保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定

提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ　健康安全研究センター

（ア）健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

（イ）健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

（ウ）検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

（エ）健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

（オ）基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

４　定点把握対象の五類感染症

（１）対象とする感染症患者の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合とする。

（２）定点の選定

ア　患者定点

定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

（ア）小児科定点

対象感染症のうち、別表１の８８から９９までに掲げるものについては、小児科を標ぼうする医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）を小児科定点として指定する。この場合において、小児科定点として指定された医療機関は、インフルエンザ定点として協力するよう努めること。

（イ）インフルエンザ定点

対象感染症のうち、別表１の１００に掲げるインフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。以下同じ。）については、前記（ア）で選定した小児科定点のうちインフルエンザ定点として協力する小児科定点に加え、内科を標ぼうする医療機関（主として内科医療を提供しているもの）を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする。

（ウ）眼科定点

対象感染症のうち、別表１の１０１及び１０２に掲げるものについては、眼科を標ぼうする医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）を眼科定点として指定する。

（エ）性感染症定点

対象感染症のうち、別表１の１０３から１０７までに掲げるものについては、産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和二十三年政令第三百二十六号）第三条の二第一項第一号ハ及びニ(2)の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標ぼうする医療機関（主として各々の標ぼう科の医療を提供しているもの）を性感染症定点として指定する。

（オ）基幹定点

対象感染症のうち、別表１の１００に掲げるインフルエンザ（届出基準はインフルエンザ定点と異なり、入院患者に限定される）、別表１の１０８から１１５までに掲げるものについては、患者を３００人以上収容する施設を有する病院であって、内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を二次医療圏毎に１か所以上、基幹定点として指定する。

イ　病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、病原体定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

（ア）医療機関を病原体定点として選定する場合は、原則として、患者定点として選定された医療機関の中から選定する。

（イ）アの（ア）により選定された患者定点の概ね 10%を小児科病原体定点とし、別表１の８８から９９までを対象感染症とする。

（ウ）アの（ア）及び（イ）により選定された患者定点の概ね 10%をインフルエンザ病原体定点とし、別表１の１００を対象感染症とする。また、インフルエンザ病原体定点を、感染症法第１４条の２第１項に規定する指定提出機関として指定する。

（エ）アの（ウ）により選定された患者定点の中から眼科病原体定点を選定し、別表１の１０１及び１０２を対象感染症とする。

（オ）アの（エ）により選定された患者定点の中から性感染症病原体定点を選定し、別表１の１０３から１０７を対象感染症とする。

（カ）アの（オ）により選定された患者定点の中から基幹病原体定点を選定し、別表１の１００に掲げるインフルエンザ（入院患者に限る。）、別表１の１０８から１１５までを対象感染症とする。

（３）調査単位等

ア　患者情報

調査単位の期間等は、別表２のとおりとする。

イ　病原体情報

病原体情報のうち、（２）のイの（ウ）により選定された病原体定点に関するものについては、別表１の１００に掲げるインフルエンザの流行期（（２）のアの（イ）により選定された患者定点あたりの患者発生数が東京都全体で１を超えた時点から１を下回るまでの間）には１週間（月曜日から日曜日）を調査単位とし、非流行期（流行期以外の期間）には各月を調

査単位とする。その他病原体定点に関するものについては、各月を調査単位とする。

（４）実施方法

ア　患者定点

（ア）患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準を参考とし、患者発生状況の把握を行うものとする。

（イ）（２）のアにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、それぞれの調査単位の患者発生状況を別記様式２から７に記載する。

（ウ）（イ）の届出に当たっては、感染症法施行規則第７条に従い行うものとする。

イ　病原体定点

（ア）病原体定点として選定された医療機関は、必要に応じて病原体検査のために検体等を採取する。

（イ）病原体定点は、検体等について、別記様式１の検査票を添付し、速やかに健康安全研究センターへ送付する。

（ウ）（２）のイの（イ）により選定された病原体定点においては、別表１の８８から９７までの対象感染症のうち、調査単位ごとに、概ね４症例からそれぞれ少なくとも１種類の検体を送付するものとする。

（エ）（２）のイの（ウ）により選定された病原体定点においては、別表１の１００に掲げるインフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む。）について、調査単位ごとに、少なくとも１検体を送付するものとする。

ウ　検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

エ　保健所

（ア）保健所は、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の３日までに、感染症発生動向調査システムに入力するものとし、併せて、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターに報告する。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターと協議する。

（イ）保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

（ウ）保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

オ　健康安全研究センター

（ア）健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

（イ）健康安全研究センターは、別記様式１の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合

にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式１により保健所、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

（ウ）検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

（エ）健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

（オ）基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて､地方感染症情報センター等の関係機関に提供･公開する。

５　法第１４条第１項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

（１）対象とする疑似症の状態

各々の疑似症について、届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

（２）疑似症定点の選定

東京都は、関係医師会の協力を得て、国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱第５の４（２）に定める基準を満たす医療機関の中から疑似症定点を選定する。また、疑似症定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

（３）調査単位

調査単位の期間等は、別表３のとおりとする。

（４）実施方法

ア　疑似症定点

（ア）　疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。

（イ）疑似症定点として選定された医療機関は、届出基準に従い、直ちに疑似症発生状況を国の定める届出基準の別記様式６－７に記載する。なお、届出に当たっては、感染症法施行規則第７条に従い行うものとする。

イ　保健所

（ア）保健所は、疑似症定点から得られた疑似症情報を、随時福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課に報告する。

また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課及び健康安全研究センターに報告する。

（イ）保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

ウ　福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課

福祉保健局感染症対策部防疫・情報管理課は保健所から得られた疑似症情報を健康安全研究センターに報告する。

エ　健康安全研究センター

基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての疑似症情報を収集し、汎用サーベイランスシステムに入力する。また、当該情報を分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

６　その他

（１）上記の実施方法以外の部分について、必要と認められる場合には、東京都の実情に応じた追加を行い、地域における効果的・効率的な感染症発生動向調査体制を構築していくこととする。

（２）感染症発生動向調査のために取り扱うこととなった検体等については、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生の向上のために使用されるものであり、それ以外の目的のために用いてはならない。また、検体採取の際には、その使用目的について説明の上、できるだけ、本人等に同意をとることが望ましい。なお、上記に掲げる目的以外の研究に使用する場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の規定に従い行うものとする。

（３）本実施要綱に定める事項以外の内容については、必要に応じて福祉保健局長が定めることとする。

７　特別区及び保健所政令市との関係

東京都は、本事業を実施するため特別区及び保健所政令市と協議し、連携を図るものとする。

附　則

この実施要綱は、平成１２年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成１３年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成１４年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成１５年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成１５年１１月５日から適用する。

附　則

この実施要綱は、平成１６年８月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成１８年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成１８年６月１２日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成１９年６月１５日から施行し、同年４月１日から適用する。

附　則

この実施要綱は、平成２０年１月３１日から施行し、同年１月１日から適用する。

附　則

この実施要綱は、平成２０年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２０年７月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２２年３月１６日から施行し、同年３月１１日から適用する。

附　則

この実施要綱は、平成２３年２月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２３年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２３年９月５日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２５年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２５年５月２２日から施行し、同年５月６日から適用する。

附　則

この実施要綱は、平成２５年１０月１４日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２６年６月１２日から施行し、同年５月１２日から適用する。

附　則

この実施要綱は、平成２６年８月１３日から施行し、同年７月２６日から適用する。附　則

この実施要綱は、平成２６年９月１９日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２７年２月２５日から施行し、同年１月２１日から適用する。

附　則

この実施要綱は、平成２７年５月２１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２８年１月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２８年２月１５日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成２８年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成３０年１月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成３０年５月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成３１年１月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、平成３１年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、令和元年５月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、令和２年１月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、令和２年２月３日から施行する。

附　則

この実施要綱は、令和２年４月１日から施行する。

附　則

この実施要綱は、令和２年５月１３日から施行する。

附　則

この実施要綱は、令和２年６月２４日から施行し、５月２９日から適用する。

附　則

この実施要綱は、令和２年６月２５日から施行する。

附　則

この実施要綱は、令和２年１０月２日から施行する。

附　則

この実施要綱は、令和２年１０月１４日から施行する。

附　則

この実施要綱は、令和３年３月３１日から施行し、同年２月１３日から適用する。

別表１

感染症法に基づく感染症の分類

１　一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症

		疾　患　名	届出対象者			届出方法	
			患　者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時　期
一類	1	エボラ出血熱	○	○	○	全数	直ちに
	2	クリミア・コンゴ出血熱					
	3	痘そう					
	4	南米出血熱					
	5	ペスト					
	6	マールブルグ病					
	7	ラッサ熱					
二類	8	急性灰白髄炎	○	－	○	全数	直ちに
	9	結核	○	○	△※		
	10	ジフテリア	○	－	○		
	11	重症急性呼吸器症候群 （病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）	○	○	○		
	12	中東呼吸器症候群 （病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る）	○	○	○		
	13	鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１）	○	○	○		
	14	鳥インフルエンザ（Ｈ７Ｎ９）	○	○	○		
三類	15	コレラ	○	－	○	全数	直ちに
	16	細菌性赤痢	○	－	○		
	17	腸管出血性大腸菌感染症	○	－	○		
	18	腸チフス	○	－	○		
	19	パラチフス	○	－	○		
四類	20	Ｅ型肝炎	○	－	○	全数	直ちに
	21	ウエストナイル熱 （ウエストナイル脳炎を含む。）	○	－	○		
	22	Ａ型肝炎	○	－	○		
	23	エキノコックス症	○	－	○		
	24	黄熱	○	－	○		
	25	オウム病	○	－	○		
	26	オムスク出血熱	○	－	○		
	27	回帰熱	○	－	○		
	28	キャサヌル森林病	○	－	○		
	29	Ｑ熱	○	－	○		
	30	狂犬病	○	－	○		
	31	コクシジオイデス症	○	－	○		
	32	サル痘	○	－	○		
	33	ジカウイルス感染症	○	－	○		
	34	重症熱性血小板減少症候群 （病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）	○	－	○		
	35	腎症候性出血熱	○	－	○		
	36	西部ウマ脳炎	○	－	○		
	37	ダニ媒介脳炎	○	－	○		
	38	炭疽	○	－	○		
	39	チクングニア熱	○	－	○		
	40	つつが虫病	○	－	○		
	41	デング熱	○	－	○		
	42	東部ウマ脳炎	○	－	○		
	43	鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く）	○	－	○		
	44	ニパウイルス感染症	○	－	○		
	45	日本紅斑熱	○	－	○		

※結核の無症状病原体保有者については、結核医療を必要としないと認められる場合は届出不要。

		疾　患　名	届出対象者			届出方法	
			患　者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時　期
四類	45	日本紅斑熱	○	－	○	全数	直ちに
	46	日本脳炎	○	－	○		
	47	ハンタウイルス肺症候群	○	－	○		
	48	Ｂウイルス病	○	－	○		
	49	鼻疽	○	－	○		
	50	ブルセラ症	○	－	○		
	51	ベネズエラウマ脳炎	○	－	○		
	52	ヘンドラウイルス感染症	○	－	○		
	53	発しんチフス	○	－	○		
	54	ボツリヌス症	○	－	○		
	55	マラリア	○	－	○		
	56	野兎病	○	－	○		
	57	ライム病	○	－	○		
	58	リッサウイルス感染症	○	－	○		
	59	リフトバレー熱	○	－	○		
	60	類鼻疽	○	－	○		
	61	レジオネラ症	○	－	○		
	62	レプトスピラ症	○	－	○		
	63	ロッキー山紅斑熱	○	－	○		
指定感染症		－	－	－	－	－	－

※令和3年2月13日現在、政令に基づく指定感染症なし。

２　五類感染症（全数把握）

	疾　患　名	届出対象者			届出方法	
		患　者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時　期
64	アメーバ赤痢	○	－	－	全数	７日以内
65	ウイルス性肝炎（Ｅ型肝炎及びＡ型肝炎を除く。）	○	－	－		
66	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	－	－		
67	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）	○	－	－		
68	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	○	－	－		
69	クリプトスポリジウム症	○	－	－		
70	クロイツフェルト・ヤコブ病	○	－	－		
71	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	－	－		
72	後天性免疫不全症候群	○	－	○		
73	ジアルジア症	○	－	－		
74	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	－	－		
75	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	－	－	全数	直ちに
76	侵襲性肺炎球菌感染症	○	－	－	全数	７日以内
77	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）	○	－	－		
78	先天性風しん症候群	○	－	－		
79	梅毒	○	－	○		
80	播種性クリプトコックス症	○	－	－		
81	破傷風	○	－	－		
82	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	－	－		
83	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	－	－		
84	百日咳	○	－	－		
85	風しん	○	－	－	全数	直ちに
86	麻しん	○	－	－		
87	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	－	－	全数	７日以内

3　新型インフルエンザ等感染症

	疾　患　名	届出対象者			届出方法	
		患　者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時　期
116	新型インフルエンザ	○	○	○	全数	直ちに
117	再興型インフルエンザ	○	○	○		
118	新型コロナウイルス感染症	○	○	○		
119	再興型コロナウイルス感染症	○	○	○		

4　五類感染症（定点把握）

	疾　患　名	届出対象者			届出方法	
		患　者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別（定点）	時　期
88	ＲＳウイルス感染症	○	－	－	別表２参照	
89	咽頭結膜熱	○	－	－		
90	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	－	－		
91	感染性胃腸炎	○	－	－		
92	水痘	○	－	－		
93	手足口病	○	－	－		
94	伝染性紅斑	○	－	－		
95	突発性発しん	○	－	－		
96	ヘルパンギーナ	○	－	－		
97	流行性耳下腺炎	○	－	－		
98	不明発しん症　（都単独）	○	－	－		
99	川崎病　（都単独）	○	－	－		
100	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）	○	－	－		
101	急性出血性結膜炎	○	－	－		
102	流行性角結膜炎	○	－	－		
103	性器クラミジア感染症	○	－	－		
104	性器ヘルペスウイルス感染症	○	－	－		
105	尖圭コンジローマ	○	－	－		
106	淋菌感染症	○	－	－		
107	膣トリコモナス症　（都単独）	○	－	－		
108	クラミジア肺炎（オウム病を除く。）	○	－	－		
109	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）	○	－	－		
110	細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）	○	－	－		
111	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	－	－		
112	マイコプラズマ肺炎	○	－	－		
113	無菌性髄膜炎	○	－	－		
114	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	－	－		
115	薬剤耐性緑膿菌感染症	○	－	－		

5　疑似症

	届　出　対　象	届出対象者			調査単位（期間）	時　期
		患　者	疑似症患者	無症状病原体保有者		
120	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	－	○	－	別表３参照	

別表２

五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期

定点種別	疾　　患　　名	調査単位（期間）	時　　期
小児科定点※	ＲＳウイルス感染症	週単位（月曜日から日曜日。以下同じ。）	次の月曜日
	咽頭結膜熱		
	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎		
	感染性胃腸炎		
	水痘		
	手足口病		
	伝染性紅斑		
	突発性発しん		
	ヘルパンギーナ		
	流行性耳下腺炎		
	不明発しん症　（都単独）		
	川崎病　（都単独）		
	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）		
内科定点※	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）	週単位	次の月曜日
眼科定点	急性出血性結膜炎	週単位	次の月曜日
	流行性角結膜炎		
性感染症定点	性器クラミジア感染症	月単位	翌月初日
	性器ヘルペスウイルス感染症		
	尖圭コンジローマ		
	淋菌感染症		
	膣トリコモナス症　（都単独）		
基幹定点	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	週単位	次の月曜日
	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）		
	細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）		
	マイコプラズマ肺炎		
	無菌性髄膜炎		
	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。入院患者のみ。）		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	月単位	翌月初日
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		

※小児科定点と内科定点を合わせてインフルエンザ定点とする。

別表３

疑似症の調査単位と報告時期

定点種別	届　出　対　象	調査単位 （期間）	時　　期
疑似症定点	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められ ている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	随時	直ちに

（注）

１　感染症法に規定する感染症によるものでないことが明らかである場合には、本届出の対象とはならない。

２　感染症法に規定する感染症によるものであることが明らかであり、かつ、いずれの感染症であるかが特定可能な場合には、当該感染症の届出基準に基づき届出を行うこととなるため、本届出の対象とはならない。

３　当該疑似症が発生した場合は直ちに報告するとともに、発生が無い場合についても週単位で報告する。

別記様式一覧表

別記様式	件名等	別記様式	件名等
1	感染症発生動向調査病原体定点検査票	39	Ｑ熱発生届
2	五類感染症（定点把握対象）小児科患者定点報告票	40	狂犬病発生届
3	五類感染症（定点把握対象）インフルエンザ患者定点報告票	41	コクシジオイデス症発生届
4	五類感染症（定点把握対象）眼科患者定点報告票	42	サル痘発生届
5	五類感染症（定点把握対象）性感染症患者定点報告票	43	ジカウイルス感染症発生届
6-1 6-2	五類感染症（定点把握対象）基幹患者定点報告票（週報告分）	44	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属ＳＦＴＳウイルスであるものに限る。）発生届
7	五類感染症（定点把握対象）基幹患者定点報告票（月報告分）	45	腎症候性出血熱（HFRS）発生届
8	麻しん発生届	46	西部ウマ脳炎発生届
9	結核発生届	47	ダニ媒介脳炎発生届
10	梅毒発生届	48	炭疽発生届
11	風しん発生届	49	チクングニア熱発生届
12	エボラ出血熱発生届	50	つつが虫病発生届
13	クリミア・コンゴ出血熱発生届	51	デング熱発生届
14	痘そう発生届	52	東部ウマ脳炎発生届
15	南米出血熱発生届	53	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１及びＨ７Ｎ９）を除く。）発生届
16	ペスト発生届	54	ニパウイルス感染症発生届
17	マールブルグ病発生届	55	日本紅斑熱発生届
18	ラッサ熱発生届	56	日本脳炎発生届
19	急性灰白髄炎発生届	57	ハンタウイルス肺症候群発生（HPS）届
20	ジフテリア発生届	58	Ｂウイルス病発生届
21	重症急性呼吸器症候群（ＳＡＲＳ）発生届	59	鼻疽発生届
22	中東呼吸器症候群（ＭＥＲＳ）発生届	60	ブルセラ症発生届
23	鳥インフルエンザ（Ｈ５Ｎ１）発生届	61	ベネズエラウマ脳炎発生届
24	鳥インフルエンザ（Ｈ７Ｎ９）発生届	62	ヘンドラウイルス感染症発生届
25	コレラ発生届	63	発しんチフス発生届
26	細菌性赤痢発生届	64	ボツリヌス症発生届
27	腸管出血性大腸菌感染症発生届	65	マラリア発生届
28	腸チフス発生届	66	野兎病発生届
29	パラチフス発生届	67	ライム病発生届
30	Ｅ型肝炎発生届	68	リッサウイルス感染症発生届
31	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎含む）発生届	69	リフトバレー熱発生届
32	Ａ型肝炎発生届	70	類鼻疽発生届
33	エキノコックス症発生届	71	レジオネラ症発生届
34	黄熱発生届	72	レプトスピラ症発生届
35	オウム病発生届	73	ロッキー山紅斑熱発生届
36	オムスク出血熱発生届	74	侵襲性髄膜炎菌感染症発生届
37	回帰熱発生届	75	新型コロナウイルス感染症発生届
38	キャサヌル森林病発生届		

別記様式1

感染症発生動向調査病原体定点検査票

【医療機関記入欄】

医療機関名		医師名		【患者報告】 月　日 ～　月　日 分で報告

患者報告を行った**該当する1種類の診断名にのみ○をつけてください。**

（定点把握疾患の病原体の動向把握を目的とした検査ですので、下記の診断名の疾患を対象としています）

※発生動向調査事業の趣旨をご説明いただき、本人等の同意をとったうえで、検体採取をお願いいたします。

診断名	小児科	・RSウイルス感染症　・咽頭結膜熱　・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎　・感染性胃腸炎　・水痘 ・手足口病　・伝染性紅斑　・突発性発しん　・ヘルパンギーナ　・流行性耳下腺炎　・川崎病 ・インフルエンザ　※インフルエンザ様疾患（上気道炎・下気道炎等）含む （迅速診断キット検査結果：A型陽性　B型陽性　陰性　） ・不明発しん症
	内科	・インフルエンザ　※インフルエンザ様疾患（上気道炎・下気道炎等）含む （迅速診断キット検査結果：A型陽性　B型陽性　陰性　）
	眼科	・流行性角結膜炎　・急性出血性結膜炎
	性感染症	・性器クラミジア感染症　・性器ヘルペスウイルス感染症　・尖圭コンジローマ ・淋菌感染症　・膣トリコモナス症
	基幹	・クラミジア肺炎（オウム病を除く）　・感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスに限る）　・マイコプラズマ肺炎 ・細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因とするものを除く）　・無菌性髄膜炎 ・インフルエンザ　※入院患者のみ　（迅速診断キット検査結果：　A型陽性　B型陽性　陰性　） ・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症　・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症　・薬剤耐性緑膿菌感染症

ID（イニシャル）				居住地	区市町村			
発病日	年　月　日	検体採取日	年　月　日	性別	男・女	年齢	歳　カ月	

検体	・便　・直腸ぬぐい液　・尿　・髄液 ・咽頭ぬぐい液、うがい液、鼻汁　・皮膚病巣（水疱内容、痂皮、創傷） ・吐物　・喀痰　・気管吸引液　・陰部尿道頸管擦過物／分泌物 ・結膜ぬぐい液（結膜擦過物、眼脂）　・血液（全血、血清、血漿） ・その他［　］
臨床症状・兆候	・発熱（最高　℃）　・口内・咽頭所見（　） ・頭痛　・唾液腺腫脹、リンパ節腫脹（部位　） ・発疹（丘疹、紅斑、バラ疹、水疱）　・胃腸炎（下痢、血便、嘔気、嘔吐、腹痛） ・上気道/下気道炎（咽頭炎、扁桃炎、肺炎、気管支炎）　・肝機能障害　・黄疸　・出血傾向※全身のもの ・筋肉痛、関節痛　・腎機能障害 ・神経系症状（脳炎、脳症、髄膜炎、意識障害）　・結膜炎、角膜炎、角結膜炎 ・尿路生殖器症状（排尿時痛、かゆみ、膿、下腹部痛、コンジローマ）

転　帰	経過観察中、軽快、治癒、後遺症有り、死亡（原因　）
基礎疾患	
発生の状況	・散発　・地域流行　・家族内発生 ・集団発生（保育所、幼稚園、小学校、中学校、その他［　］）
最近の海外渡航歴	国名　期間　年　月　日 ～　年　月　日
ワクチン接種歴（当該疾患に係るもの）	（無、有、不明）　最近の接種年月日 ワクチン名　年　月　日
健安研への連絡事項	

センター記入欄につき
ここには記入しないでください。

(1) 複　写　1組6枚（医療機関控）

別記様式２

感染症発生動向調査（小児科定点・疑似症定点）

週報

調査期間　　年　　月　　日(月)　～　　月　　日(日)　　医療機関名：

疾患名＼年齢		～５ヶ月	～11ヶ月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳以上	合　計
ＲＳウイルス感染症	男															
	女															
咽頭結膜熱	男															
	女															
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男															
	女															
感染性胃腸炎	男															
	女															
水痘	男															
	女															
手足口病	男															
	女															
伝染性紅斑	男															
	女															
突発性発しん	男															
	女															
ヘルパンギーナ	男															
	女															
流行性耳下腺炎	男															
	女															
不明発しん症	男															
	女															
川崎病	男															
	女															

注１）川崎病、不明発しん症は東京都独自の報告対象疾患です。

注２）感染性胃腸炎については、原因の如何に関わらず、届出基準に合致する患者を診断し、又は死体を検案した場合に届出を行うこと。

疾患名＼年齢		～５ヶ月	～11ヶ月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29
インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症をのぞく）	男														
	女														

	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	合　計
男							
女							

定点医療機関からのコメント

別記様式3

週報

感染症発生動向調査（インフルエンザ定点）

調査期間　　年　　月　　日　～　　年　　月　　日　　医療機関名:

		0～5カ月	6～11カ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	合計
インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症をのぞく）	男																					
	女																					

定点医療機関からのコメント	

別記様式８

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、麻しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いします。

麻　し　ん　発　生　届

東京都知事（保健所設置市長・特別区長）　殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第１２条第１項（同条第８項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日　令和　　年　　月　　日

医師の氏名

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地(※)

電話番号(※)　　（　　）　　－　　（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

１　診断（検案）した者（死体）の類型
・患者（確定例）　・感染症死亡者の死体

２　当該者氏名	３性別	４　生年月日	５診断時の年齢(0 歳は月齢)	６　当該者職業
	男・女	年　月　日	歳（　　か月）	
７　当該者住所 電話（　　）　－				
８　当該者所在地 電話（　　）　－				
９　保護者氏名	10　保護者住所　（９、10 は患者が未成年の場合のみ記入） 電話（　　）　－			

病　　型		13　感染原因・感染経路・感染地域
1)麻しん（検査診断例）　2)麻しん（臨床診断例） 3)修飾麻しん（検査診断例）		①感染原因・感染経路（　確定・推定　） １　飛沫・飛沫核感染（感染源となった麻疹患者・状況： （　　） ２　接触感染（感染源となった麻疹患者・物の種類・状況： （　　） ３　その他（　　）
11 症状	・発熱（　月　日出現）　・咳　・鼻汁　・結膜充血 ・眼脂　・コプリック斑　・発疹（　月　日出現） ・肺炎　・中耳炎　・腸炎　・クループ ・脳炎（急性脳炎の届出もお願いします）　・その他（　　）	②感染地域（　確定　・　推定　） １　日本国内（　　都道府県　　市区町村） ２　国外（　　国 詳細地域　　） ※　複数の国又は地域が該当する場合は全て記入すること。 渡航期間（出国日　年　月　日・入国日　年　月　日 国外居住者については、入国日のみで可）
12 診断方法	陰性結果を含め実施したもの全て記載して下さい。 （ア）分離・同定による病原体の検出 検体：　咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（　　） 検体採取日（　　月　　日　　） 結果（　陽性・陰性　）　遺伝子型：（　　） （イ）検体から直接のＰＣＲ法による病原体遺伝子の検出 検体：　咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（　　） 検体採取日（　　月　　日　　） 結果（　陽性・陰性　）　遺伝子型：（　　） （ウ）血清ＩｇＭ抗体の検出 検体採取日（　　月　　日　　） 結果（　陽性・陰性・判定保留　）　抗体価：（　　） （エ）ペア血清での抗体の検出 検体採取日（１回目　月　日　２回目　月　日） 抗体価　（１回目　　２回目　　） 結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇 検査方法：EIA ・ HI ・ NT ・ PA ・ その他（　　） （オ）その他の検査方法（　　） 検体（　　） 検体採取日（　　月　　日　　） 結果（　　） （カ）臨床決定（　　）	③麻しん含有ワクチン接種歴 1 回目　有（　　歳）・ 無 ・ 不明 ワクチンの種類（麻しん単抗原・ＭＲ・ＭＭＲ・不明） 接種年月日（ Ｓ・Ｈ　　年　　月　　日 ・不明） 製造会社/Ｌｏｔ番号（　　/　　・不明） 2 回目　有（　　歳）・ 無 ・ 不明 ワクチンの種類（麻しん単抗原・ＭＲ・ＭＭＲ・不明） 接種年月日（ Ｓ・Ｈ　　年　　月　　日 ・不明） 製造会社/Ｌｏｔ番号（　　/　　・不明） 14　初診年月日　令和　年　月　日 15　診断（検案(※)）年月日　令和　年　月　日 16　感染したと推定される年月日　令和　年　月　日 17　発病年月日（＊）　令和　年　月　日 18　死亡年月日（※）　令和　年　月　日 19　その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項

（1,3,11 から 13 欄は該当する番号等を○で囲み、4,5,14 から 18 欄は年齢、年月日を記入すること。（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。（＊）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。11,12 欄は、該当するものすべてを記載すること。）

この届出は診断後直ちに行ってください

診断した医師の方へのお願い

感染症法第 15 条により、積極的疫学調査を実施致します（この場合、医師の守秘義務は解除されます）。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者（又は保護者）の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

ア．集団生活：無、有（園児、小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他（　　））
イ．集団に接する職業：無、有（保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他（　　））
ウ．集団に接する機会：無、有（施設での実習、ボランティア活動、その他（　　））
エ．日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定　　年　　月　　日）

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者（あるいは保護者）の同意　（有・無）

※ 迅速な感染源探索、二次感染対策に役立てるため、患者（あるいは保護者）の同意がとれた場合に、下記の事項について可能な限りご記入をお願いいたします。

１　患者の情報について記入してください。該当がない場合には「なし」に〇をつけてください。

通学先・勤務先等	あり（　　）　なし
同居者（家族・同室者等）	あり（　　）　なし

２　感染源に関する情報（発症約２週間前に出かけた場所、会った人）

（１）周囲に麻しんと診断された方はいましたか

いた　　（　どなたですか　　）

わからない

（２）出かけた場所はどちらですか

・海外：渡航先

・職場や学校、保育所等：施設名

・人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称

・その他：名称

３　二次感染に関する情報（発症１日前から解熱後３日目までに出かけた場所、会った人）

・職場や学校、保育所等：施設名

・人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称

・医療機関：名称

・救急車、タクシーなど

・その他：名称

別記様式１０

梅　毒　発　生　届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長）　殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第１２条第１項（同条第８項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日　令和　　年　　月　　日

医師の氏名

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地(※)

電話番号(※)　　（　　）　　－

（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

１　診断（検案）した者（死体）の類型
・患者（確定例）　・無症状病原体保有者　・感染症死亡者の死体

２　性　別	３　診断時の年齢　(0 歳は月齢)
男　・　女	歳（　　か月）

病　　型	
①　病型 1)早期顕症梅毒(ｱ、Ⅰ期 ｲ、Ⅱ期)　2)晩期顕症梅毒、 3)先天梅毒、4)無症候（無症状病原体保有者） ②　ＨＩＶ感染症合併の有無 1）有　2）無　3）不明	
４ 症 状	・初期硬結（性器、肛門、口唇、口腔咽頭、その他（　　）） ・硬性下疳（性器、肛門、口唇、口腔咽頭、その他（　　）） ・鼠径リンパ節腫脹（無痛性）　・梅毒性バラ疹 ・丘疹性梅毒疹　・扁平コンジローマ ・ゴム腫　・心血管症状　・神経症状　・眼症状 ・骨軟骨炎　・実質性角膜炎　・感音性難聴 ・Hutchinson 歯　・その他（　　） ・なし
５ 診 断 方 法	① 患者（確定例）の場合 ・病変からの病原体の検出（染色法、PCR 検査） ・次の 1)、2)の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1）カルジオリピンを抗原とする検査 2）*T. pallidum* を抗原とする検査 ② 無症状病原体保有者の場合 ・次の 1)、2)の両方の抗体検査による血清抗体の検出 1）カルジオリピンを抗原とする検査 （抗体価を記載、16 倍相当以上が必要） 結果：（　　倍、R.U.,U 又は SU/ml） 2）*T. pallidum* を抗原とする検査 ・その他の検査方法（　　） 検体（　　） 結果（　　）

６	初診年月日	令和	年	月	日
７	診断（検案(※)）年月日	令和	年	月	日
８	感染したと推定される年月日	令和	年	月	日
９	発病年月日（＊）	令和	年	月	日
10	死亡年月日（※）	令和	年	月	日

１１　感染原因・感染経路・感染地域
① 感染原因・感染経路（　確定・推定　） １　性的接触 （A. 性交　B. 経口） （ア. 同性間　イ. 異性間　ウ. 不明） (性風俗産業の従事歴（直近６か月以内) 1）有　2)無　3)不明） (性風俗産業の利用歴（直近６か月以内) 1）有　2)無　3)不明） ２　静注薬物使用 ３　母子感染（ア. 胎内・出産時　イ. 母乳） ４　輸血・血液製剤 （輸血・血液製剤の種類・使用年月・状況：　　） ５　その他（　　） ６　不明 ② 感染地域（　確定　・　推定　） １　日本国内（　　都道府県　　市区町村） ２　国外 (国名： 詳細地域：　　） ３　不明 ③ 過去の治療歴 1）１年より前　2）１年以内　3）なし　4）不明
１２　感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために必要な事項として厚生労働大臣が定める事項
・ 妊娠の有無 1）有（　　週）　2）無　3）不明

この届出は診断から7日以内に行ってください

（1, 2, 4, 5, 11, 12 欄は該当する番号等を○で囲み、3, 6 から 10 欄は年齢、年月日を記入すること。
（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。
（＊）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。
4,5 欄は、該当するものすべてを記載すること。）

以下の項目は、梅毒対策に役立てるため、感染症法第１５条に基づく積極的疫学調査の一環として情報提供を求めるものです。
本調査により、個人が特定されることはありません。患者の協力が得られた場合には御記入願います（数字を○で囲んでください）。
ア. 国　籍　　１日本　　２その他　　３不明
イ. 居住地　　１日本（　　都道府県　　市区町村）　２国外（国名：　　）

別記様式１１

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、風しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いします。

風　し　ん　発　生　届

東京都知事（保健所設置市長・特別区長）　殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第１２条第１項（同条第８項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日　令和　　年　　月　　日

医師の氏名

従事する病院・診療所の名称
上記病院・診療所の所在地（※）
電話番号（※）　　（　　）　　－
（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載

１　診断（検案）した者（死体）の類型
・患者（確定例）　・感染症死亡者の死体

２　当該者氏名	３　性別	４　生年月日	５　診断時の年齢（0歳は月齢）	６　当該者職業
	男・女	年　月　日	歳（　　か月）	

７　当該者住所	電話（　　）　－
８　当該者所在地	電話（　　）　－
９　保護者氏名	10　保護者住所　（９、10 は患者が未成年の場合のみ記入）
	電話（　　）　－

病　型		13　感染原因・感染経路・感染地域
1）風しん（検査診断例）　2）風しん（臨床診断例）		①感染原因・感染経路（　確定・推定　）
11 症状	・発熱（　月　日出現）　・咳　・鼻汁　・結膜充血 ・発疹（　月　日出現）　・リンパ節腫脹　・関節痛・関節炎 ・血小板減少性紫斑病　・脳炎（急性脳炎の届出もお願いします） ・その他（　　）	１　飛沫感染（感染源となった風しん患者・状況：　　） ２　接触感染（感染源となった風しん患者・物の種類・状況：　　） ３　その他（　　）
12 診断方法	陰性結果を含め実施したもの全て記載して下さい。 （ア）　分離・同定による病原体の検出 検体：　咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（　　） 検体採取日（　　月　　日　　） 結果（　陽性・陰性　） 遺伝子型：（　　） （イ）　検体から直接のＰＣＲ法による病原体遺伝子の検出 検体：　咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（　　） 検体採取日（　　月　　日　　） 結果（　陽性・陰性　） 遺伝子型：（　　） （ウ）　血清ＩｇＭ抗体の検出 検体採取日（　　月　　日　　） 結果（　陽性・陰性・判定保留　） 抗体価：（　　） （エ）　ペア血清での抗体の検出 検体採取日（１回目　月　日　２回目　月　日） 抗体価　（１回目　　２回目　　）（単位　　） 結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇 検査方法：HI・EIA・ELFA・LTI・CLEIA・LA その他（　　） （オ）　その他の検査方法（　　） 検体（　　） 検体採取日（　　月　　日　　） 結果（　　） （カ）　臨床決定（　　）	②感染地域（　確定　・　推定　） １　日本国内（　　都道府県　　市区町村） ２　国外（　　国 詳細地域　　） ※　複数の国又は地域が該当する場合は全て記入すること。 渡航期間（出国日　年　月　日・入国日　年　月　日 国外居住者については、入国日のみで可） ③風しん含有ワクチン接種歴 1回目　有（　　歳）・無・不明 ワクチンの種類（風しん単抗原・MR・MMR・不明） 接種年月日（　Ｓ・Ｈ　　年　月　　日・不明） 製造会社/Ｌｏｔ番号（　　/　　・不明） 2回目　有（　　歳）・無・不明 ワクチンの種類（風しん単抗原・MR・MMR・不明） 接種年月日（　Ｓ・Ｈ　　年　月　　日・不明） 製造会社/Ｌｏｔ番号（　　/　　・不明）
		14　初診年月日　令和　年　月　日 15　診断（検案(※)）年月日　令和　年　月　日 16　感染したと推定される年月日　令和　年　月　日 17　発病年月日（＊）　令和　年　月　日 18　死亡年月日（※）　令和　年　月　日
		19　その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために必要と認める事項
		・妊娠の有無（女性のみ） 有（　　週）・無・不明

（病型，１，３，11 から 13,19 欄は該当する番号等を○で囲み、４，５,14 から 18 欄は年齢、年月日を記入すること。
（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。（＊）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

この届出は診断後直ちに行ってください

診断した医師の方へのお願い

感染症法第 15 条により、積極的疫学調査を実施致します（この場合、医師の守秘義務は解除されます）。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者（又は保護者）の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

ア．集団生活：無、有（園児、小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他（　　））
イ．集団に接する職業：無、有（保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他（　　））
ウ．集団に接する機会：無、有（施設での実習、ボランティア活動、その他（　　））
エ．妊婦との接触：無、有
オ．日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定　　年　　月　　日）

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者（あるいは保護者）の同意　（有・無）

※ 迅速な感染源探索、二次感染対策に役立てるため、患者（あるいは保護者）の同意がとれた場合に、下記の事項について可能な限りご記入をお願いいたします。

１　患者の情報について記入してください。該当がない場合には「なし」に〇をつけてください。

通学先・勤務先等	あり（　　）　なし
家族・同室者等	あり（　　）　なし

２　感染源に関する情報（発症約３週間前に出かけた場所、会った人）

（１）周囲に風しんと診断された方はいましたか

いた　　（　どなたですか　　）

わからない

（２）出かけた場所はどちらですか

・海外：渡航先

・職場や学校、保育所等：施設名

・人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称

・その他：名称

３　二次感染に関する情報（発疹が出現する７日前から出現後５日目までに出かけた場所、会った人）

（１）周囲に妊婦の方はいますか

いる　　（どなたですか　　）

いない

（２）出かけた場所はどちらですか

・職場や学校、保育所等：施設名

・人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称

・医療機関：名称

・救急車、タクシーなど：

・その他：名称

別記様式７４

侵襲性髄膜炎菌感染症発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長）　殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第１２条第１項（同条第８項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日　令和　　年　　月　　日

医師の氏名

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地(※)

電話番号(※)　　（　　）　　－

（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

１　診断（検案）した者（死体）の類型
・患者（確定例）　・感染症死亡者の死体

２　当該者氏名	３性別	４　生年月日	５診断時の年齢(0歳は月齢)	６　当該者職業
	男・女	年　月　日	歳（　　か月）	

７　当該者住所
電話（　　）　－
８　当該者所在地
電話（　　）　－

９　保護者氏名	10　保護者住所　（９、10は患者が未成年の場合のみ記入）
	電話（　　）　－

11 症 状	・頭痛　・発熱　・全身倦怠感 ・嘔吐　・発疹　・痙攣 ・意識障害　・項部硬直　・大泉門膨隆 ・点状出血　・ショック　・ＤＩＣ ・髄膜炎　・菌血症　・関節炎 ・多臓器不全　・その他（　　）	18　感染原因・感染経路・感染地域 ①感染原因・感染経路（　確定・推定　） １　飛沫・飛沫核感染（感染源の種類・状況：　　） ２　接触感染（接触した人・物の種類・状況：　　） ３　その他（　　） ②感染地域（　確定　・　推定　） １　日本国内（　　都道府県　　市区町村） ２　国外（　　国 詳細地域　　） ※　複数の国又は地域が該当する場合は全て記入すること。 渡航期間（出国日　年　月　日・入国日　年　月　日 国外居住者については、入国日のみで可） ③共同生活の有無（　有　・　無　） １　学生寮 ２　社員寮 ３　その他（　　） ④髄膜炎菌ワクチン接種歴（有・無・不明）
12 診 断 方 法	・分離・同定による病原体の検出 検体：髄液・血液・その他（　　） 血清群：未実施・Ａ群・Ｂ群・Ｃ群・Ｙ群・W-135群・その他（　　） ・検体からの直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 検体：髄液・血液・その他（　　） 血清群：未実施・Ａ群・Ｂ群・Ｃ群・Ｙ群・W-135群・その他（　　） ・その他の検査方法（　　） 検体（　　） 結果（　　）	
13　初診年月日　令和　年　月　日 14　診断（検案(※)）年月日　令和　年　月　日 15　感染したと推定される年月日　令和　年　月　日 16　発病年月日（＊）　令和　年　月　日 17　死亡年月日（※）　令和　年　月　日		19　その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項

この届出は診断後直ちに行ってください

（1, 3, 11, 12, 18欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5,13から17欄は年齢、年月日を記入すること。
（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。（＊）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。
11,12欄は、該当するものすべてを記載すること。）

診断した医師の方へのお願い

感染症法第15条により、積極的疫学調査を実施致します（この場合、医師の守秘義務は解除されます）。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者（又は保護者）の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

ア．集団生活：無、有（園児、小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他（　　））
イ．集団に接する職業：無、有（保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他（　　））
ウ．集団に接する機会：無、有（施設での実習、ボランティア活動、その他（　　））
エ．日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定　　年　　月　　日）

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者（あるいは保護者）の同意　（有・無）

※ 迅速な感染源探索、二次感染対策に役立てるため、患者（あるいは保護者）の同意がとれた場合に、下記の事項について可能な限りご記入をお願いいたします。

1　基本属性を記入してください。該当がない場合には「なし」に〇をつけてください。

所属名（保育園・学校・勤務先）	あり（　　）　なし
同居家族 ※寮、シェアハウスの場合は施設名を記入	あり（　　）　なし

2　感染源に関する情報（発症約７日間前に出かけた場所、会った人）

（１）周囲に侵襲性髄膜炎菌感染症の方はいましたか

いた　　（　どなたですか　　）

わからない

（２）出かけた場所はどちらですか

・海外：渡航先

・職場や学校、保育園等：施設名

・人が多く集まる場所（クラブ、習い事、イベント等）：名称

・その他：名称

3　二次感染に関する情報（発症後にいた場所、接触した人）

・職場や学校、保育園等：施設名

・人が多く集まる場所（クラブ、習い事、イベント等）：名称

・医療機関：名称

・救急車、タクシーなどの交通機関：

・その他：名称

別記様式７５

新型コロナウイルス感染症　発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長）　殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第１２条第１項（同条第８項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。　　報告年月日　令和　　年　　月　　日

医師の氏名

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地(※)

電話番号(※)　　（　　）　　－

（※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載）

患者本人への検査結果伝達（済・未）

1　診断（検案）した者（死体）の類型				
・患者（確定例）　・無症状病原体保有者　・疑似症患者（＊）　・感染症死亡者の死体　・感染症死亡疑い者の死体 （＊）疑似症患者について、当該者が入院を要しないと認められる場合は、本発生届の提出は不要。				
2　当該者氏名（フリガナ）	3性別	4　生年月日	5診断時の年齢(0歳は月齢)	6　当該者職業
	男・女	年　月　日	歳（　　か月）	
7　当該者住所			電話（　　）　－	
8　当該者所在地			電話（　　）　－	
9　保護者氏名	10　保護者住所　（9、10は患者が未成年の場合のみ記入）			
	電話（　　）　－			

11　症状	・発熱　・咳　・咳以外の急性呼吸器症状 ・肺炎像　・重篤な肺炎　・急性呼吸窮迫症候群 ・多臓器不全　・全身倦怠感　・頭痛　・嘔気／嘔吐 ・下痢　・結膜炎　・嗅覚・味覚障害 ・酸素飽和度（室内気）：　％ ・その他（　　）・症状なし
12　診断方法	・分離・同定による病原体の検出 検体：喀痰、気道吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、部検材料、その他（　　） 検体採取日（　月　日） 結果（陽性・陰性） ・検体から核酸増幅法（ＰＣＲ法　ＬＡＭＰ法など）による病原体遺伝子の検出 検体：喀痰、気道吸引液、肺胞洗浄液、咽頭拭い液、鼻腔吸引液、鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、便、唾液、剖検材料、その他（　　） 検体採取日（　月　日） 結果（陽性・陰性） ・抗原定性検査による病原体の抗原の検出 検体：鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液 検体採取日（　月　日） 結果（陽性・陰性） ・抗原定量検査による病原体の抗原の検出 検体：鼻腔拭い液、鼻咽頭拭い液、唾液 検体採取日（　月　日） 結果（陽性・陰性）

13　初診年月日	令和　年　月　日
14　診断（検案(※)）年月日	令和　年　月　日
15　感染したと推定される年月日	令和　年　月　日
16　発病年月日（＊）	令和　年　月　日
17　死亡年月日（※）	令和　年　月　日

18　感染原因・感染経路・感染地域

①感染原因・感染経路（確定・推定）

1　飛沫核・飛沫感染（感染源の種類・状況：　　）

2　接触感染（接触した人・物の種類・状況：　　）

3　その他（　　）

②感染地域（確定・推定）

1　日本国内（　　都道府県　　市区町村）

2　国外（国：　　詳細地域：　　）

※　複数の国又は地域該当する場合は全て記入すること。
渡航期間（出国日　年　月　日・入国日　年　月　日
国外居住者については、入国日のみで可）

③　新型コロナウイルスワクチン接種歴

1回目　有（　　歳）・無・不明
ワクチンの種類／製造会社（　　／　　・不明）
接種年月日（R　年　月　日・不明）

2回目　有（　　歳）・無・不明
ワクチンの種類／製造会社（　　／　　・不明）
接種年月日（R　年　月　日・不明）

19　その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項

・届出時点の入院の有無（有・無）
入院例のみ（入院年月日　令和　年　月　日）
・重症化のリスクとなる疾患等の有無（有・無）
※有の場合は、以下から選択
悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、
高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満（BMI30 以上）、
喫煙歴、その他（　　）
・臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由により、免疫の機能が低下しているおそれの有無（有・無）
・妊娠の有無（有・無）
・重症度（「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き」による。）
（軽症・中等症Ⅰ、中等症Ⅱ・重症）
・入院の必要性の有無（有・無）
・新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての時限的・特例的な取扱いによる電話や情報通信機器を用いた診療の有無（有・無）

この届出は診断後直ちに行ってください

（1，3，11,12,18,19 欄は該当する番号等を〇で囲み、4，5，13 から 17 欄は年齢、年月日を記入すること。
(※)欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。（＊）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。
11，12 欄は、該当するものすべてを記載すること。）

以下は、感染症法第 15 条に基づく調査として情報提供を求めるものです。協力が得られた場合には御記入願います。
1　重症化ﾘｽｸのある同居者の有無（有・無）、高齢者・障害者に係る施設やｻｰﾋﾞｽ利用の有無（有・無）、
集団感染事例との関連（有・無）※有る場合は集団の詳細（　　）
2　日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定　年　月　日）

感染症発生動向調査事業報告書
令和２年（2020 年）

令和３年７月　　登録番号（3）4

編集・発行　東京都健康安全研究センター
〒169-0073　東京都新宿区百人町３－２４－１
電　話　（０３）３３６３－３２３１
印　刷　所　有限会社　雄久社
〒154-0017　東京都世田谷区世田谷１－２４－７
電　話　（０３）５４５１－７０３０

古紙パルプ配合率70％再生紙を使用
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。